

金沢市の概況について

目 次

1. 金沢市の概況

- (1) 金沢市の概況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
- (2) 市政を取り巻く環境の変化・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8

2. 「魅力づくり」（文化・芸術、観光など）の本市の状況

- (1) 歴史都市金沢の推進・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14
- (2) 金澤町家の保全と活用・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15
- (3) 文化・芸術の振興・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17
- (4) 食文化の継承・振興・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 23
- (5) スポーツ振興・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 24
- (6) 持続可能な観光振興・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 26

3. 「暮らしづくり」（福祉、環境、コミュニティ、安全・安心など）の本市の状況

- (1) 高齢者福祉・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 30
- (2) 障害者福祉・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 34
- (3) 健康政策・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 39
- (4) 地球温暖化対策・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 44
- (5) 環境保全・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 46
- (6) 食品ロス削減・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 47
- (7) 地域コミュニティ活性化・市民協働推進・・・・・・・・・・ 53

4. 「人づくり」（子育て、教育、生涯学習など）の本市の状況

(1) 子ども・子育て支援	60
(2) 子どもの貧困対策・ひとり親家庭等支援	65
(3) 学校教育	67
(4) 生涯学習	72
(5) 学生・若者	74
(6) 男女共同参画推進	78
(7) 国際交流	80

5. 「仕事づくり」（新事業創出・産業振興など）の本市の状況

(1) 新産業の創出	83
(2) 商工業振興	85
(3) 伝統工芸品参考の振興	91
(4) 工業団地整備・企業誘致	94
(5) 農林業振興	95
(6) 水産業振興	99
(7) 働き方改革推進	101
(8) DXの推進	105

6. 「都市づくり」（都市基盤、交通など）の本市の状況

- (1) 都市計画・市街地再開発・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 108
- (2) 中心市街地活性化・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 111
- (3) 公園の再編・利活用・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 114
- (4) 移住・定住の促進・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 116
- (5) 空き家の管理・活用・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 118
- (6) 景観形成・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 120
- (7) 木の文化都市の継承と創出の推進・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 122
- (8) 建築文化の継承・発展・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 124
- (9) 交通政策・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 126

7. その他

- SDGsの推進・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 131

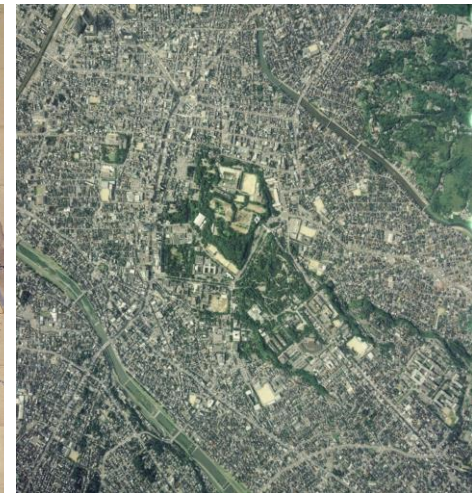
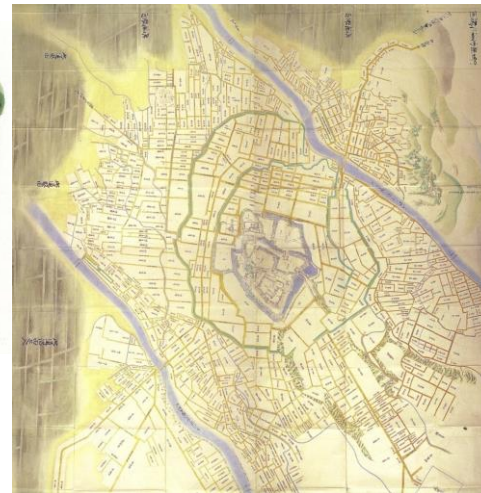
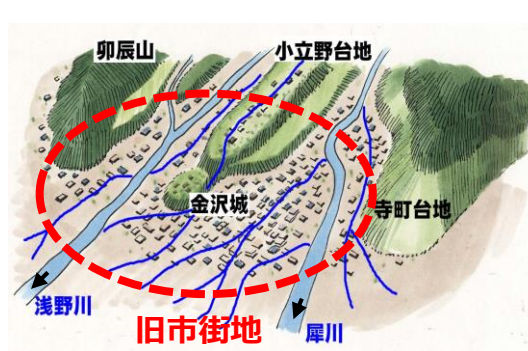
1. 金沢市の概況

1 (1) 金沢市の概況

- 金沢市は本州のほぼ中心に位置し、人口 約45万人 (※)、面積 約469km²の中核市であり、3つの台地と、2本の川を骨格とし、豊かな自然に恵まれている。

(※住民基本台帳 459,178人 (R5.2月現在)、R2国勢調査 463,254人)

- 藩政時代にまちの礎が築かれて以来、戦災や大きな災害に見舞われたことがなく、歴史的街路やまちなみが色濃く残る伝統と歴史のある都市。
- 古いものと新しいものが同時に共存し、互いに刺激しあい、磨き高めあうことで発展してきた重層性がある。
- 金沢はクラフト分野で認定された創造都市として、文化のビジネス化、人材の育成、世界への発信というそれぞれの観点から3つの将来像を掲げる。



United Nations
Educational, Scientific and
Cultural Organization



Member of the
UNESCO Creative Cities
Network since 2009

※藩政時代の絵図 (左) と現在の写真 (右)

1 (1) 金沢市の概況

- 伝統工芸をはじめとする独自の産業構造を有しており、人、モノ、情報が連関する多くの地域産業がある。
- 学術・文化の拠点性を有するとともに、建築の魅力や現代美術などの面においても新たな創造性を育てており、観光拠点として国内外との交流を活発にする潜在力を保持。
- 藩政時代から培われた自治の伝統があり、市民はまちへの強い愛着と連帯意識を持ち、町会や公民館の地域活動をはじめ、福祉活動や地域の消防団を核とする自主的防災活動などに息づく。
- 2015年北陸新幹線金沢開業により、東京までの移動時間が約2時間半に短縮され、交流人口が増加。2024年春には、北陸新幹線の敦賀延伸が予定されている。

金沢の伝統工芸



※金沢箔（左上）、加賀友禅（右上）、大樋焼（左下）、加賀象嵌（右下）

3つ星街道



※金沢・五箇山・白川郷・高山・松本を結ぶエリア、ミシュラン・グリーンガイド・ジャポンの3つ星観光資源が集積

自治の伝統



※自治会による自主的な防災活動の様子

1 (2) 市政を取り巻く環境の変化 (人口減少・少子高齢社会の進展)

日本の総人口 減少局面

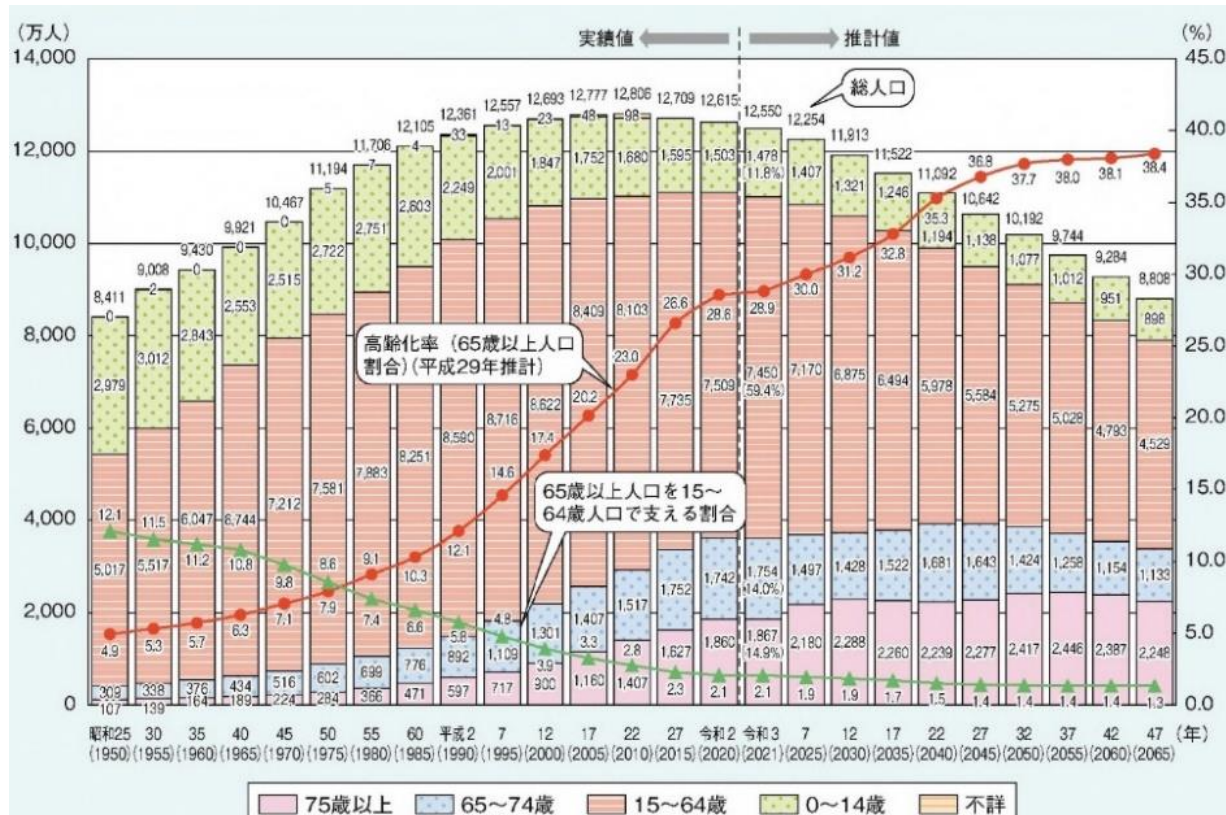
2021年 1億2,550万人 → 2040年 1億1,092万人 (▲11.6%)
 → 2055年 9,744万人

全 国

高齢化率 少子高齢化が進展

2021年 28.9% → 2040年 35.3% (+6.4%)

図表 高齢化の推移と将来統計



出典：令和4年度版高齢社会白書

※2015年までは総務省「国勢調査」、2020年は総務省「人口推計」、2025年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（平成29年推計）」の出生中位・死亡中位仮定による推計結果

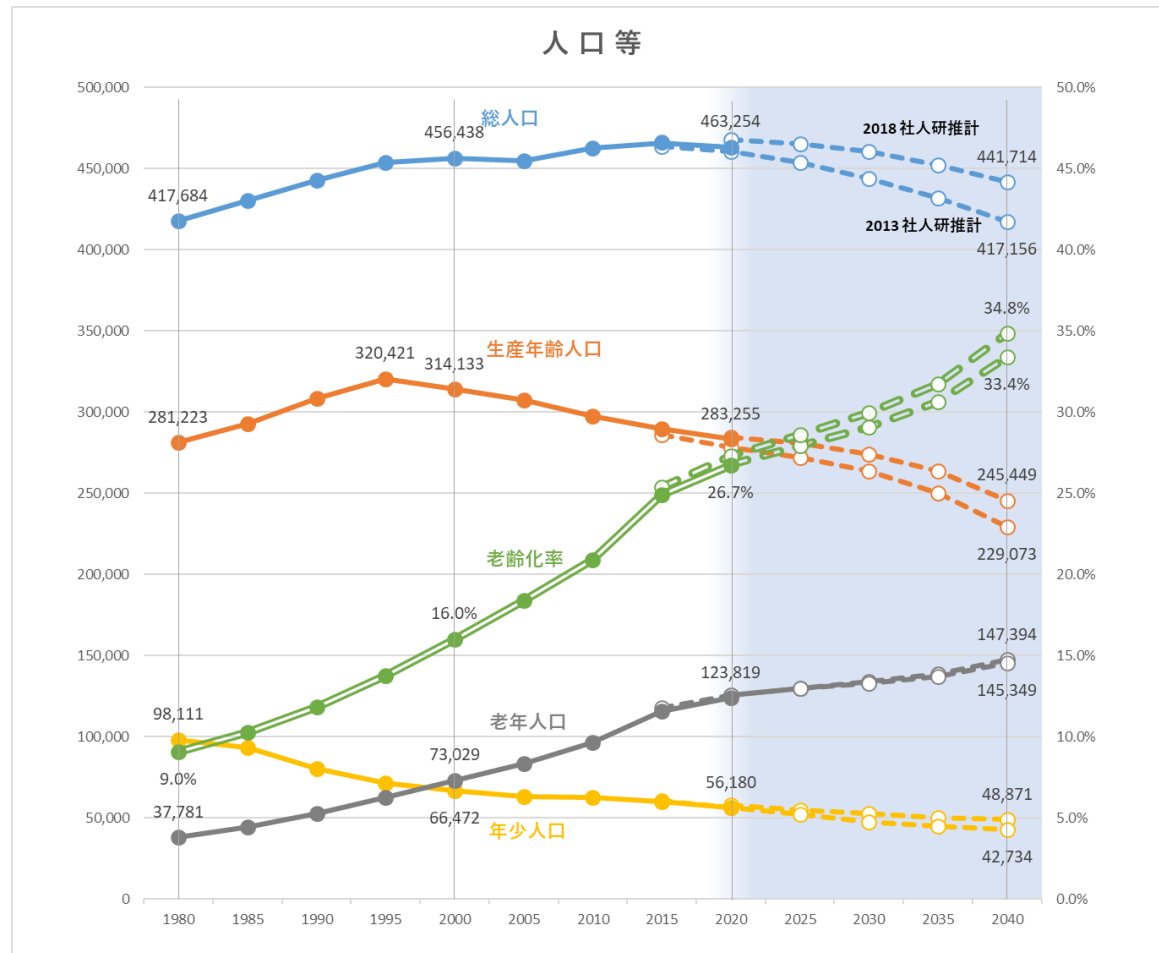
1 (2) 市政を取り巻く環境の変化 (人口減少・少子高齢社会の進展)

■ 金沢市の人口 **減少局面** 2020年 46万3,254人 → 2040年 約41万7千人 (▲9.9%)

■ 高齢化率 **少子高齢化が進展** 2020年 26.7% → 2040年 34.8% (+8.1%)

金沢市

図表 金沢市の総人口・年齢3区分別人口・高齢化率の推移



※2020年までは国勢調査、2025年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

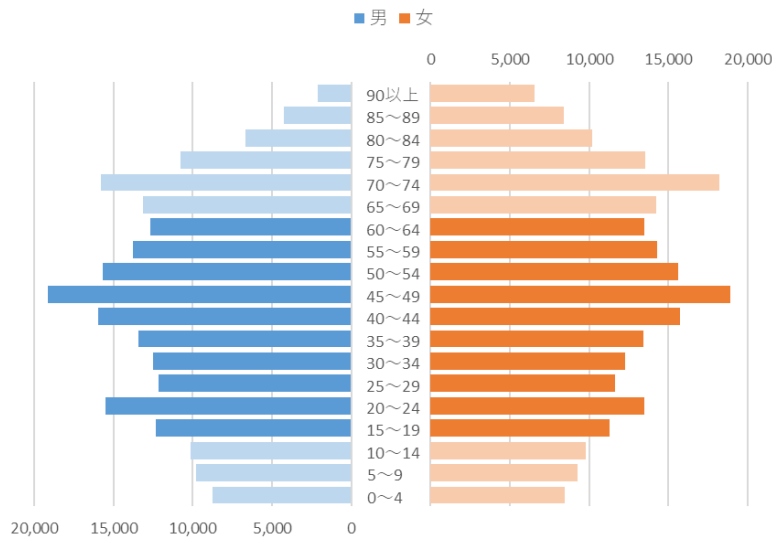
1 (2) 市政を取り巻く環境の変化 (人口減少・少子高齢社会の進展)

■ 金沢市における年齢別人口構成について、約20年後の2040年の推計値を見ると、年少人口 (0~14歳)、生産年齢人口 (15~64歳) がそれぞれ減少する一方で老年人口 (65歳以上) は、約2万人以上の増加見込みでさらなる高齢化が想定される。

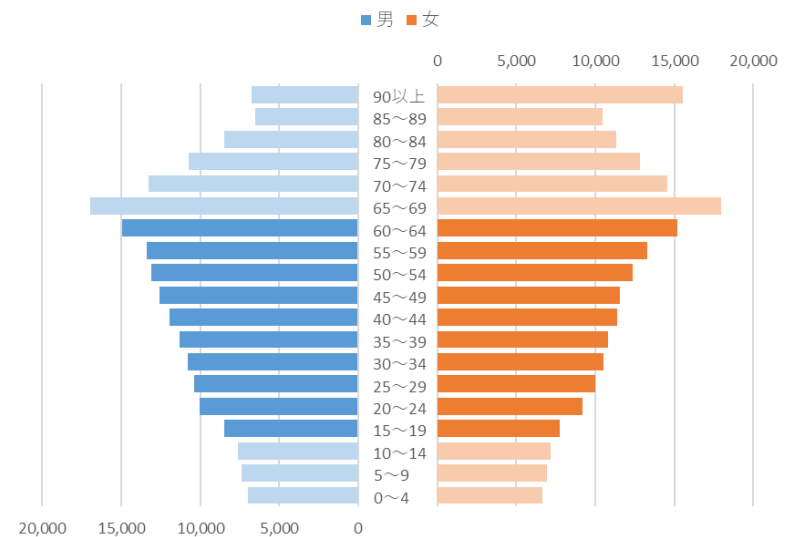
年少人口 56,180人 → 42,734人 (▲13,446人)
 生産年齢人口 283,255人 → 229,073人 (▲54,182人)
 老年人口 123,819人 → 145,349人 (+21,530人)

金沢市

人口ピラミッド【2020年】



人口ピラミッド【2040年】※社人研2013ベース



1 (2) 市政を取り巻く環境の変化 (人口減少・少子高齢社会の進展)

日本の合計特殊出生率
日本の出生数

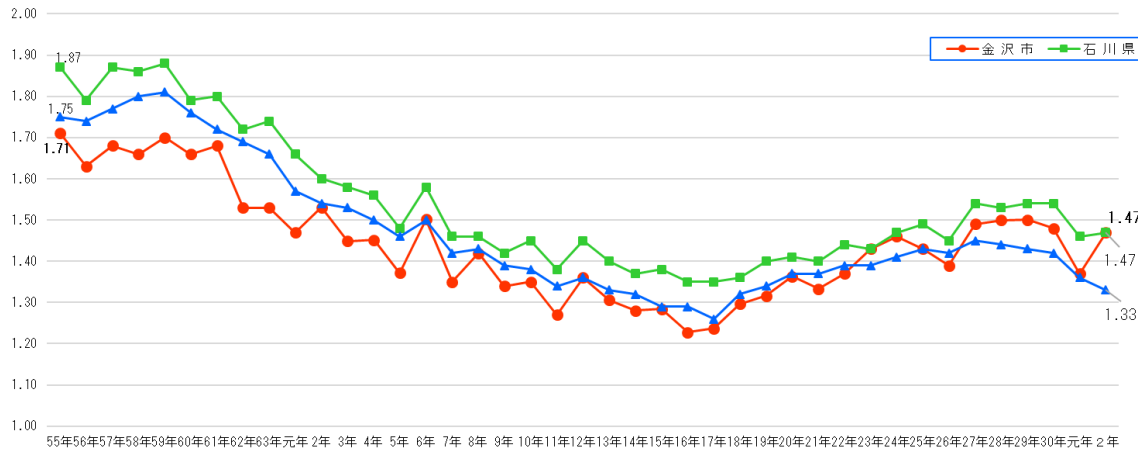
2020年 1.33 (前年比▲0.03)
84万835人 (前年比 ▲ 2万4,404人、過去最少)

全国

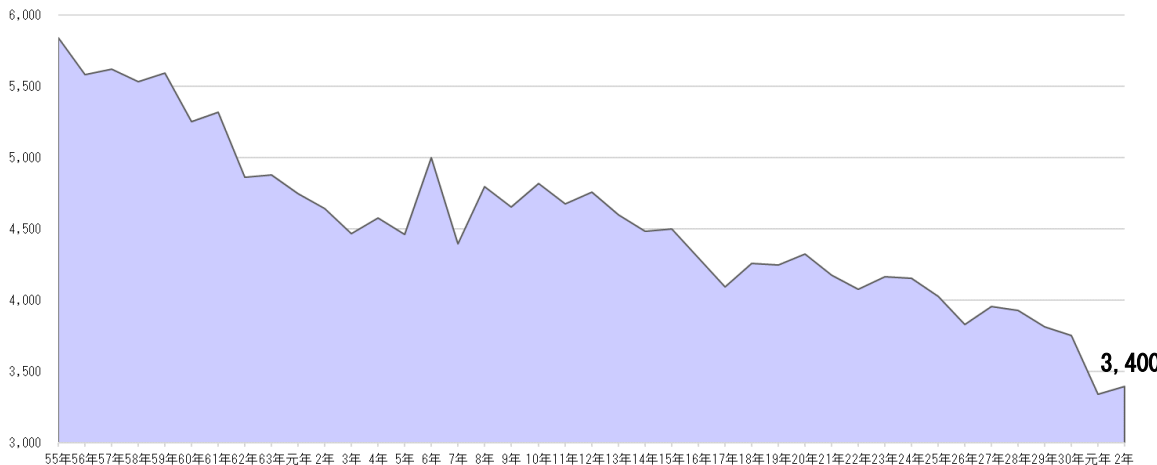
金沢市の合計特殊出生率
金沢市の出生数

2020年 1.47 (前年比+0.1)
3,400人 (前年比+58人)

金沢市



図表 (上) 合計特殊出生率の推移
(下) 出生数の推移



出典：金沢市子育て支援課
※金沢市衛生年報を基に作成

1 (2) 市政を取り巻く環境の変化 (ポストコロナ社会への対応)

全 国

価値観の変容

- 価値観の多様化。
- 個人と社会のバランスが変化し、生活や家族を重視する暮らしや、生活の質を高めるような意識の高まり。
- 自然環境に対する意識の高まり。

消費行動の変化

- オンラインでの商品注文・購入のほか、インターネット経由での動画視聴などが増加。
- 外食需要の一部が、テイクアウトやデリバリーサービスなどの中食にシフト。
- サステイナブルに関する意識が上昇し、環境・社会・経済に配慮した消費行動が定着しつつある。

働き方・住まい方

- コロナ禍により、多くの企業にDXの必要性和その遅れが改めて認識され、今後、DXの加速化が見込まれる。
- テレワークやオンライン授業の普及により、多様な働き方や住まい方が広がり、ワーケーションや多拠点居住・地方移住への関心が高まっている。
- 若い世代を中心に、副業や兼業への関心が高まっている。

2. 「魅力づくり」の本市の状況

(文化・芸術、観光など)

2 (1) 歴史都市金沢の推進

- 「歴史まちづくり法」(2008年)により、歴史都市第1号認定を受ける。(2009年1月)
- 東山ひがし、主計町、卯辰山麓、寺町台の4地区の重要伝統的建造物群保存地区がある。
- 「金沢の文化的景観 城下町の伝統と文化」が国の重要文化的景観に選定。(2010年2月)

歴史文化施設



石川門(金沢城公園(上))、
大野庄用水(下)

重要伝統的建造物群保存地区



東山ひがし(左)、主計町(真ん中上)、
卯辰山麓(右上)、寺町台(右下)



重要文化的景観



兼六園 雪吊り(左)、浅野川 友禅流し(真ん中)、
長町武家屋敷 薦掛け(右上)、黒瓦の屋根(右下)



2 (2) 金澤町家の保全と活用

■金澤町家は、気候風土に合わせて住まいと生業が共存する場として人々の暮らしを支え、継承されてきており、戦災を逃れた金沢でも城下町の歴史文化資産として、文化的景観を形成する重要な要素となっている。金澤町家条例の制定をはじめ、金澤町家の保全と活用に取り組んでいるが、減少を続けている。

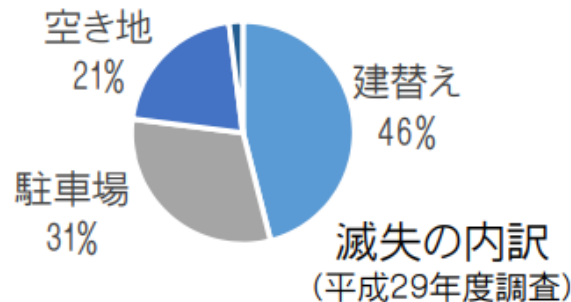
■金澤町家

昭和25年以前に建てられた木造建築物(寺院、神社、教会などの建築物を除く)の総称。金澤町家の建ち並ぶ歴史的なまちなみは、金沢の魅力のひとつとなっている。

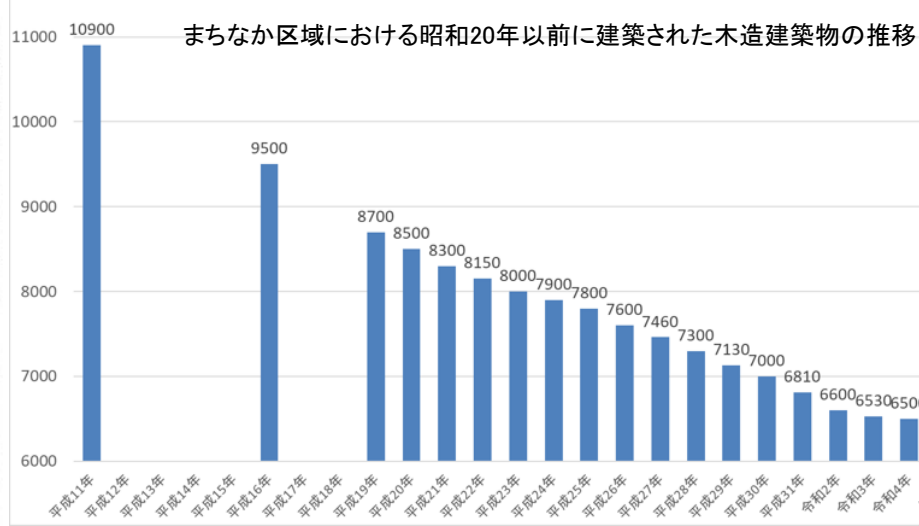
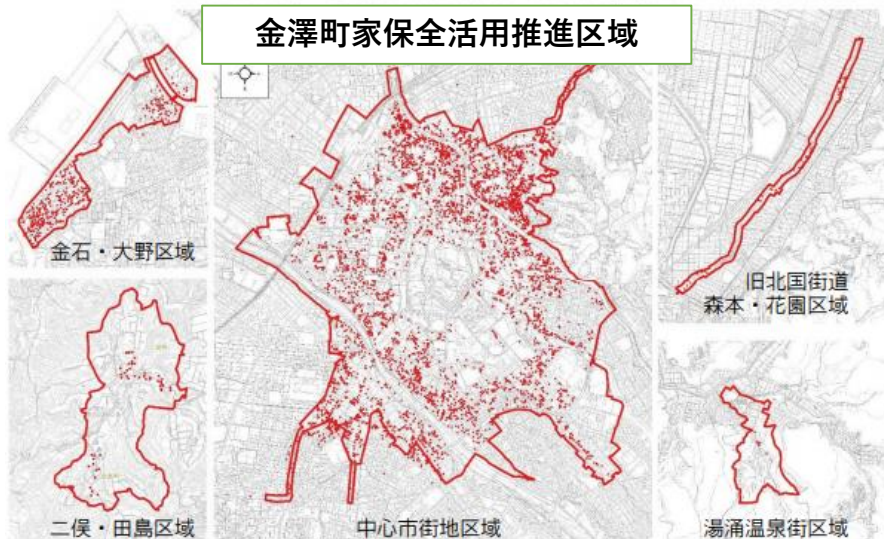


■減少する金澤町家

旧城下町の区域を中心に、約6,000件が存在する金澤町家は、毎年100件程度が解体により失われている。



金澤町家保全活用推進区域



金澤町家の保全・活用支援

「金澤町家情報館」 (2016.11開館)

金澤町家を金澤町家情報館として整備し、金澤町家に関する総合的な相談・情報提供等の拠点施設として金澤町家の保全・活用を推進

解体時等事前届出制度 (2019.10～)、特定金澤町家の登録 (2020.4～)

保全及び活用の必要がある金澤町家の登録や、金澤町家の大規模改修・解体時の事前届出制度により、金澤町家を次世代に継承



金澤町家情報館

特定金澤町家*に登録しませんか？ あなたの所有する金澤町家が該当するかもしれません。

※金澤町家のうち本市の歴史、伝統及び文化を伝える上で特に保全及び活用の必要があると市長が認めるもの

令和元年10月1日 制度開始

未来へつなぐ 金澤町家

解体等の計画は90日前までにお知らせください！

届いただいた町家には流通支援や修理補助など保全活用の支援策をご提案します

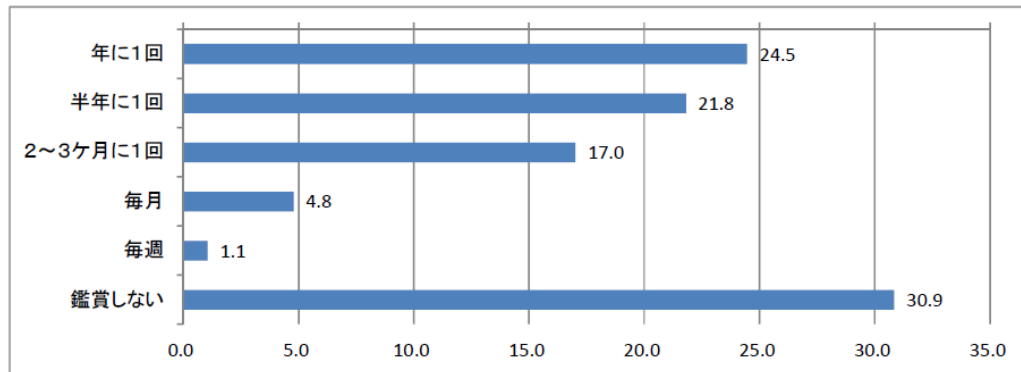
金澤町家の大規模改修・解体時の事前届出制度が始まります。

2 (3) 文化・芸術の振興

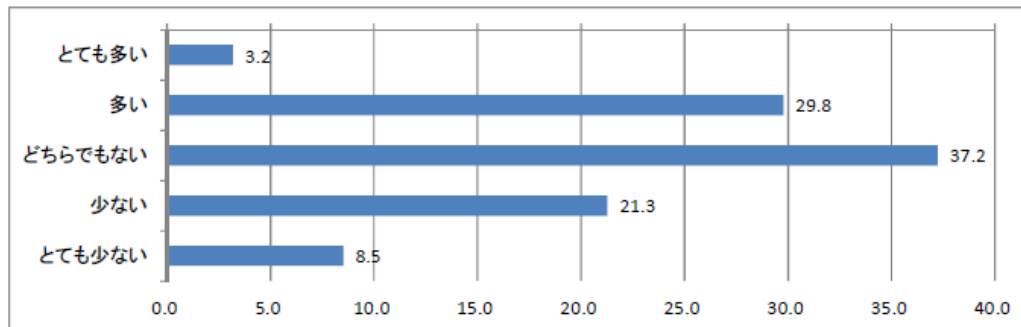
- 文化芸術を鑑賞しない方が約3割いる。また子どもが文化芸術に触れる機会は「とても多い」、「多い」が合わせて約3割に留まる。
- 次世代の「担い手」や「支え手」を育むためには、学校教育等を通じて、幼い頃から文化芸術に触れる機会が求められている。また、指導者の育成の観点から、技術の継承に加え、指導の体験や実演する場の創出が求められている。

令和4年度 金沢の文化芸術についてのアンケート（金沢市eモニター）

どのくらいの頻度で文化芸術を鑑賞しますか。



子どもが文化芸術に触れる機会は多いと思いますか。



文化芸術に携わる人づくりについて (担い手調査より抜粋)

- ・ 文化の継承のためには、教育に入りこむことが重要である。
- ・ 聴き手の育成に関して、文化施設を知ることでも大事である。
- ・ 子どもが習いたいと思っても、親の許可が下りないと習うことができない。親に文化芸術の良い点を知ってもらうことが必要だ。
- ・ 大学生や社会人が習いたい場合、どのような方法があるのかが分かりやすくなるとうい。
- ・ 70代くらいの作家の次の世代が、20~30代であり、技術がうまく継承されていない。

出典：金沢市文化芸術アクションプラン

世界に誇る文化都市金沢の実現

■世界に誇る文化都市金沢推進本部（2022.7設置）

本市で培われてきた伝統的な文化を継承・発展させるとともに、独創性のある新たな文化の創造を促進するなど、幅広い文化の振興を通して、市民の心と生活の豊かさの向上を図り、世界に誇る文化都市金沢をめざすため、庁内横断組織として設置。

●金沢市文化芸術アクションプラン

伝統文化の継承・振興と担い手の育成、新たな文化の醸成・発信を図るとともに、文化芸術の多様な価値（本質的価値及び社会的・経済的価値）を活かした実践的な文化芸術政策を展開。



「世界に誇る文化都市金沢」の実現に向けた 取組の方向性

- ①心の豊かさの醸成
- ②未来への継承と発展
- ③活動環境の充実
- ④幅広い文化の発信



金沢の文化の人づくり

■ 金沢市における文化の人づくりの推進に関する条例 (2016.4)

文化都市として伝統文化の継承発展と新たな文化の創造を担う人づくりに積極的に取り組むことにより、金沢を将来にわたり希望と活力に満ちた魅力あふれるまちとするために制定。

■ 金沢市文化の人づくり基金

ふるさと納税による寄附金等を「文化の人づくり基金」に積み立て、伝統文化の継承につながる担い手の育成事業に充当。



創造の担い手育成

■ 人材育成機関

全国的にも珍しい市立の美術工芸大学をはじめ、金沢卯辰山工芸工房や金沢職人大学校など、技術の伝承と人材育成の拠点施設を開設するほか、子供の頃から工芸に親しみを持てるよう子ども塾等を開催。

金沢美術工芸大学

戦後間もない1946年に、金沢美術工芸専門学校として発足し、これまでに多くの人間国宝や第一線で活躍するクリエイターを輩出。学内には美術工芸研究所が設置され、漆・木工、染織、陶磁、金工の分野で工芸を継承・発展させる人材を育成し、地元の産業界との連携を強化している。



金沢卯辰山工芸工房

市制100周年を記念し、1989年に設立された「金沢卯辰山工芸工房」では、陶芸、漆芸、染、金工、ガラス工房のそれぞれで2～3年間の研修を行い、工芸の担い手を養成。

修了生には市内におけるアトリエや工芸ショップ開設などの支援を行っており、これまでに海外からの研修生も在籍。



金沢職人大学校

金沢に残る伝統的で高度な職人技の伝承と人材育成のため、1996年「金沢職人大学校」が設立。本科の石工、瓦、左官、造園、大工、畳、建具、板金、表具の9科で、基本的な技能を身につけている中堅職人が学んでいる。

1999年には更なる研修の場として新たに修復専攻科を設け、修了生たちは市内の金澤町家や寺社、茶室などの修復を手がけている。



子どもマイスターズスクール、金沢工芸子ども塾

子どもの頃から、ものづくりの楽しさを体験することを通じて、職人技への興味を喚起する「金沢職人大学校子どもマイスターズスクール」や将来の工芸家の発掘と育成をめざす「金沢工芸子ども塾」などを開講。



文化芸術の担い手育成

■ 子どもの多様な文化体験

加賀宝生・金沢素囃子・茶道の伝統文化子ども塾を通して、子供たちが本市の伝統文化を体験する機会を創出するほか、本市の新たな音楽文化として浸透してきたジャズの人材育成を目的とした金沢ジャズアカデミーを開講。

加賀宝生子ども塾



金沢素囃子子ども塾



金沢茶道子ども塾



金沢ジャズアカデミー



文化芸術の創造

■文化芸術の創造発信拠点

市民の芸術活動を支援するほか、金沢の工芸やデザインに刺激を与え活性化し、新しいものを生み出す土壌を育む拠点を設置。

金沢市民芸術村

紡績工場跡地の煉瓦造りの倉庫群を改修し、1996年に「金沢市民芸術村」が誕生。ドラマ工房、ミュージック工房、マルチ工房、アート工房等が設けられ、市民の芸術活動のために自由に利用できる創造空間として「1日24時間、1年365日」開放している。



金沢21世紀美術館

2004年に、丸い独特の外観をもつ「金沢21世紀美術館」がまちの中心部にオープン。この美術館では、現代アートとみなせる工芸作品も積極的に収集しており、伝統に革新を加える新たな文化の創造と発信の拠点として、新しい文化の創造とまちの賑わい創出に大きな役割を果たしている。



■ 金沢の食文化の継承及び振興に関する条例 (2013.10施行)

藩政時代から培われてきた金沢固有の食文化について、市民や事業者への普及・啓発を図るほか、料理や嗜み等を学び、次世代の職人を育てるためのしくみを検討するなど官民が連携し、豊かさと奥深さを実感できる食文化の継承・振興に取り組む。

■ 第3期 金沢の食文化の魅力発信行動計画 (2021.3策定)

市民が食文化に触れる機会の充実、コロナ禍における国内外への金沢の食文化の魅力発信、和食料理人の技術・技能の向上や担い手の確保・育成などに意を用い、4つの柱による「食文化のまちの価値を高める」事業を実行

【金沢の食文化の魅力発信行動計画】 4つの柱

1. 市民啓発

～食文化の魅力を再確認する機会を提供～

2. 国内外に向けた魅力発信

～国内外への四季を通じた食文化の魅力発信の強化～

3. 技術・技能の向上

～伝統の技の継承・向上と食の付加価値の創出～

4. 後継者の育成

～未来の担い手の発掘・育成～



五感に
ごちそう
かなざわ



五感にごちそうゼミナール2022



全日本高校生WASHOKUグランプリ2022

2 (5) スポーツ振興

- 金沢市の20歳以上の人口のうち、週1回以上のスポーツを実施している人の割合は46.5%となり、コロナ禍のなかで低下した。
- 年代別にみると、70代の割合が最も高く、50%を超えているが、それ以外の年代はすべて50%以下となっている。

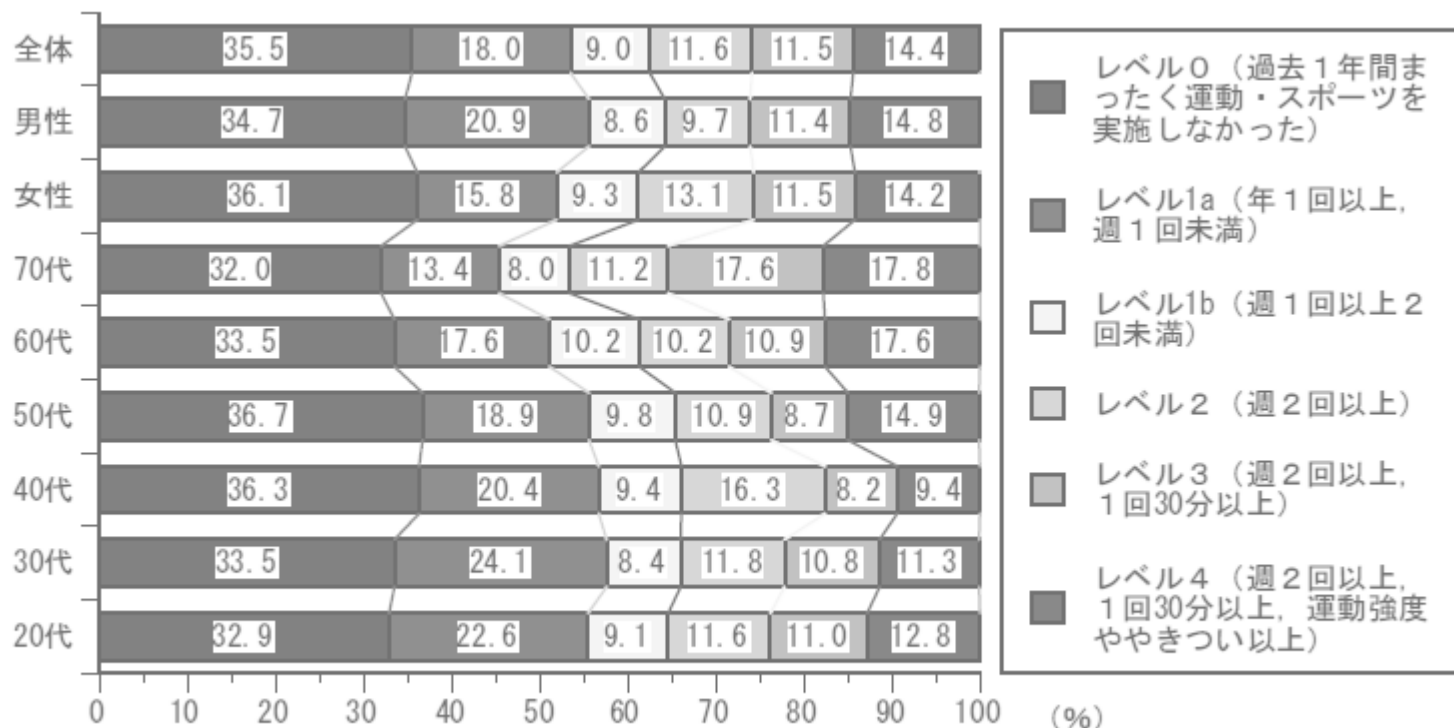


図1. 性別・年代別にみた運動スポーツの実施レベル (2021)

スポーツ文化の推進

■ 金沢市スポーツ文化推進条例（2018.4施行）

「スポーツで人とまちを元気にする」ことに積極的に取り組むことにより、活力と魅力のあるまちをめざす。

■ 金沢市スポーツ推進計画（2022.3改定）

スポーツが充実した市民生活とまちの活力を生み出す一躍を担う、スポーツが文化として認識されている社会の確立を目指す。

金沢市の目指すスポーツの姿

「スポーツで人とまちを元気にする」まちづくり

- 基本目標 1 多様なスポーツに親しむことができる機会の拡大
- 基本目標 2 子どもスポーツの充実
- 基本目標 3 スポーツ交流を通じたまちづくりの促進
- 基本目標 4 障害のある人等のスポーツ活動の促進と環境の整備



2 (6) 持続可能な観光振興

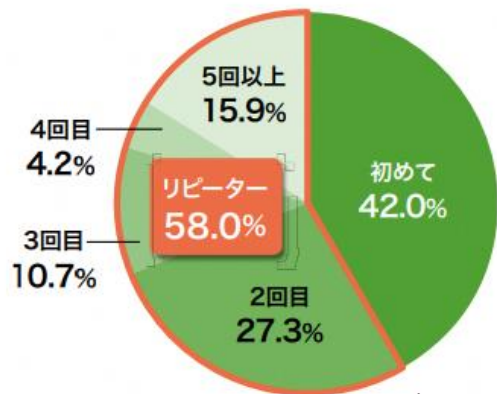
- 平成27年の北陸新幹線金沢開業後（コロナ禍前まで）は、**旅行者数**は、**1,000 万人以上**を維持。
- 日本人旅行者の**金沢へのリピート率**は**58.0%**とリピーターが半数以上を占める。
- 宿泊日数**は、日本人旅行者では、1泊が7割以上、外国人旅行者は2泊が約4割、1泊が3割を占めており、**長期滞在が課題**。

金沢地域の観光入込客数

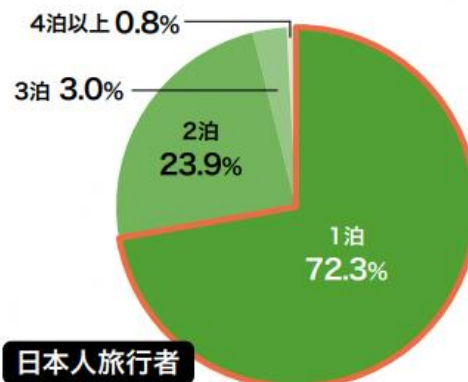


出典：金沢市持続可能な観光振興推進計画2021
「統計からみた石川県の観光」

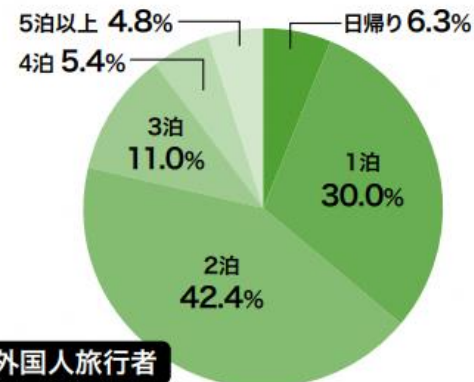
金沢へのリピート率(日本人)(令和2年)



旅行者の宿泊日数(平成31・令和元年)



日本人旅行者



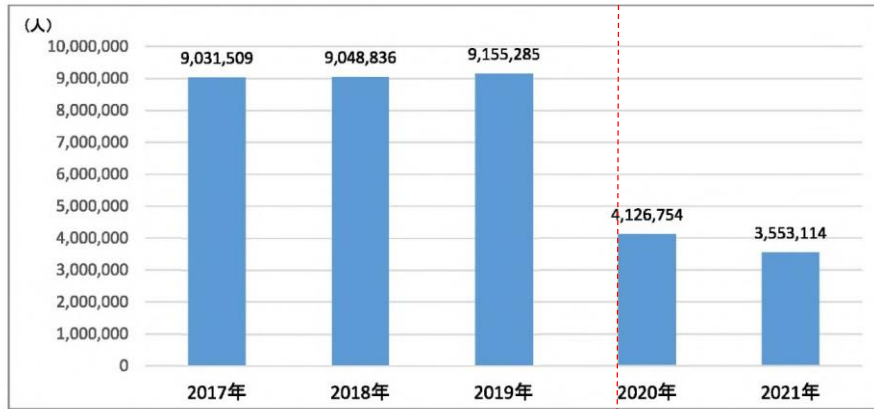
外国人旅行者

出典：金沢市持続可能な観光振興推進計画2021 「金沢市観光調査結果報告書」

2 (6) 持続可能な観光振興

- 主要観光施設の年間利用者数は、新型コロナウイルス感染症の影響により、6割以上減少。
- 北陸新幹線金沢開業後、年間宿泊者数及び年間外国人宿泊者数は増加していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、年間宿泊客数は約5割減少、年間外国人宿泊客数は、9割以上減少し、外国人宿泊客数を取り始めた平成9年以降最も少ない。

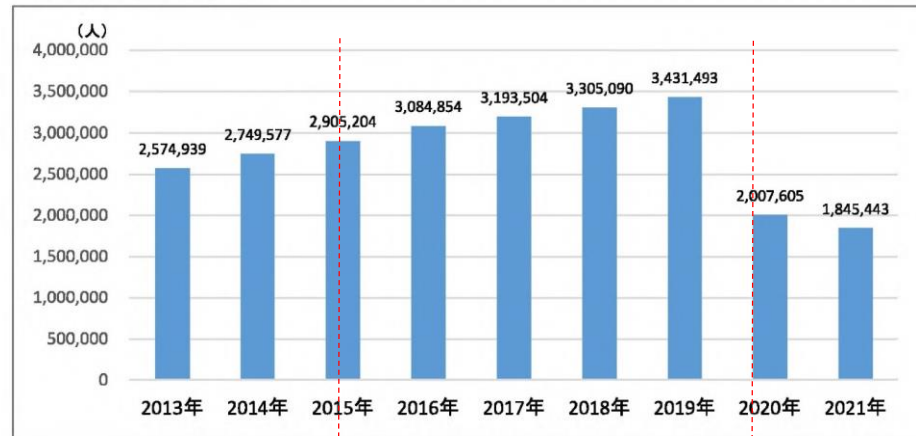
■主要観光施設(19施設計)の利用者数の推移



新型コロナウイルスの流行

出典：令和3年
金沢市観光調査結果報告書

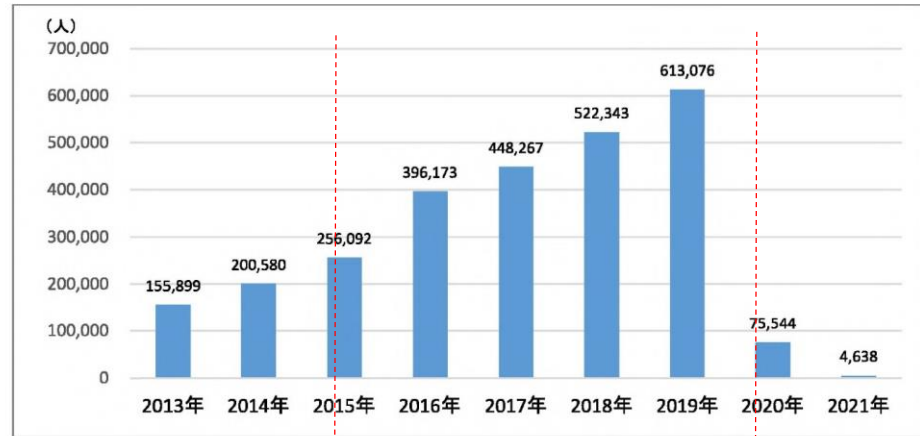
■宿泊客数の年別推移



北陸新幹線金沢開業

新型コロナウイルスの流行

■外国人宿泊客数の年別推移



北陸新幹線金沢開業

新型コロナウイルスの流行

持続可能な観光振興の推進

■ 金沢市持続可能な観光振興推進計画（2021.3策定）

北陸新幹線金沢開業（2015年3月）後の国内外からの旅行者の増加による市民生活への影響や、新型コロナウイルス感染症の影響による観光のあり方の変化をふまえ、市民生活と調和した、持続可能な観光振興を推進。

金沢の観光がめざす姿と戦略テーマ

市民と旅行者が共感を深め、
「ほんもの」を未来へと紡いでいくまち

「ほんもの」を継承し、
世界をひきつけるまち

訪れるたび感動があり、
長くいるほど奥行きが感じられるまち

住む人と訪れる人が
価値を共創するまち

新たな観光マネジメントを
リードするまち

- 基本戦略1 市民と旅行者の相互理解促進
- 基本戦略2 魅力あるコンテンツの磨き上げ
- 基本戦略3 快適に観光できる環境の充実
- 基本戦略4 観光マネジメント体制の強化
- 基本戦略5 国内外からの誘客促進に向けた情報収集と発信



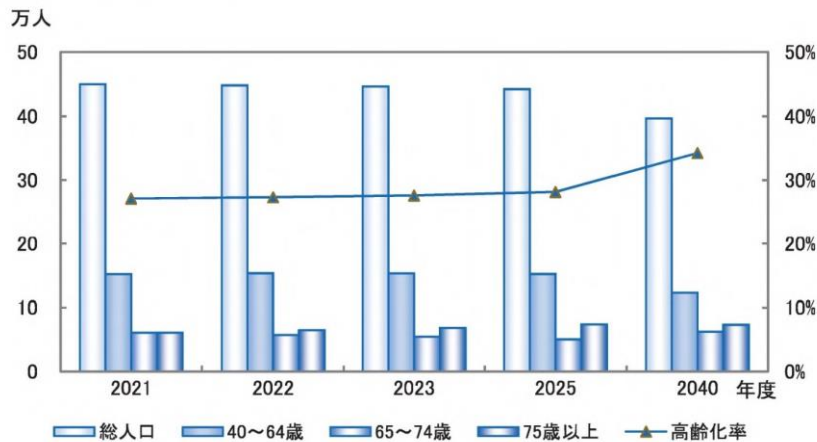
3. 「暮らしづくり」の本市の状況

(福祉、環境、コミュニティ、安全・安心など)

3 (1) 高齢者福祉

■ 65歳以上の高齢者人口の増加と少子化に伴う64歳以下の人口の減少により、総人口に占める高齢者の割合を示す**高齢化率は上昇**していくことが見込まれ、**2040年には全体の3割を超える**と予測される。

■ 図 28 金沢市の高齢者人口の推計



注)「住民基本台帳人口」(金沢市調査統計室)を用い、コーホート要因法により推計

■ 表 40 金沢市の高齢者人口の推計

区 分	2021 年度	2022 年度	2023 年度	(参考) 2025 年度	(参考) 2040 年度
総人口(人)	449,442	447,756	445,912	441,778	396,787
40～64歳(人) (第2号被保険者)	152,802	153,269	153,043	152,208	122,859
65歳以上(人) (高齢者計)	121,798	122,289	123,023	124,307	135,754
高齢化率(%)	27.1%	27.3%	27.6%	28.1%	34.2%
65～74歳(人)	60,904	57,382	54,580	50,507	62,489
75歳以上(人)	60,894	64,907	68,443	73,800	73,265

注)「住民基本台帳人口」(金沢市調査統計室)を用い、コーホート要因法により推計

3 (1) 高齢者福祉

- 要支援・要介護認定者数の年度別推移を見ると、2000年の第1期当初の認定者数が7,962人であったが、2020年には22,910人となっており、約2.9倍と大きく増加している。
- 高齢者人口の推移とこれまでの要支援・要介護高齢者の認定率から推計すると、認定者数は2040年度に向け、さらに増加することが見込まれる。

要支援・要介護認定者数と認定率



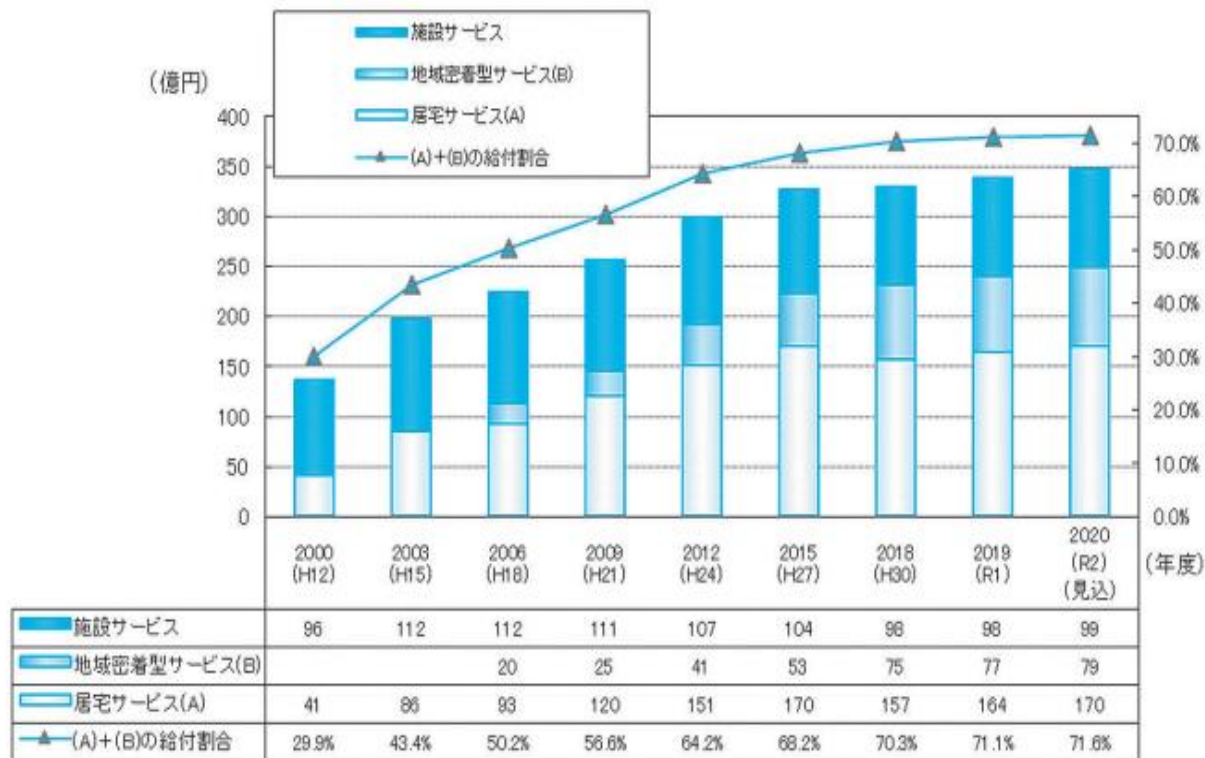
■表 41 要支援・要介護認定者数の推計

単位：人

区分	2021年度	2022年度	2023年度	(参考) 2025年度	(参考) 2040年度
要支援 1	2,900	3,003	3,101	3,226	3,540
要支援 2	3,515	3,623	3,722	3,858	4,400
要介護 1	5,114	5,286	5,445	5,647	6,600
要介護 2	4,448	4,587	4,723	4,891	5,948
要介護 3	3,270	3,373	3,476	3,604	4,517
要介護 4	2,563	2,641	2,722	2,815	3,519
要介護 5	1,840	1,887	1,937	2,002	2,497
合計	23,650	24,400	25,126	26,043	31,021

3 (1) 高齢者福祉

- 居宅サービス、地域密着型サービス、施設サービスを合わせた給付費全体を見ると、**2000年度以降、増加傾向**が続いている。



介護保険サービスの利用状況

高齢者福祉

■ 長寿安心プラン2021（2021.3策定）

老人福祉計画と介護保険事業計画を一体のものとして策定した、健康づくり、介護予防、認知症施策、生活支援、介護など、高齢者の生活全体を支える事項を定めた総合計画。

持続可能性の高い介護提供体制の構築などを目指し、本市の地域性を踏まえた地域包括ケアシステムの構築や、介護の受け皿整備、高齢者の生きがいづくり等の取組を推進していく。

■ 基本理念

1. 高齢者が尊厳を持って暮らせるまちづくり
2. 住み慣れた地域で安全・安心に暮らし続けられるまちづくり
3. みんなで高齢者の暮らしを支えるまちづくり

■ 施策目標

(1) 多様な住まいの確保

高齢者が、自らの状態や希望に応じて適切な住まいを自由に選択できるように、高齢者向けの多様な住まいの確保を推進していきます。

(2) 介護サービス・在宅医療の提供体制の充実

高齢者が、住み慣れた地域での在宅生活が継続できるように、介護サービス・在宅医療の提供体制を充実させていきます。

(3) 生活支援・介護予防の提供体制の充実

高齢者の日常生活上の課題に対する生活支援や、健康づくりによる介護予防などが地域で提供されるように、生活支援・介護予防の提供体制を充実させていきます。

(4) 高齢者の社会参加の促進

高齢者が、いつまでも生きがいを持って暮らしていける社会の実現を目指して、それぞれの高齢者の心身の状況や生活環境に応じた多様な社会参加の促進に取り組んでいきます。

(5) 認知症の方を支える体制の充実

認知症の方ができる限り住み慣れた地域で暮らし続けることができるように、認知症の方とその家族を支える体制を充実させていきます。

(6) 高齢者を支える重層的ネットワーク体制の構築

高齢者を支える切れ目のない各サービスを地域又は市全体で機能させるために、高齢者を支える重層的ネットワーク体制の構築を推進していきます。

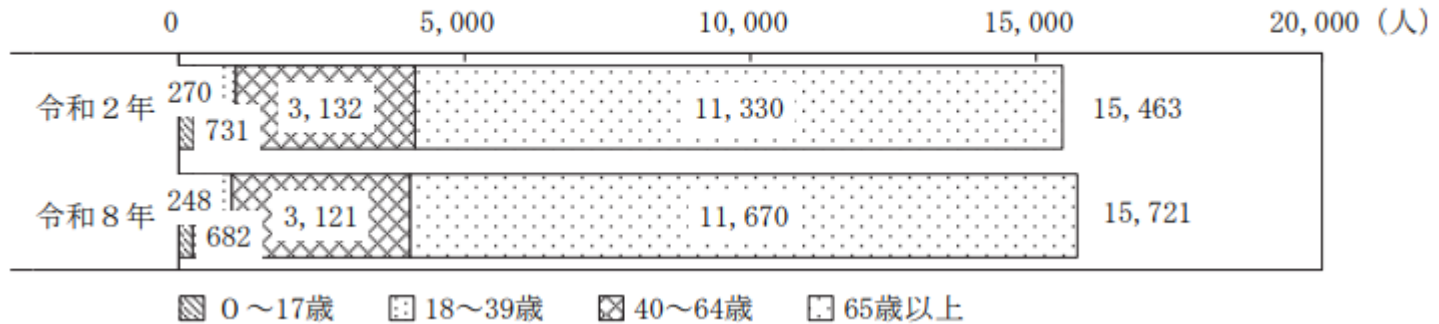
(7) 市民への適切な情報提供と市民参加の促進

高齢者施策や、高齢期の医療や介護等に関する情報を市民に周知・啓発するとともに、高齢者施策の策定過程への市民参加を促進していきます。

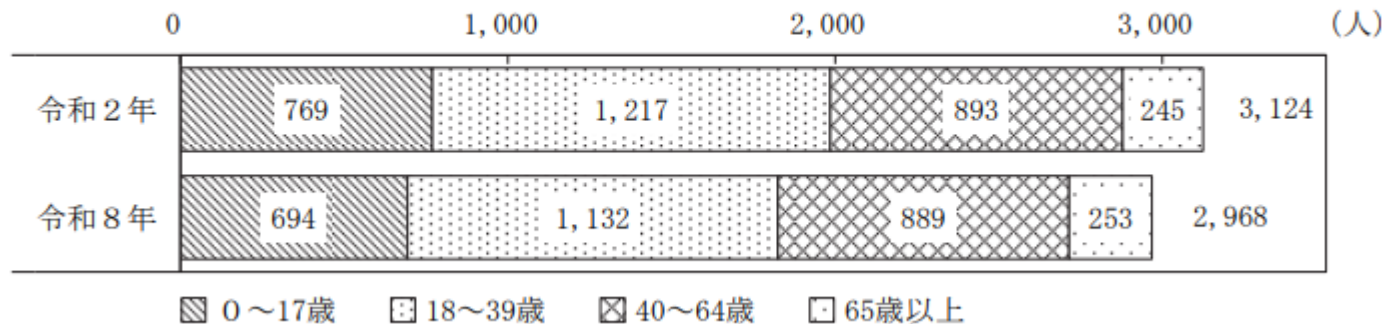
3 (2) 障害者福祉

- 令和2年と令和8年の年齢区分別身体障害者手帳所持者数をみると、65歳未満が減少するものの、65歳以上が増加すると推計している。
- 年齢区分別療育手帳所持者数をみると、65歳以上はやや増加するものの、65歳未満は減少し、合計で減少すると推計している。

図表1-1-5 令和2年と令和8年の年齢区分別身体障害者手帳所持者数



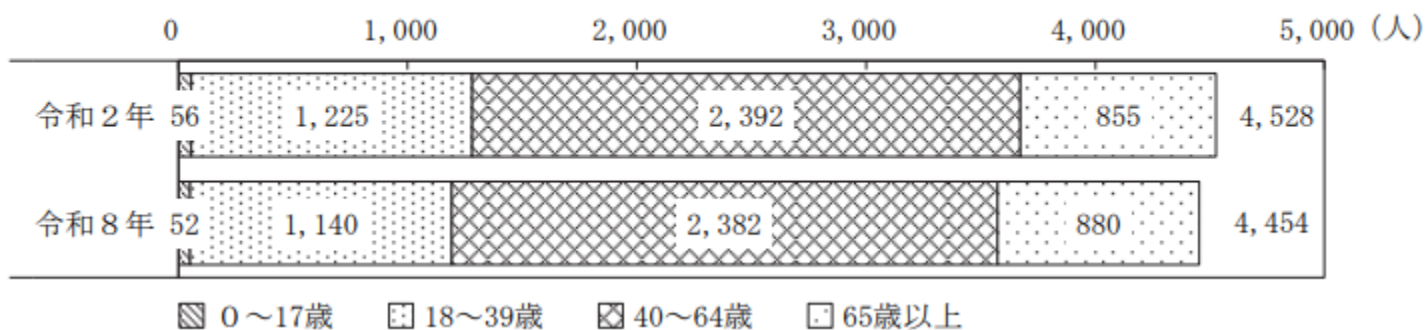
図表1-1-7 令和2年と令和8年の年齢区分別療育手帳所持者数



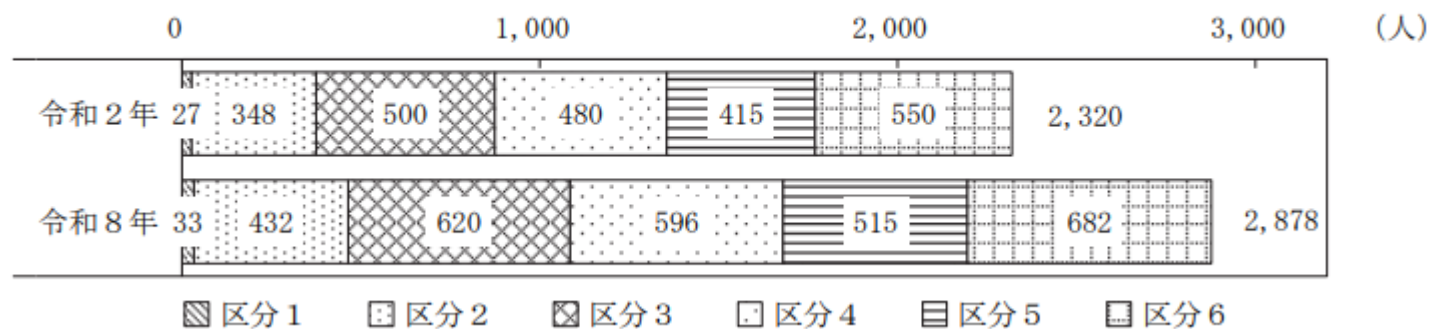
3 (2) 障害者福祉

- 年齢区分別精神障害者保健福祉手帳所持者数の推計をみると、65歳以上はやや増加するものの、65歳未満は減少し、合計で減少すると推計している。
- 障害支援区分別認定者数をみると、いずれの区分も増加する。

図表 1-1-9 令和2年と令和8年の年齢区分別精神障害者保健福祉手帳所持者数



図表 1-1-11 令和2年と令和8年の障害支援区分別認定者数

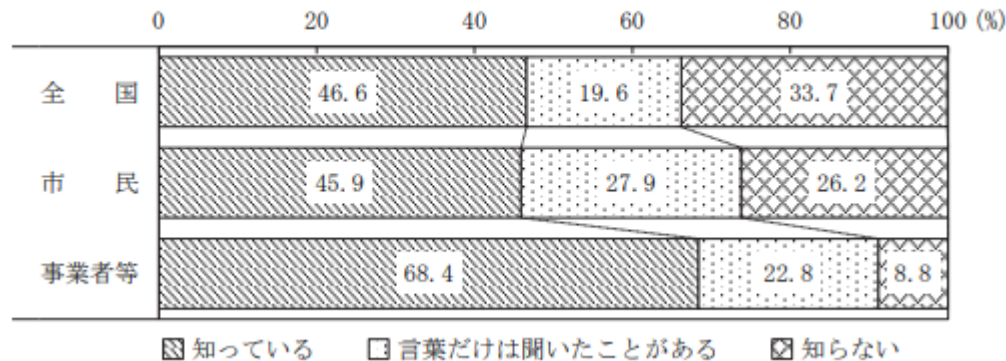


3 (2) 障害者福祉

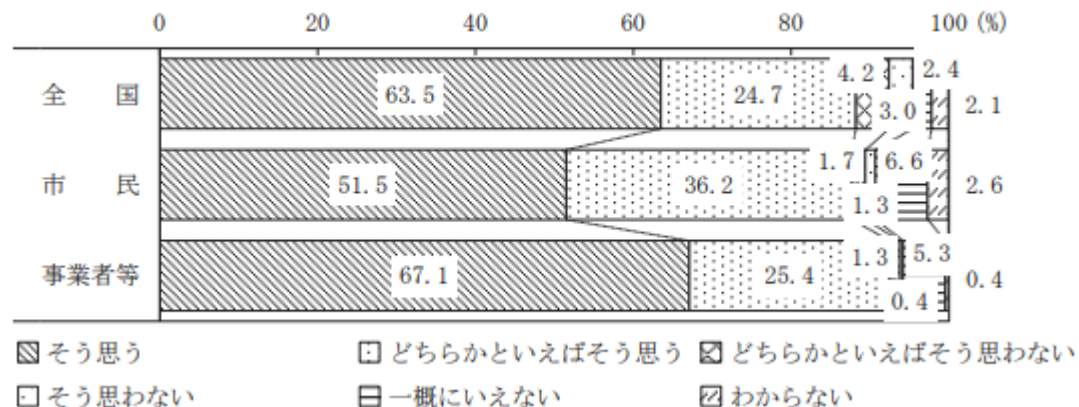
- 共生社会の考え方について「知っている」と答えているのは、事業者等の68.4%が最も高く、全国と市民はほぼ同率だが、「知らない」は、全国より市民が7.5ポイント低くなっている。
- 『障害のある人が身近で普通に生活しているのが当たり前だ』という考え方について「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計は、全国88.2%に対して、市民が87.7%、事業者等が92.5%である。

※共生社会：「障害のある・なしにかかわらず、誰もが社会の一員としてお互いを尊重し、支え合って暮らすことを目指す。」

図表2-3-1 「共生社会」の周知度



図表2-3-2 「共生社会」の考え方



障害者福祉

■ ノーマライゼーションプラン金沢2021（2021.3策定）

「親なき後」や災害時等の不安を解消し、障害のある人の生活を地域全体で支えるシステムの充実に努めるほか、差別の解消と合理的配慮の促進を図ることにより、年齢や障害の有無等にかかわらず安全に安心して暮らせる「共生社会」の実現を目指すとともに、医療的ケアが必要な児童に対する支援など、障害のある児童への支援を強化する。

重点施策1 安全に安心して暮らせる「共生社会」の実現…「ともに生きる」の新設

少子高齢・人口減少社会の急速な進展や人間関係の希薄化、社会的孤立等の課題が表面化する中、年齢や障害の有無等にかかわらず安全に安心して暮らせる「共生社会」の実現が強く求められることから、新たな施策の柱となる「ともに生きる」を新設し、関連施策を拡充します。

重点施策2 障害のある児童への支援強化…「豊かに育つ」の新設

児童福祉法等の改正や金沢SDGsの推進等を受け、子育て支援の充実や医療的ケアが必要な児童等への支援を強化するため、新たな施策の柱となる「豊かに育つ」を新設し、関連施策を充実します。

重点施策3 社会情勢の変化等への対応

- (1) 東京オリンピック・パラリンピック開催に向けた国のユニバーサルデザイン2020行動計画の策定（平成29年）やユニバーサル社会実現推進法の制定（平成30年）、バリアフリー法の一部改正（令和2年）を受け、各分野におけるユニバーサルデザインを推進します。
- (2) 国の障害者文化芸術推進法の制定（平成30年）を契機に、文化芸術創造都市金沢の強みを生かし、障害のある人が文化芸術活動等を通じて能力を発揮し、更なる自立・活躍を促進する施策を展開します。
- (3) 金沢市手話言語条例（平成29年）や国の読書バリアフリー法（平成30年）の制定、情報提供に関する多様なニーズ等に対応するため、情報コミュニケーション施策を充実します。
- (4) 生産年齢人口の減少等による担い手不足や多様化・複雑化するニーズに対応するため、ICTの利活用や、IoT、AI時代のスマートインクルージョンの視点を各種施策に反映します。

共生社会の推進

■ 共生社会を推進する金沢共同宣言 (2022.12)

障害の有無により分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合い、誰一人取り残すことのない「ともに創り、ともに生きるまち」の実現に向けて、全力で取り組むことを宣言

○基本方針

- (1) ノーマライゼーションプランの精神を市民に理解・浸透、次代への継承
- (2) 「ともに創り、ともに生きるまち」の実現
- (3) 市民、事業者、地域との連携

○取組事項

- (1) 障害を理由とする一切の差別の解消
- (2) 合理的配慮の促進、社会的障壁の除去
- (3) 障害のある人とない人の相互理解、支え合う環境づくり
- (4) 自分の生き方を選択できる社会づくり
- (5) 安全安心に暮らすことができる地域社会の実現

共生社会推進事業者認定制度

- 対象となる事業者（市内に活動拠点）
 - ・ 企業、法人、店舗（個人・法人問わない）
 - ・ 市民団体、活動グループ・サークル、町会団体など
- 認定要件
 - ・ 改正障害者差別解消法の研修会の受講
 - ・ 障害のある人と交流するなどの活動を行うこと など

共生社会推進サポーター制度

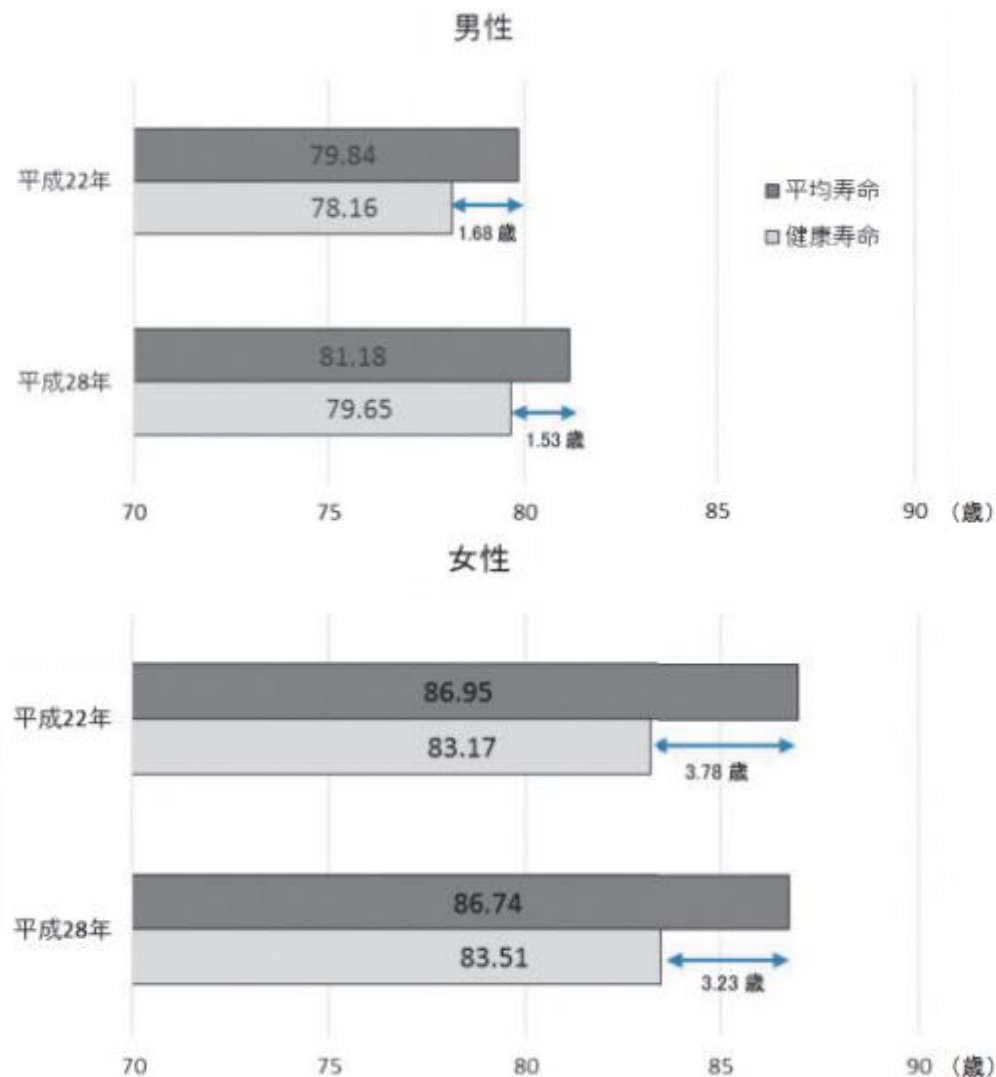
合理的配慮についての助言を要望する場合や事業者内研修を実施する場合など、必要に応じて本市が委嘱した「共生社会推進サポーター」を派遣する。



認定ステッカー

3 (3) 健康政策

- 平成28年における金沢市の健康寿命は、男性が79.65歳、女性が83.51歳であり、**男女とも健康寿命が延びている**。また、**平均寿命と健康寿命の差**は、男性は1.53歳、女性は3.23歳であり、**男女とも短縮傾向**にある。



3 (3) 健康政策

- 死因については、脳疾患と腎不全が県平均よりも高く、心臓病が低い傾向にある。
- 医療費の状況においては、**総医療費**が約5.6%**減少**している一方で、**1人当たりの医療費**が約7.5%**増加**している。

【主な疾患別の死因割合：規模別】

(%)

	R1	金沢市	県	同規模	国	R1	金沢市	県	同規模	国
がん		49.5	49.7	50.7	49.9	糖尿病	1.5	1.5	1.9	1.9
心臓病		25.3	27.7	27.1	27.4	腎不全	3.2	3.0	3.2	3.4
脳疾患		17.1	15.4	14.3	14.7	自殺	3.4	2.6	2.8	2.7

資料：KDB帳票(金沢市)

【総医療費と1人当たり医療費の推移】

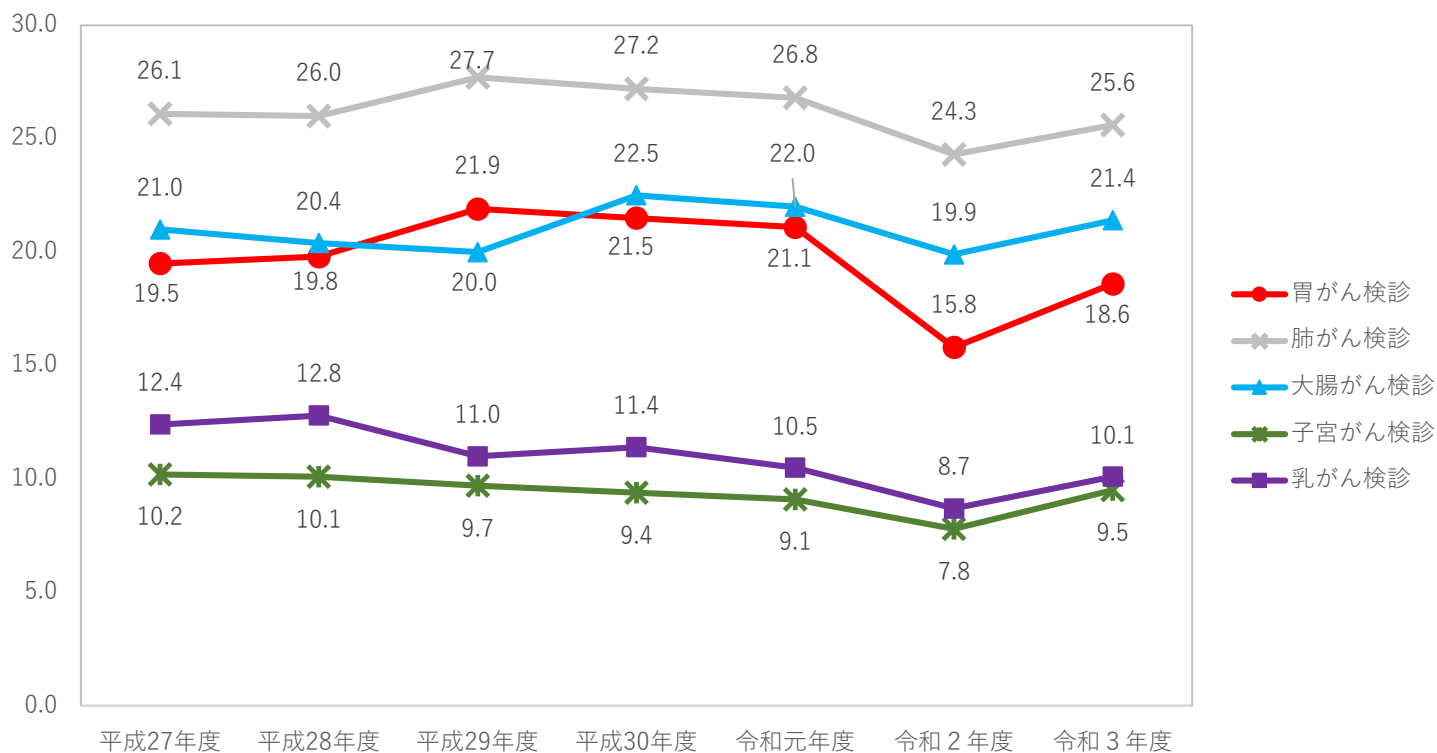
項目	年度	全体				入院				入院外			
		費用額	増減	伸び率		費用額	増減	伸び率		費用額	増減	伸び率	
				保険者	同規模			保険者	同規模			保険者	同規模
総医療費	H28	347億2,384万円	△12億3,627万円	△3.4%	3.0%	159億 936万円	△7億8,656万円	△4.7%	3.10%	188億1,448万円	△4億4,971万円	△2.3%	2.90%
	R1	327億6,423万円	△19億5,961万円	△5.6%	△7.5%	152億1833万円	△6億9,103万円	△4.3%	△5.6%	175億4589万円	△12億6,859万円	△6.7%	△8.7%
1人当たり医療費	H28	29,154	1,585	5.7%	8.4%	13,357	557	4.4%	8.6%	15,797	1,028	7.0%	8.3%
	R1	31,332	2,178	7.5%	7.6%	14,553	1,196	9.0%	9.8%	16,779	982	6.2%	6.1%

資料：KDB帳票(金沢市国民健康保険)

3 (3) 健康政策

■ **がん検診（すこやか検診）の受診率は依然として低い状況にあり、令和3年度の受診率は胃がん検診18.6%、肺がん検診25.6%、大腸がん検診21.4%、子宮がん検診9.5%、乳がん検診10.1%となっている。**

5大がん検診の受診率の推移

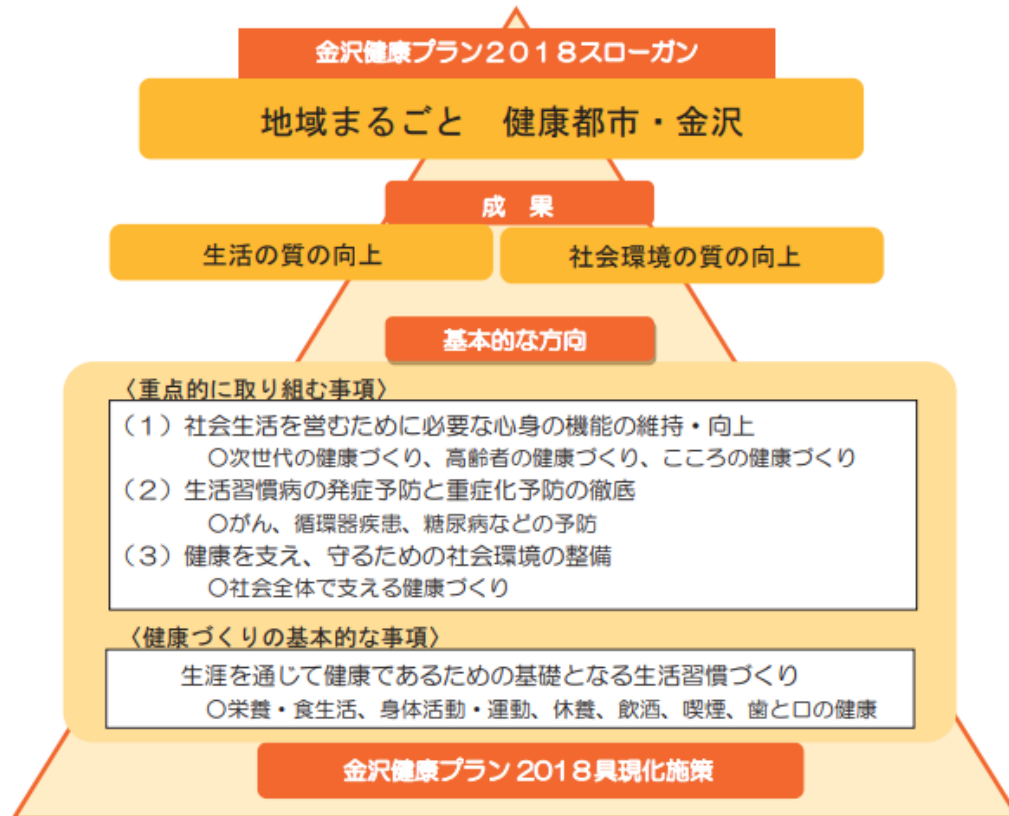


出典：金沢市衛生年報

健康増進

金沢健康プラン2018（2018.3策定）

「地域まるごと 健康都市・金沢」というスローガンを掲げ、地域ぐるみで市民相互のつながりや支え合いによる健康づくりを広げ、行政は、地域との連携を進め、住民との協働による健康なまちづくりを推進し健康都市を目指す。



基本的な方向	取り組みの項目	取り組み方針
社会生活を営むために必要な心身の機能の維持・向上	次世代の健康づくり	妊娠前、妊娠期の健康づくりの推進 子どもの頃から健康的な生活習慣の確立
	高齢者の健康づくり	フレイル予防の推進（重点） 認知症予防の推進
	こころの健康づくり	こころの健康を保つ知識の普及 ひきこもりの長期化防止
生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底	がん、循環器疾患、糖尿病などの予防の徹底	特定健康診査受診率の向上 がん検診受診率の向上 メタボリックシンドローム改善の推進 糖尿病性腎症予防の推進（重点）
健康を支え、守るための社会環境の整備	社会全体で支える健康づくり	職場における健康づくりの推進（重点） 栄養バランスのとれた食事普及のための環境整備 がん患者支援の推進
生涯を通じて健康であるための基礎となる生活習慣づくり	栄養・食生活	健康な食習慣の確立（重点）
	身体活動・運動	身体活動・運動に取り組む習慣づくり
	休養	十分な休養、良質な睡眠の確保
	飲酒	適正飲酒の普及 妊婦の飲酒防止の推進
	喫煙	受動喫煙対策の推進 妊婦の喫煙防止の推進
	歯と口の健康	歯周病予防等、歯と口の健康づくりの推進（重点） 歯科健診受診率の向上

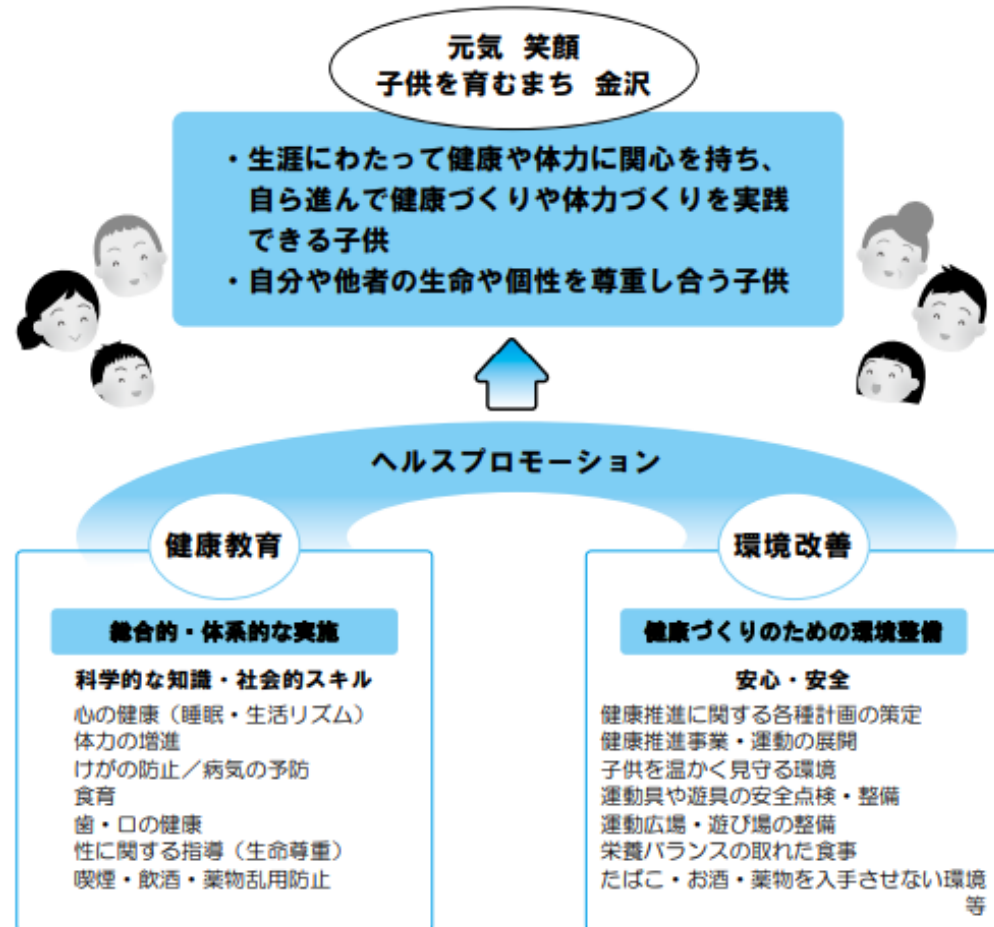
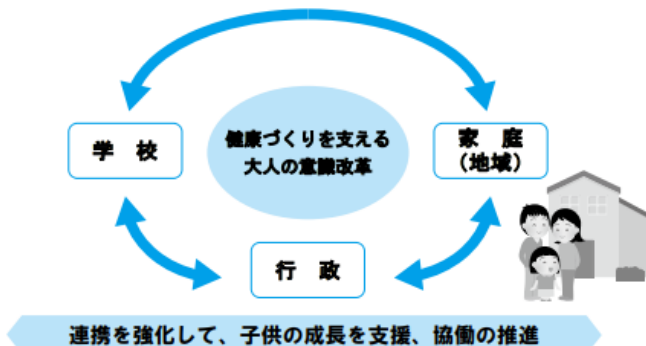
健康教育の推進

■健康教育推進プラン2019 (2019.3策定)

子供の心と体の健康の保持増進を図るため、家庭（地域）・学校・行政が連携・協働し、子供の心と体の様々な課題に取り組むための行動計画である。子供が生涯にわたり健康づくりをしていく上で、重点的に取り組む7つの健康課題を掲げる。

■7つの重点的健康課題

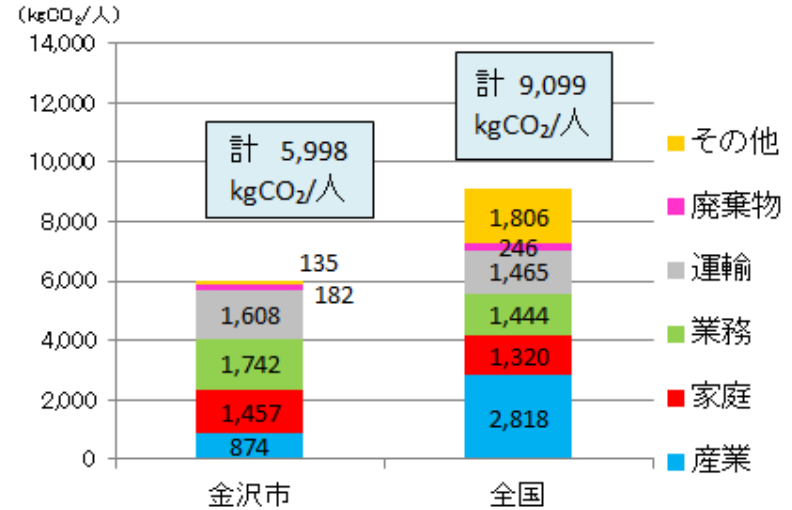
- ◆心の健康（睡眠・生活リズム）
- ◆体力の増進
- ◆けがの防止/病気の予防
- ◆食育
- ◆歯・口の健康
- ◆性に関する指導（生命尊重）
- ◆喫煙・飲酒・薬物乱用防止



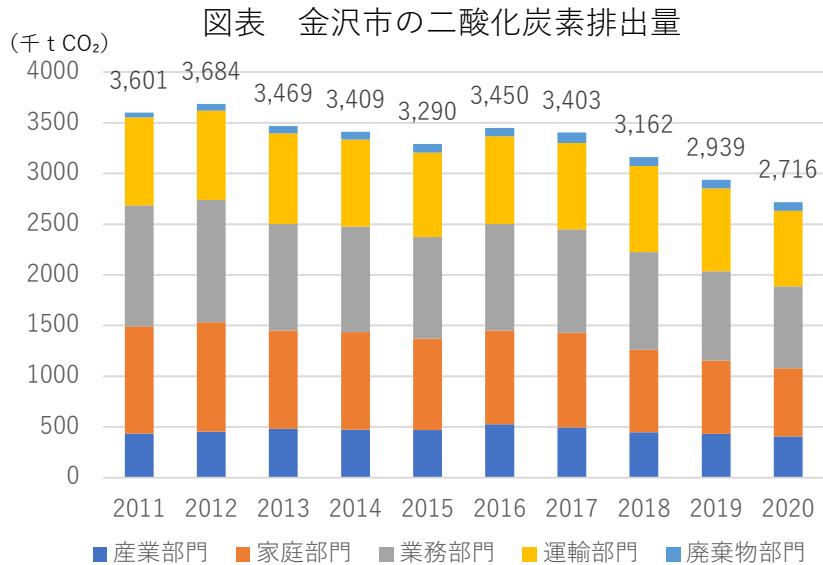
3 (4) 地球温暖化対策

- 金沢市の二酸化炭素排出量は減少傾向がみられる。
- 一人あたりの温室効果ガス排出量は、全国と比較し約3割少ない。
- 金沢市の平均気温は上昇傾向にある。日最大降水量は50～180mm。

図表 人口一人あたりの温室効果ガス排出量 (2020)

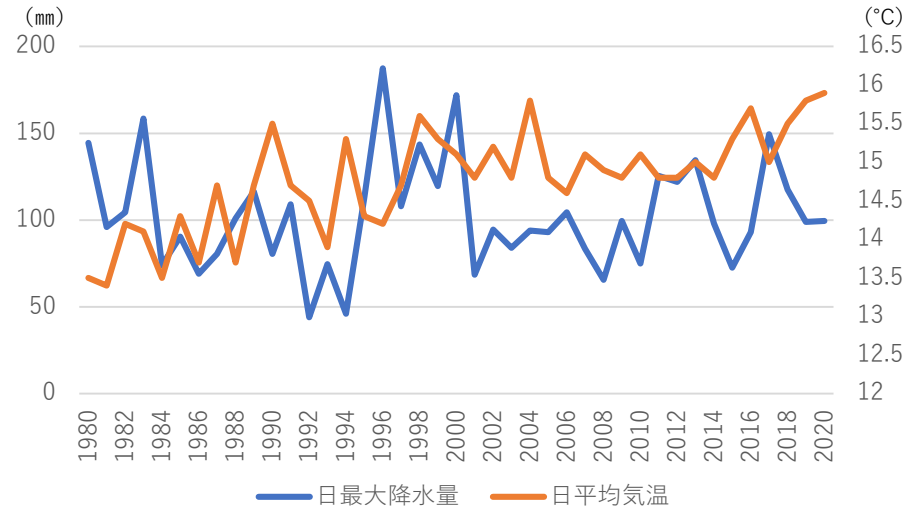


出典：金沢市ホームページ



出典：金沢市ホームページデータを基に作成

図表 金沢市の日平均気温、日最大降水量の推移



出典：金沢地方気象台データより作成

ゼロカーボンシティの推進

■金沢市地球温暖化対策実行計画（2023.2）

市民・事業者・行政がそれぞれの役割と責任を持って温室効果ガスの削減と気候変動への適応に取り組むとともに、各主体が連携・協力した取り組みを進め、金沢らしい持続可能な社会の実現をめざす。

基本方針1

再生可能エネルギー等の利用推進と限りある資源の有効活用

1. 小水力発電設備の設置を促進
2. 太陽光発電設備等の設置を促進
3. バイオマスを有効に活用
4. 再生可能エネルギーの利用を積極的に推進するための制度や体制を整備
5. 公共施設における再生可能エネルギーの導入を拡大
6. 水素エネルギーの利活用と普及啓発

基本方針2

環境負荷の少ない日常生活や事業活動への転換

1. 日常生活における省エネルギー行動を推進
2. 事業活動における省エネルギー行動を推進
3. 省エネルギー住宅や省エネルギー機器の導入を促進
4. 環境教育・環境学習の充実と環境リーダーの育成
5. 地産地消の推進
6. 公共施設における省エネルギー機器の導入拡大と職員省エネルギー行動の徹底

基本方針

森林の再生と緑化の推進による吸収源の確保と熱環境の改善

1. 森林を整備し、二酸化炭素の吸収源対策を実施
2. 人材の育成や市民等との協働による適正な森林管理の推進
3. 斜面緑地とまちなかの自然を保全し、ヒートアイランド現象を緩和

削減策

基本理念

未来につながる
“ゼロカーボンシティかなざわ”
をめざして

～温室効果ガスの削減による持続可能な社会の実現～

吸収策

本計画では、

地球温暖化の防止に向けて、

温室効果ガス排出量の削減およびその吸収源の確保に努めるとともに、

気候変動への適応を推進し、自然環境との調和を保ちつつ、

省資源、省エネルギー型の社会システムの中で、

だれもが快適で心豊かな暮らしを続けていくことができるような、

持続可能な社会の実現を目指します。

基本方針3

公共交通の利用と歩けるまちづくりの推進による、人と環境にやさしい交通環境の構築

1. 公共交通の利便性を向上
2. 歩く人にやさしい環境の整備
3. 快適な自転車利用環境の創出
4. マイカーから公共交通への利用転換を促進
5. まちなかへの過度なマイカー流入を抑制し、まちなか定住、就業促進を図る
6. 次世代自動車の導入を進めるとともに、効率的な自動車利用を推進
7. 市公用車における次世代自動車の導入拡大と職員のエコドライブの徹底

基本方針4

廃棄物の発生抑制、再使用、再生利用による循環型社会の形成

1. 3R推進のための普及啓発と情報の提供を実施
2. ごみの減量化と資源化を推進
3. ごみ処理施設等における発電と余熱エネルギーの有効利用

基本方針

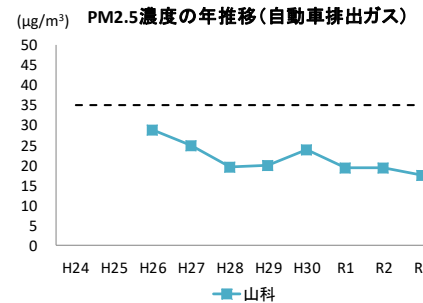
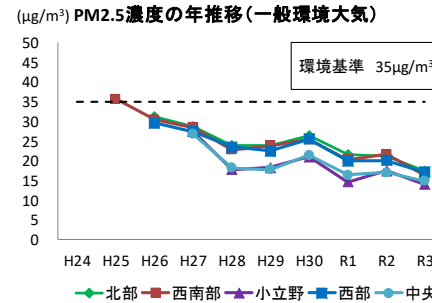
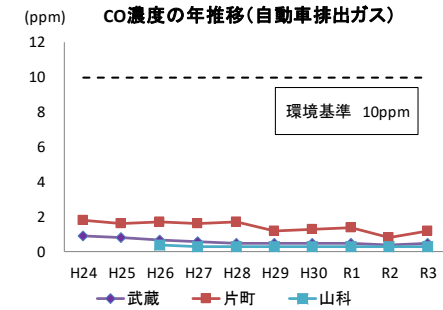
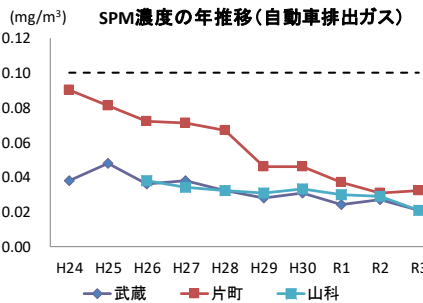
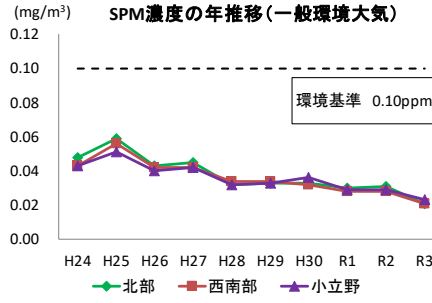
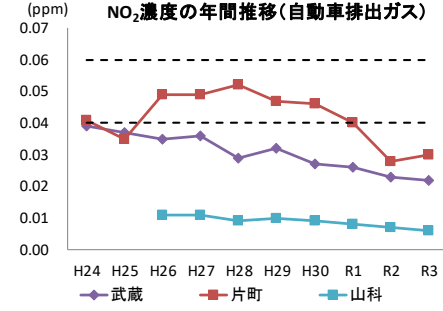
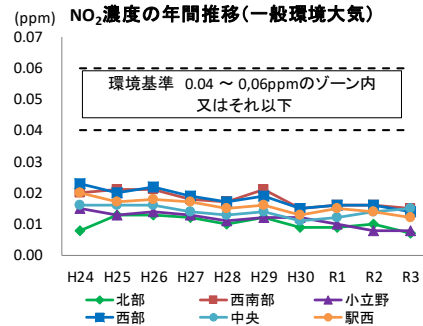
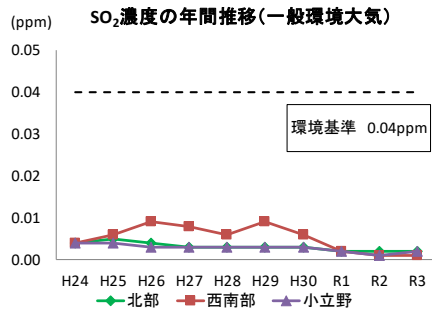
気候変動による影響の把握と適応の推進

1. 気候変動の現状とその影響を把握
2. 農林水産業に関する施策
3. 水環境・水資源に関する施策
4. 自然生態系に関する施策
5. 自然災害に関する施策
6. 健康・国民生活・都市生活に関する施策

適応策

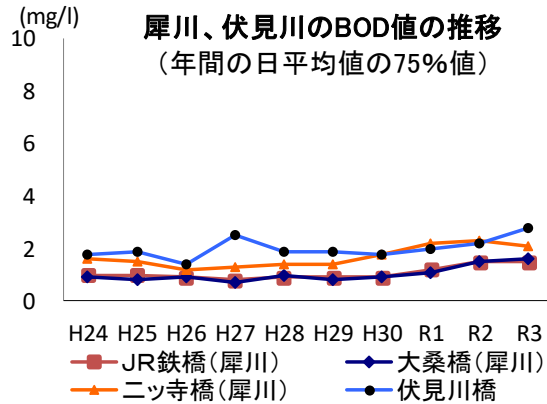
3 (5) 環境保全

- 二酸化硫黄(SO₂)や二酸化窒素(NO₂)、浮遊粒子状物質(SPM)の濃度は、いずれも環境基準を達成しているが、光化学オキシダントについては、年間50日程の基準値超過がある。
- 微小粒子状物質(PM_{2.5})については、市内6測定局で常時監視し、測定結果を公表しており、現状で注意喚起情報が頻発する状況ではない。

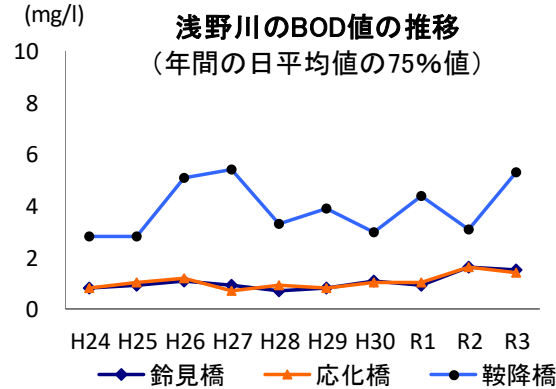


3 (5) 環境保全

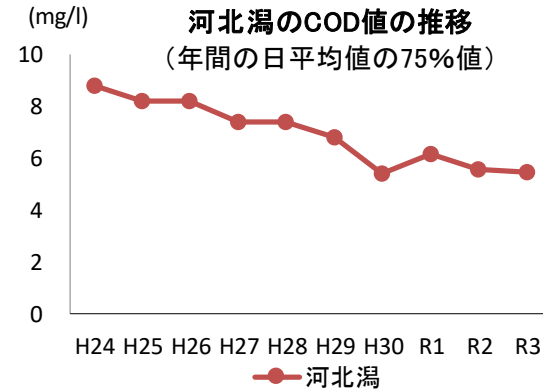
- 水質の状況について、犀川・浅野川における生物化学的酸素要求量(BOD)をみると若干の増減が見られるが、大半の地点で概ね横這いで推移し、環境基準を達成している。
- 河北潟の化学的酸素要求量(COD)は環境基準を超過しているが、低下傾向である。



環境基準	
大桑橋	2mg/l
JR鉄橋	3mg/l
ニツ寺橋	8mg/l
伏見川橋	10mg/l



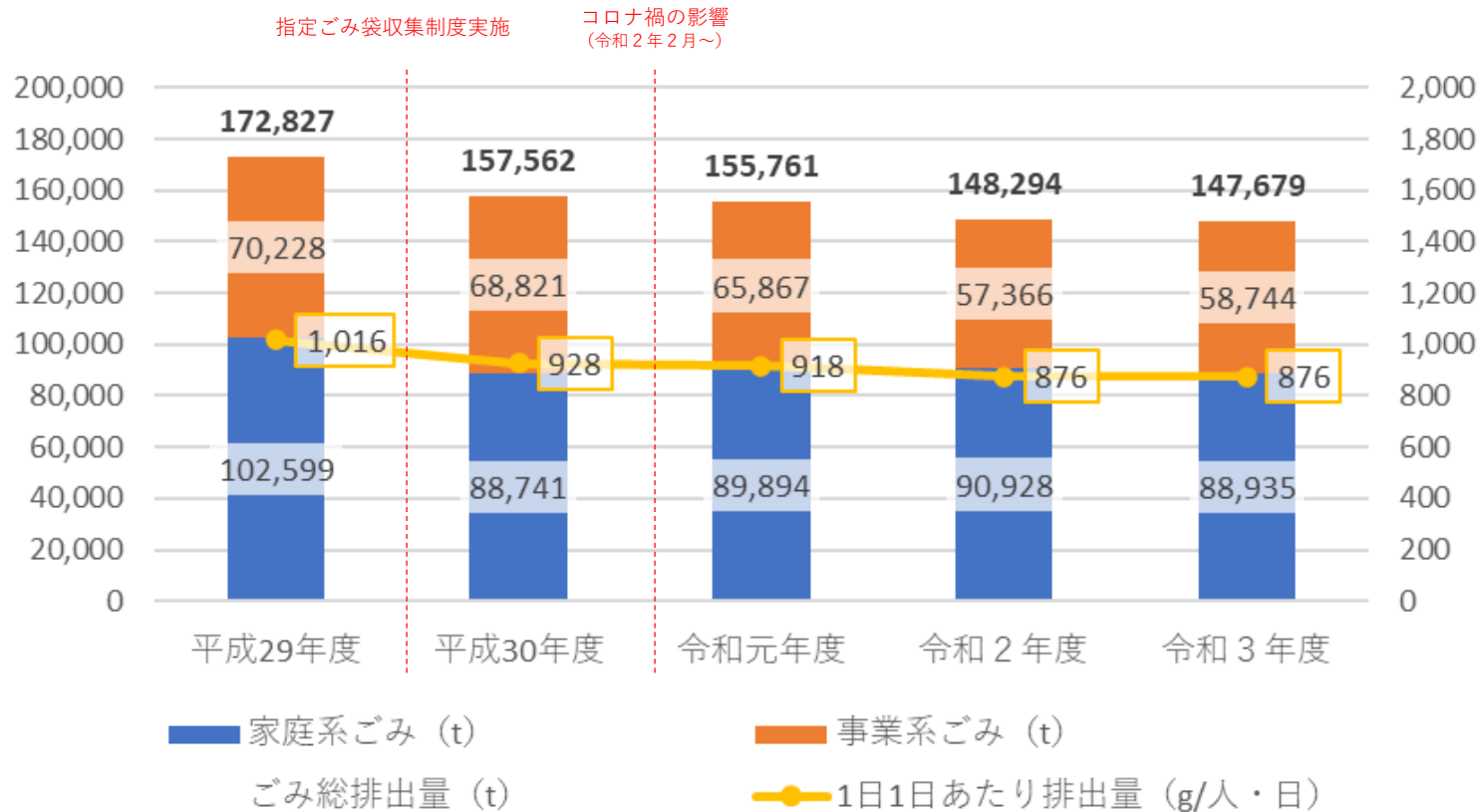
環境基準	
鈴見橋	2mg/l
応化橋	2mg/l
鞍降橋	3mg/l



環境基準	
河北潟	5mg/l

3 (5) 環境保全

- **家庭系ごみ**は平成30年2月の指定ごみ袋収集制度導入により急減し、その後はコロナ禍の影響を受け、増加傾向となったが、令和3年度は再び減少に転じた。
- **事業系ごみ**はペーパーレス化の進展やコロナ禍での事業活動の制約等により、減少傾向であったが、事業活動の再開が見られた令和3年度には**増加に転じた**。



環境保全の推進

■ 金沢市環境基本計画(第3次) (2018.3策定)

長い歳月をかけて市民が育んできた金沢市の環境を次世代に継承し、市民・事業者との協働と技術革新によって、環境負荷が少なく、潤いのある生活が続けられるまちづくりを目指す。

〔社会情勢等の変化〕

- ▶ 持続可能な開発のための2030アジェンダの採択
(平成27(2015)年9月)
環境、経済、社会の統合的向上に向けての取り組み
- ▶ パリ協定の発効 (平成28(2016)年11月)
温室効果ガス削減等に関する新たな国際的枠組みに基づく地球温暖化対策の推進
- ▶ 東日本大震災を契機とする国のエネルギー政策の変化やエネルギーの安定確保への課題

〔金沢市における取り組みの経緯〕

金沢市環境保全条例に基づき、
金沢市環境基本計画を策定

第1次(平成11年4月～平成21年3月)
環境都市金沢をつくる

第2次(平成21年4月～平成30年3月)
持続可能な都市「金沢」をつくる

【基本目標】

- ① 潤いのある都市「金沢」をつくる
- ② 環境への負荷が少ない都市「金沢」をつくる
- ③ 市民・事業者・市が力をあわせて取り組む都市「金沢」をつくる

基本理念

持続可能な都市「金沢」をつくる

基本目標 I



環境への
負荷が小さい
まちをつくる

分野目標 1

地球温暖化を
防止します

- ① 再生可能エネルギーの導入促進
- ② 省エネルギーの推進
- ③ インセンティブの導入によるごみ減量化
- ④ 環境にやさしい交通政策の推進

分野目標 2

循環型社会の形成を
めざします

- ① ごみ資源化の推進
- ② 廃棄物の適正処理の強化

分野目標 3

安心して暮らせる
まちをつくります

- ① 安全で快適な生活環境の保全
- ② 気候変動への対応

基本目標 II



潤いのある
まちをつくる

分野目標 4

心を潤す豊かな
自然を守ります

- ① 生物多様性の確保
- ② 水と緑あふれるまちづくりの推進

基本目標 III



市民協働で
環境保全活動に
取り組む
まちをつくる

分野目標 5

環境にやさしい
活動を推進します

- ① 環境教育の推進
- ② 環境保全活動への支援

分野目標 6

多様な主体による
協働の環を広げます

- ① 地域コミュニティの醸成と充実や市民協働の促進による環境保全活動の推進

自然環境保全

■ 金沢市生物多様性地域計画（2022.3策定）

生物多様性基本法に基づく計画であり、豊かな自然やその恵み、それらを基盤として生活に根付いた文化、伝統を未来に継承していくために、金沢市における生物多様性の保全と持続可能な社会の実現をめざすもの。

『 自然と文化が織りなす豊かな恵みを未来へ 』



2050年の将来イメージ

基本目標1 豊かな自然や多様な生物を大切にする環境づくり

分野目標1 多様な生きものが暮らす豊かな自然を守ります

分野目標2 潤いある生活ができる環境を整えます

分野目標3 自然環境に配慮したまちづくりに努めます

基本目標2 生物多様性の恵みを未来に継承するひとづくり

分野目標1 自然環境保全を推進する人材を育成します

分野目標2 身近な自然に接し、学ぶことにより自然に対する関心を深めます

分野目標3 生物多様性ネットワークの環を広げます

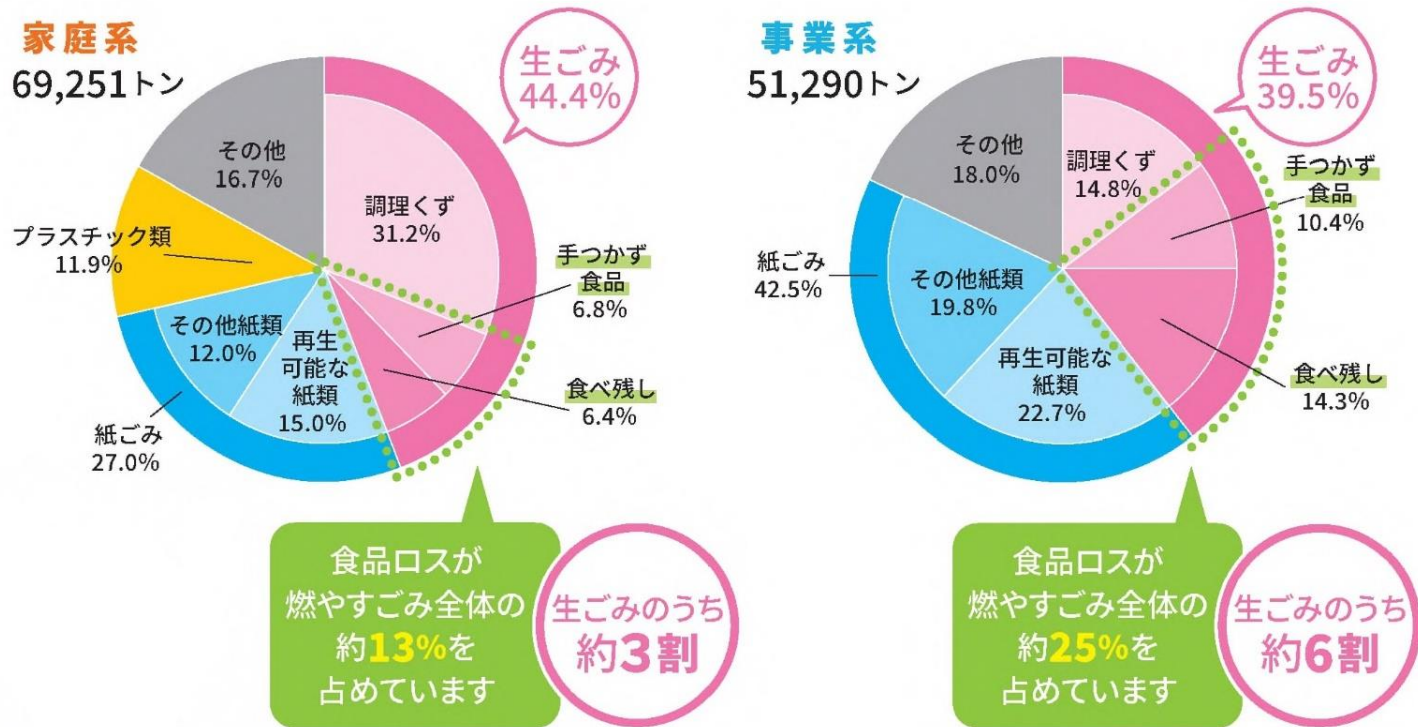
基本目標3 生物多様性の情報を集約・発信する仕組みづくり

分野目標1 身近な自然を再認識し情報を共有します

分野目標2 自然と文化の豊かな金沢の魅力を発信します

3 (6) 食品ロス削減

■ 金沢市の家庭から排出される燃やすごみのうち、「手つかず食品」や「食べ残し」などといった**食品ロス**が**13.2%**で、**生ごみのうち約3割**を占める。



食品ロス削減の推進

■金沢市食品ロス削減推進計画（2021.2策定）

金沢には豊かな食文化があり、また、日本には伝統的に食べ物を大切にする文化や“もったいない”という意識がある。そのような意識を再認識し、市民や事業者、関係団体と相互に協力して取り組みを推進し、環境負荷の少ない、持続可能なまちの実現を目指す。

【基本方針と主な取り組み】

基本方針

1

食品ロス発生抑制のための普及啓発

市民が、食品ロス削減の必要性を理解し、食品ロスを発生させない行動に移すことができるよう、継続した普及啓発を実施します。

施策① 暮らしの中での食品ロスの削減

施策② 若年者、子どもへの周知啓発

基本方針

2

市民・事業者との協働による食品ロス削減の推進

市民・事業者との連携協力のもと、未利用食品の活用や販売、外食等で発生する食品ロスの削減を推進します。

施策③ フードバンク*事業の推進

施策④ フードドライブ*活動の拡充

施策⑤ 食品関連事業者における食品ロスの削減

*「フードバンク」品質には問題ないが通常の販売が困難な食品を、NPO等が企業から引き取って、福祉施設等へ無償で提供する活動

*「フードドライブ」家庭で利用されない食品を持ち寄り、福祉施設等へ無償で提供する活動

基本方針

3

食品ロス削減に向けた推進体制の整備

市民（消費者）、事業者、関係団体、市等各主体が積極的に削減対策に取り組むとともに、相互に情報共有及び連携できる体制を整えます。

施策⑥ 関係団体との連携強化

施策⑦ 庁内関係部局間での連携した施策の実施

基本方針

4

食品廃棄物の資源循環の推進

食品ロス削減の対策を実施した上でも生じる食品廃棄物については、適正な再生利用に取り組みます。

施策⑧ 適正な再生利用の取り組み促進

【各主体の役割】

市民（消費者）、事業者、市等がそれぞれの立場で食品ロスの削減に積極的に取り組むとともに、連携し、計画を推進します。

市民（消費者）の役割

食品ロスの削減の必要性・重要性について理解を深め、削減を実践

暮らしの中で食べきり、使いきりを実践し、事業者の取り組みを理解するとともに、過度の鮮度志向の見直し等、消費者としてできることに取り組むよう努めます。

事業者の役割

事業活動から発生する食品ロスの削減を実践

- ・ 過剰生産の防止や、期限の迫った食品の値引き等売り切りの工夫、未利用食品のフードバンクへの提供等、積極的に食品ロスの削減に努めます。
- ・ 市民（消費者）、市等と連携協力して食品ロス削減の取り組みが推進されるよう努めます。

市の役割

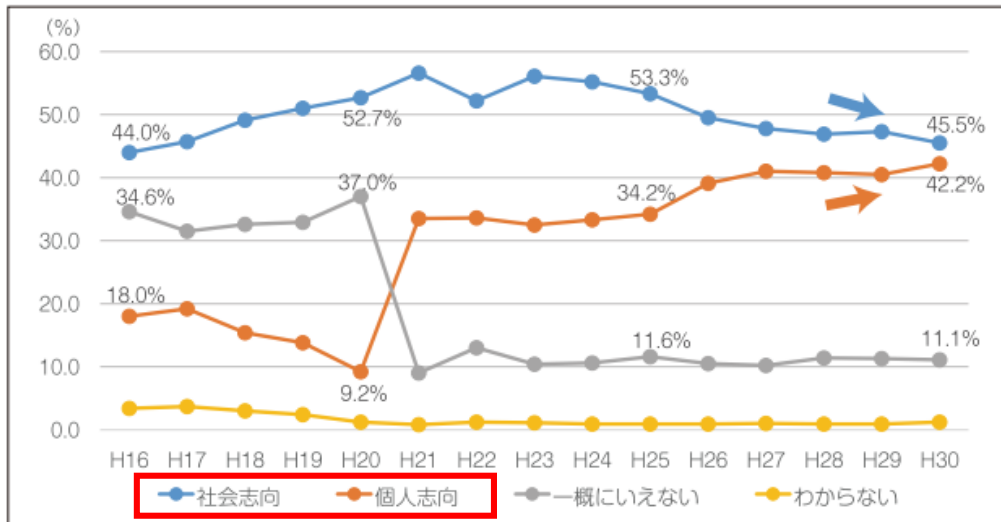
食品ロス削減に向けた施策の実施と推進体制の整備

市民、事業者、関係団体等との連携強化を図り、推進体制を整備するとともに、求められる役割を実践する市民や事業者が増えるよう、各種施策を積極的に実施します。

3 (7) 地域コミュニティ活性化・市民協働推進

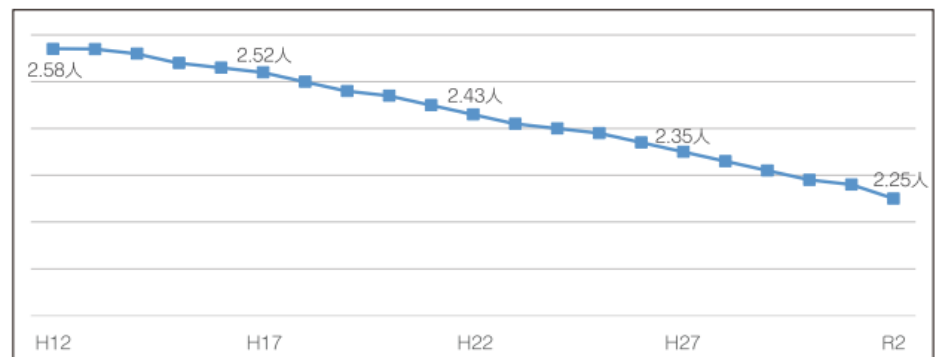
- 内閣府の「社会意識に関する世論調査」において「国や社会のことにもっと目を向けるべきだ（社会志向）」と、「個人生活の充実をもっと重視すべきだ（個人志向）」という意見の比率が拮抗しつつあり、価値観が変化していることがうかがえる。
- 本市における一世帯当たりの人口（推計人口）は、年々減少しており、核家族や単身世帯の増加なども、ライフスタイルの多様化に影響を与えていると考えられる。

図3 社会志向と個人志向の変化



社会意識に関する世論調査（内閣府）

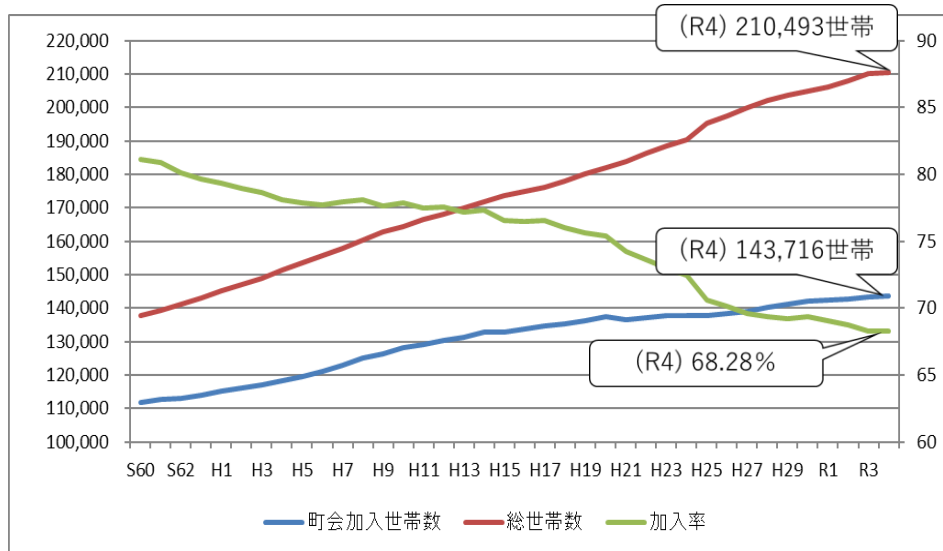
図4 金沢市における一世帯当たり人口の推移



3 (7) 地域コミュニティ活性化・市民協働推進

- 町会加入世帯数は増加しているが、町会加入率は減少傾向が続き70%を下回っている。
- 町会の活性化に必要なものは、人材、若者の参画、意識啓発が多く挙げられている。

図表 町会加入世帯数・加入率の推移



出典：金沢市町会連合会資料

図表 町会の活性化に必要なもの（複数回答）

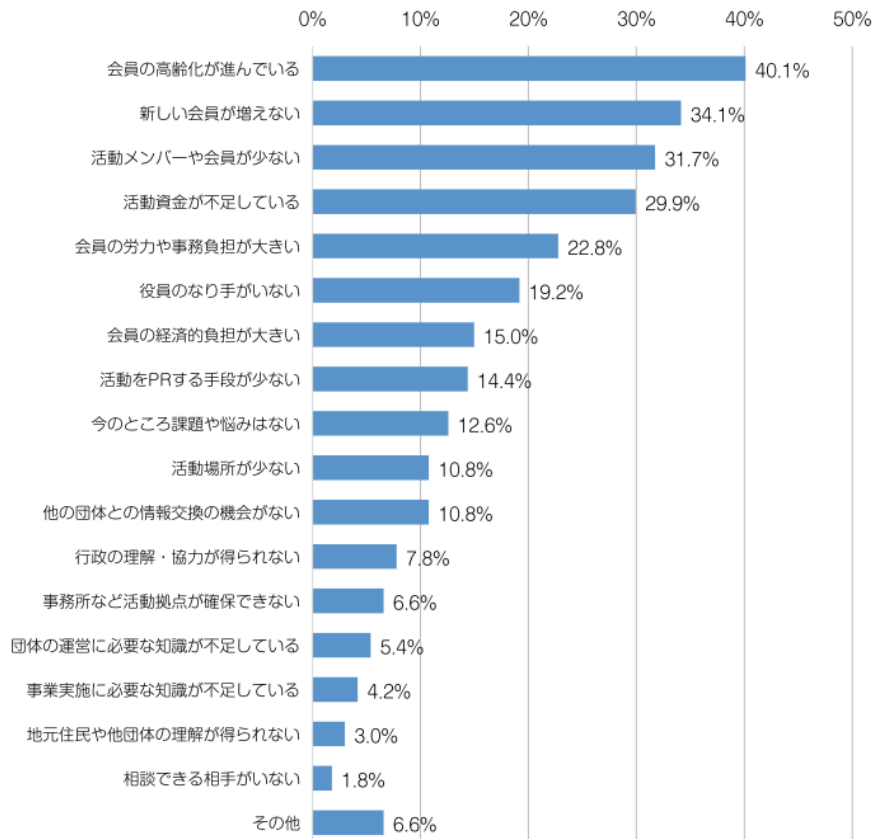
	回答数	割合
リーダーとなる人材	792人	67.6%
若年層の地域参画	784人	67.0%
地域住民の意識啓発	580人	49.5%
持続可能な運営体制	343人	29.3%
財源の充実	307人	26.2%
他地域活動の情報	287人	24.5%
デジタル化の推進	272人	23.2%
町会区域の統合や再編	265人	22.6%
他の地域団体との連携	237人	20.2%
施設の充実	225人	19.2%
加入の増加	194人	16.6%
新たな活動の創出	186人	15.9%
市民活動団体との連携	67人	5.7%
その他	47人	4.0%
該当なし	59人	5.0%
合計	4,645人	

出典：町会長アンケート調査(R4.7実施)

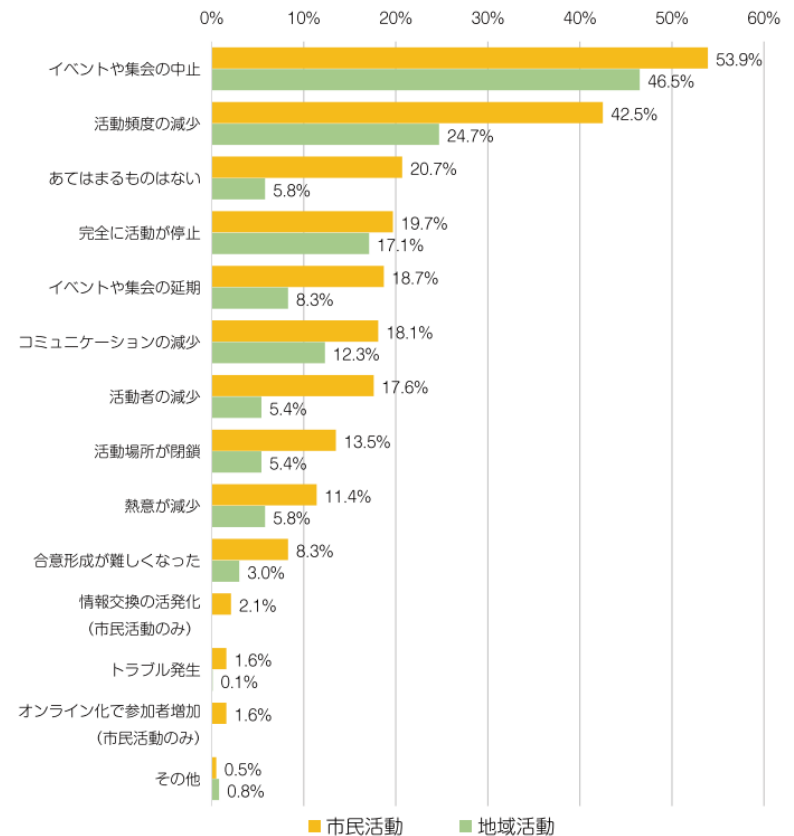
3 (7) 地域コミュニティ活性化・市民協働推進

- 金沢の市民活動団体は、**会員の固定化**、**活動資金**に関する課題を感じている団体が多い。
- 新型コロナウイルスによる市民活動、地域活動への影響を市民に聞いたところ、活動の減少や中止に関しては市民活動の方が影響を強く受けている。

図表 市民活動団体を感じている問題点課題



図表 新型コロナウイルスの活動への影響



3 (7) 地域コミュニティ活性化・市民協働推進

- 市が実施する「まちづくりミーティングへの参加」、「パブリックコメントの意見」、「アンケート調査への回答」などの参加経験を聞いたところ、5割以上は「あてはまるものはない」と回答している。
- 地域活動以外の市民活動等に対しても参加したことがない人が約7割を占める。

図13 問16. あなたは、つぎの市政に関する項目の中で参加した経験をもつものがありますか(複数回答可)。

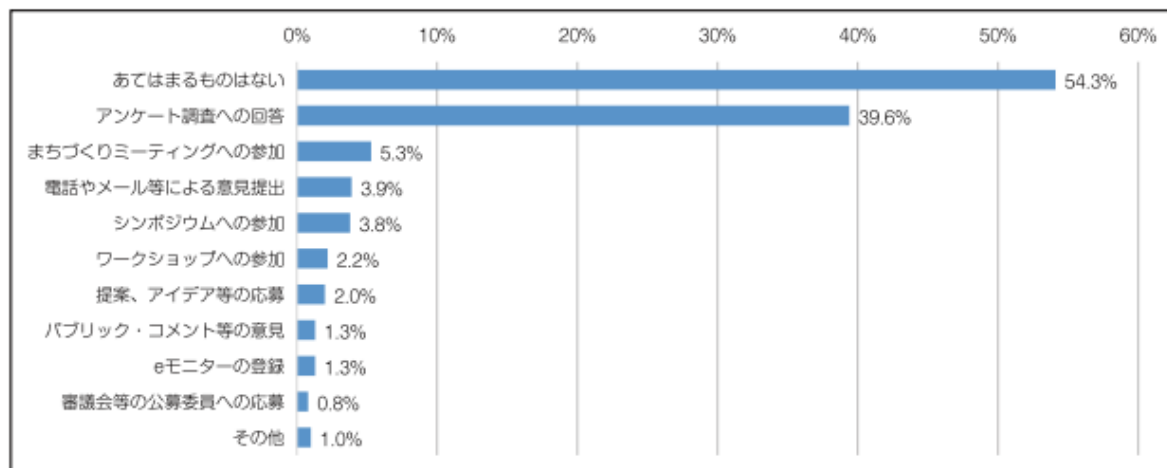
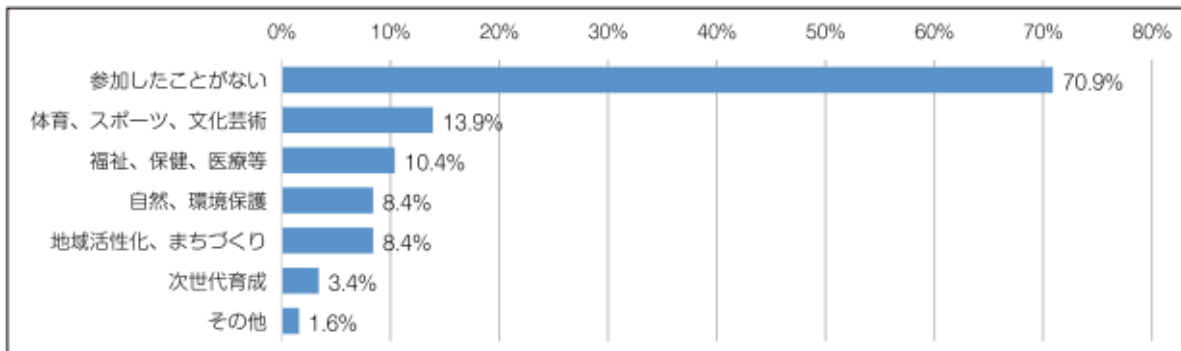


図14 問22(1). あなたは、お住いの地域以外のボランティア団体やNPO等の市民活動に参加していますか。過去に参加したことがある活動も含め選択してください(複数選択可)。

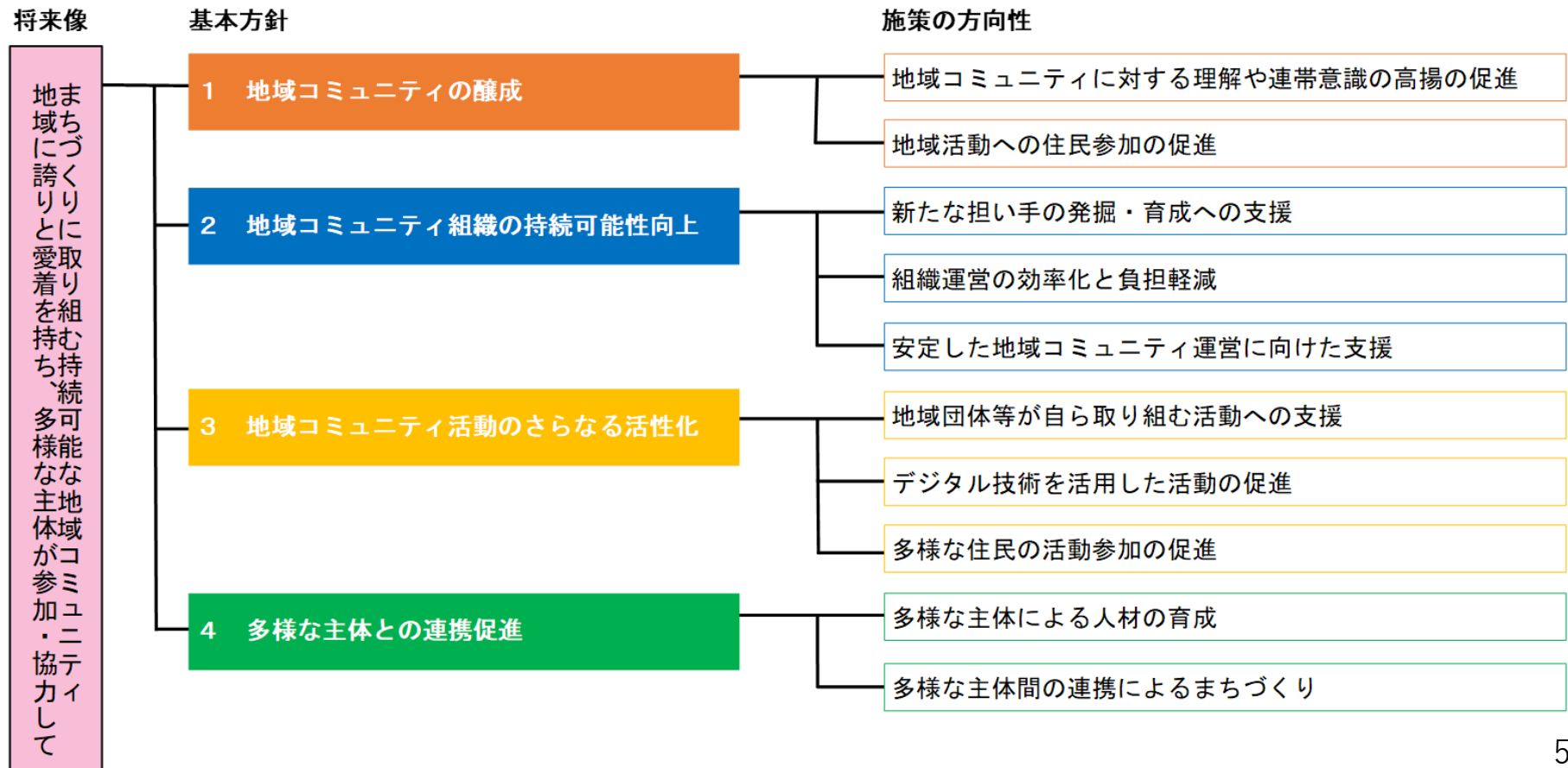


出典：金沢市協働
推進計画2021

地域コミュニティの活性化

■ 金沢市地域コミュニティ活性化推進計画2023（2023.3 策定）

将来にわたり地域住民一人ひとりが地域に誇りと愛着を持ち、あらゆる主体が当事者意識を持って地域活動に参加し、協力しながら、自分たちのまちを住みよいものにするためにコミュニティ活動に積極的に取り組むことにより、地域におけるつながりを強め、変化するニーズや課題に的確に対応できる持続可能な地域コミュニティをめざす。



協働のまちづくりの推進

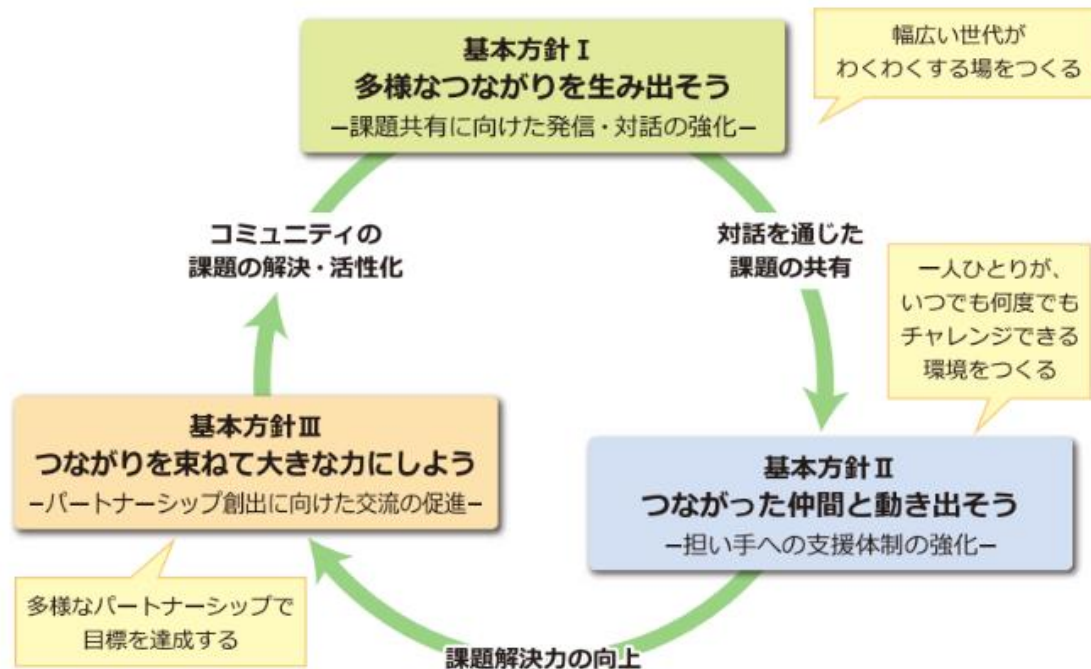
■ 金沢市市民活動サポートセンターの開設（2018.9）

地域団体や市民活動団体への活動支援や団体相互の連携を促進

■ 金沢市協働推進計画2021（2021.3）

S D G s やコロナ禍における新しい生活様式への対応等、時代のニーズに応じた市民協働によるまちづくりの推進

あらゆる市民がつながるパートナーシップによるまちづくり



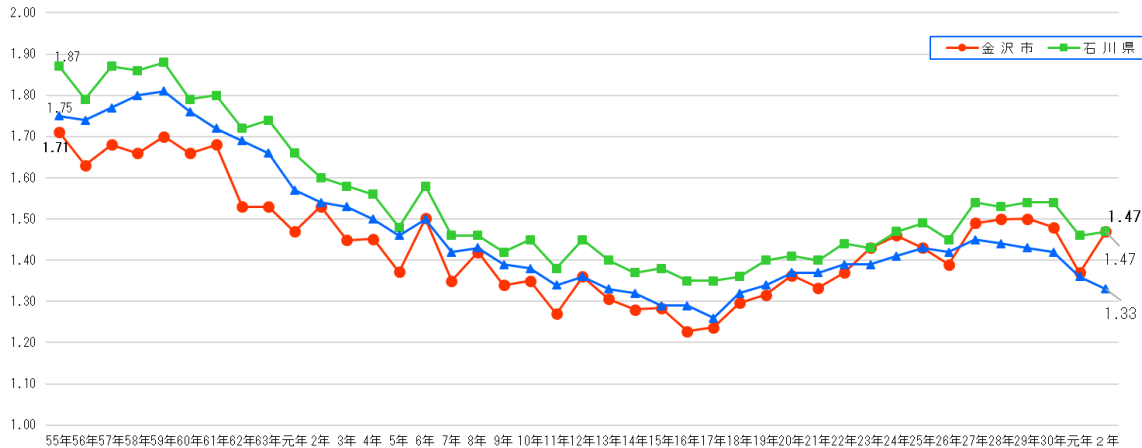
4. 「人づくり」の本市の状況

(子育て、教育、生涯学習など)

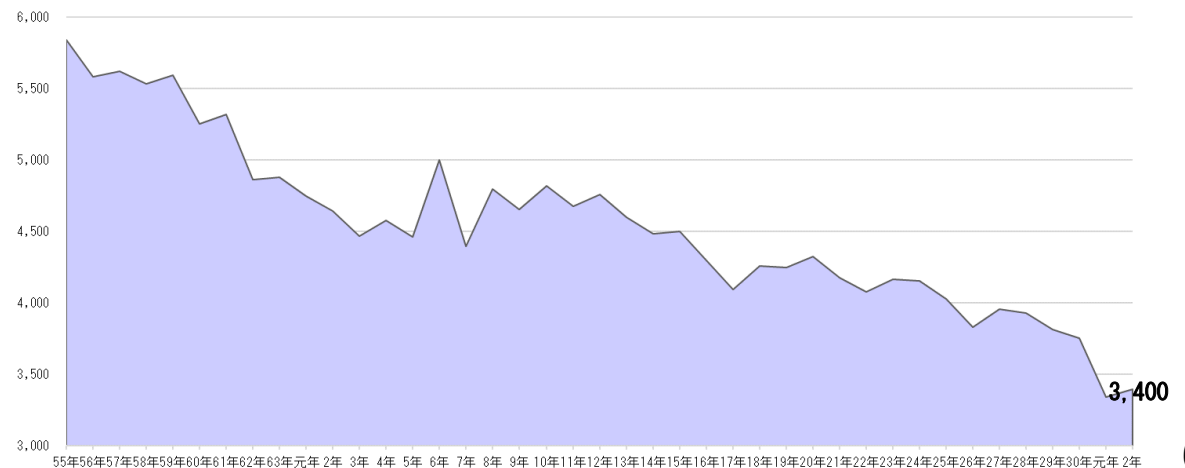
4 (1) 子ども・子育て支援

- 金沢市の合計特殊出生率は、全国平均を上回るものの、石川県の平均を下回っている。
- 出生数は、緩やかに減少し続け、平成26年以降は4,000人を下回っている。

【合計特殊出生率推移】



【金沢市の出生数推移】

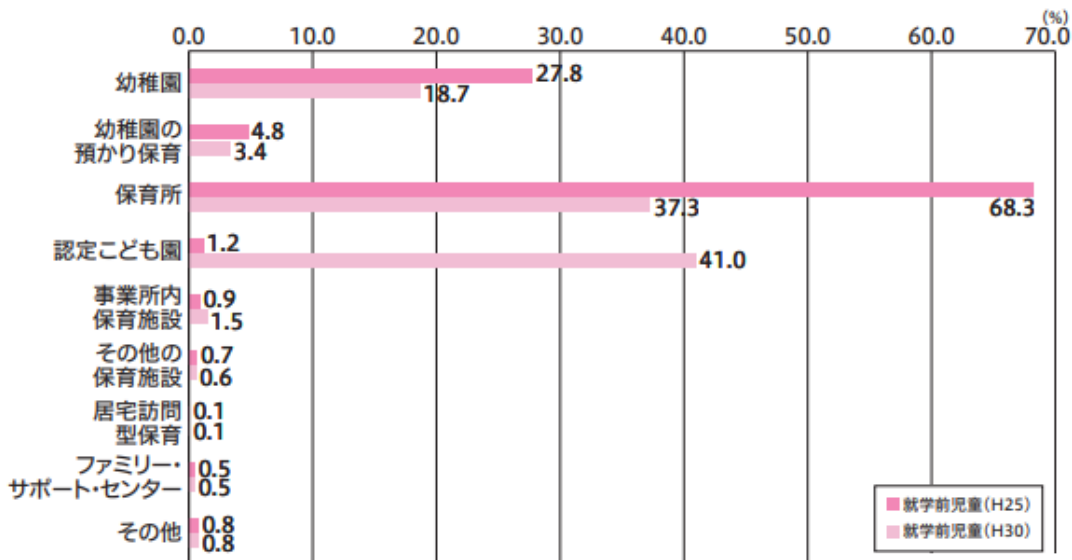


出典：金沢市子育て支援課
※金沢市衛生年報を基に作成

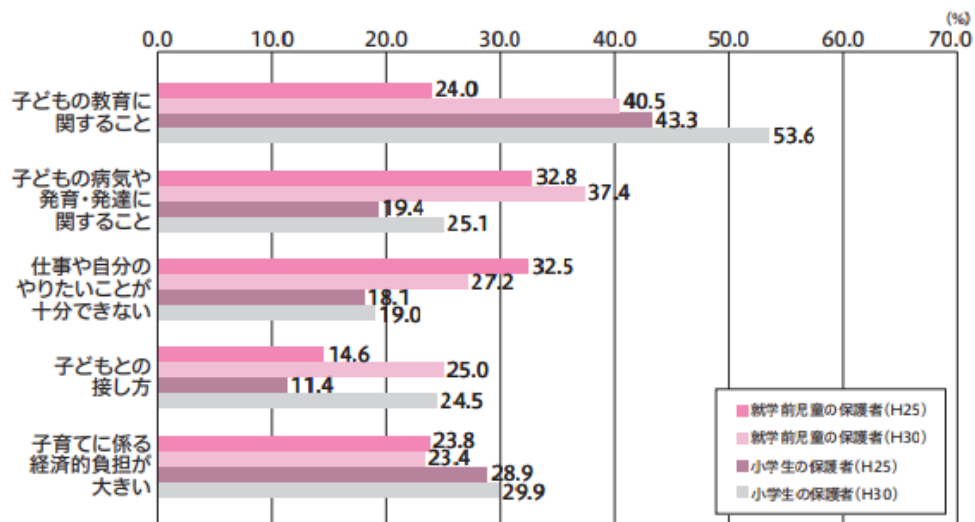
4 (1) 子ども・子育て支援

- 保育所及び認定こども園を合わせた利用割合は増加しており、保育の需要が高まっている。
- 子どもの教育や、子どもとの接し方に関する悩みが増加している。

【定期的な保育所・幼稚園等の利用状況（複数回答）】



【子どもについての悩み（複数回答、上位5項目）】



出典：かなざわ子育て夢プラン2020

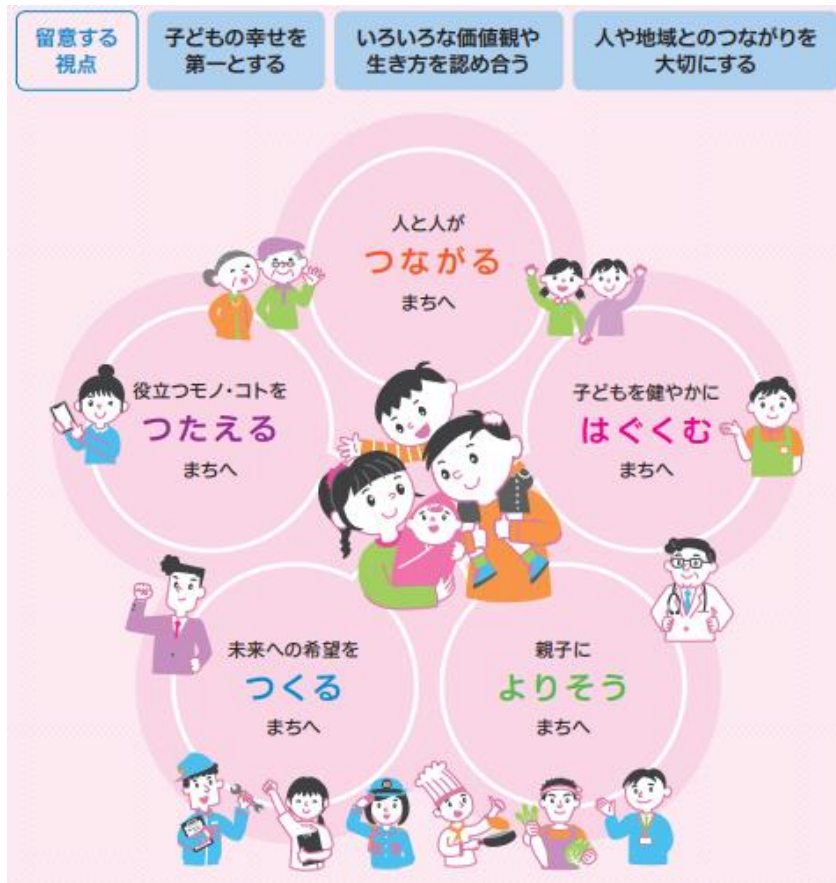
子ども・子育て支援

■ かなざわ子育て夢プラン2020 (2020.3策定)

未来を担う子どもの健やかな育ちと子育て家庭を支える施策を積極的に展開し、市民一人ひとりが未来の金沢を創る子どもたちのために役割を持ち、子どもを安心して産み育てられる環境づくりを推進。

基本理念

みんなでつながり 支え合う 子育ての喜びを分かち合うまち金沢



1 人と人がつながるまちへ ・親同士がつながる ・地域コミュニティの中で人とつながる ・子育て支援者となつがる	(1) 地域の子育て支援機能の整備・充実 (2) 子育てに対する意識の醸成 (3) 親子のふれあいを通した家庭教育の推進 (4) 金沢の特色を活かした子育て支援
2 子どもを健やかにはぐくむまちへ ・充実した幼児教育・保育で子どもをはぐくむ ・親と子を健康にはぐくむ	(1) 幼児教育・保育の充実 (2) 保育施設や児童クラブの整備 (3) 保育士等人材の確保 (4) 緊急時の一時的な子育て支援 (5) 妊娠・出産・育児の切れ目ない支援の充実と地域づくりの推進 (6) 小児医療体制の充実
3 親子にやりそうまちへ ・子どもの成長によりそう ・育児の負担や不安によりそう ・特に配慮を必要とする子どもと家庭によりそう	(1) 育児負担・不安の解消 (2) 子どもの貧困対策の推進及びひとり親等への支援の充実 (3) 発達上の心配や障害のある子どもたち、特に配慮を必要とする家庭への支援 (4) 児童虐待防止対策の強化 (5) 子どもを持ちたい家族への支援 (6) 経済的支援の充実 (7) 外国人住民の子育て支援
4 未来への希望をつくるまちへ ・子育てと仕事が両立できる就労環境をつくる ・次世代の親となる人をつくる ・子育て支援のための人材をつくる ・安心して子育てができるまちをつくる	(1) ワーク・ライフ・バランスの促進 (2) 親の就労支援・リカレント教育(社会人の学びなおし)の推進 (3) 働きやすい職場づくりへの支援 (4) 子どもの安全確保 (5) 結婚・出産の希望が実現できる環境づくり (6) 子育てに関する人材育成 (7) 未来の親となる青少年の育成 (8) 思春期の子どもの健やかな成長への支援 (9) 子育てにやさしいまちづくり
5 役立つモノ・コトをつたえるまちへ ・それぞれの人に必要な情報[モノ]を必要とぎにつたえる ・子育ての喜び[コト]を広くつたえる	(1) 情報やサービスが行き渡る体制の構築 (2) 子育てにおける市民の主体的な活動の促進 (3) 子育ての喜びや素晴らしさを伝える広報活動の充実

幼児教育・保育の推進

■ かなざわ幼児教育みちしるべ (2021.3策定)

金沢市の幼児教育の方向性や、乳幼児期の子どもが成長していく中で、大切にしたい視点について表し、幼児教育施設と保護者・学校・地域がつながり、共通の視点で、子どもを理解し、社会全体で子どもたちを育てていくためのツールとして活用する。



かなざわ幼児教育みちしるべとは

これまで行政や各施設が取組んできた独自性や先進性をさらに発展、充実させ、子どもを中心とした考えのもと、子どもたちの育ちを捉えた本市の幼児教育の方向性について表したものです。

各施設は「金沢市の幼児教育・保育の視点」と「各施設における教育・保育理念」を土台として、乳幼児期にふさわしい生活の展開を意識し、遊びを通じた総合的な教育の実践を積み重ねていきます。

また、家庭とともに、子どもたちの情緒が安定するよう配慮し、健康な心と体を育みながら、「伸びゆく力」を下支えし、成長を後押ししていきます。

この「みちしるべ」を利用することで、家庭や地域と幼児教育について相互理解を深めることや育ちの連続性を大切にした学校との円滑な接続にも繋がります。



各施設における教育・保育理念

金沢市の幼児教育・保育の視点

- ・ 子ども一人一人の主体性や個性を大切にする
- ・ 多様性を認め、様々な体験の中から学ぶことを大切にする
- ・ 家庭（保護者）とともに子どもの育ちを支援する
- ・ 地域とともに育む

伸びゆく力とは

幼児教育・保育施設における乳幼児期にふさわしい生活の展開を意識し、遊びを通じた総合的な教育の実践を行う中で育まれる資質や能力で、指針や要領の中で記述されている「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の資質・能力を基軸にし、3つの力に再構成したものです。

これを用いて、施設や家庭、学校及び地域が子どもの育ちについて共通理解を図っていきます。

この「伸びゆく力」は、子どもたち一人一人に備わっている潜在的な力であり、到達点ではなく、あくまでもプロセスとして表したものです。

【自分に関する力】

安心、安定した環境の中で認められ、自分自身を大切に思えること。

時には、葛藤したり気持ちに折り合いをつけたりしながら、自信を持って積極的かつ粘り強く物事や人と向き合うこと。



【人と関わる力】

様々な人と関わり、自分を発揮・表現する中で、他者を認め、伝え合ったり、力を合わせたりしながらともに生活を作り、自らの考えを広げること。



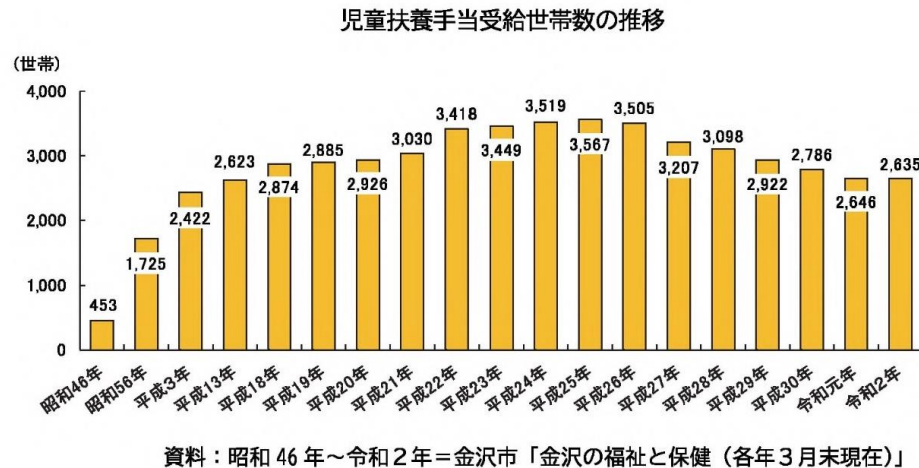
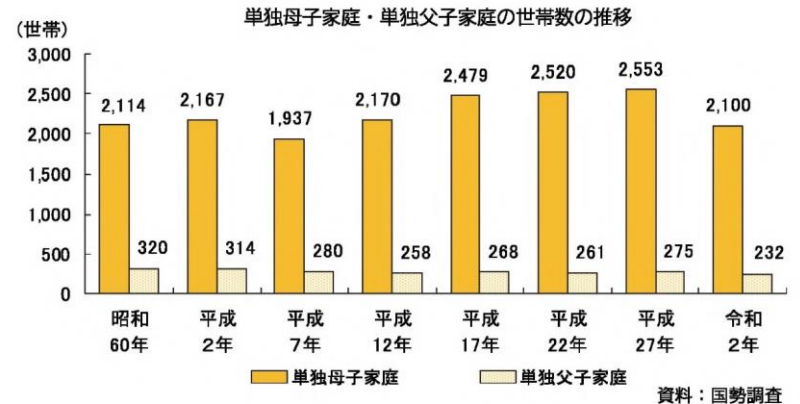
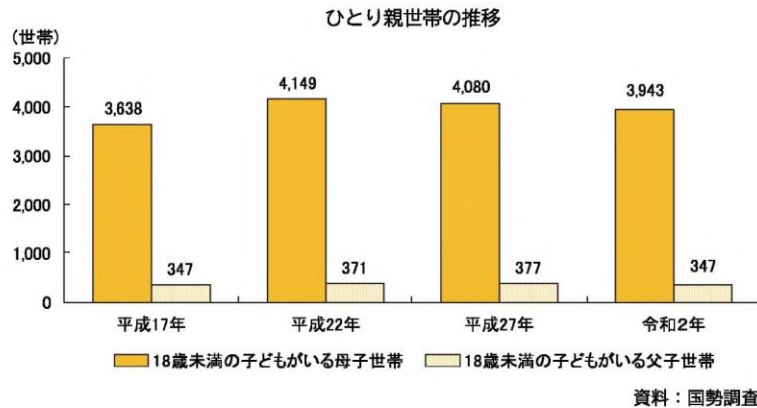
【学ぼうとする力】

直接的・具体的な体験の中で、様々な気付きや発見に心を動かし、自らの考えを働かせながら、活動の中で試行錯誤を繰り返す、身の回りの事象を捉え、意味を見いだし、さらに関わろうとすること。



4 (2) 子どもの貧困対策・ひとり親家庭等支援

- 18歳未満の子どもがいる母子世帯及び18歳未満の子どもがいる父子世帯の推移を見ると、それぞれほぼ横ばいである。
- 単独母子家庭の世帯数は、平成7年以降増加しているが、令和2年で減少に転じている。一方、単独父子家庭の世帯数は、減少傾向にある。
- 児童扶養手当受給世帯数は、平成25年以降、減少傾向にある。



子どもの貧困対策・ひとり親家庭等支援

■ 金沢市子ども生活応援プラン（2022.3策定）

生活に困難を抱える家庭やひとり親家庭が安心して暮らし、子どもたちが未来に向かって夢や希望を持ち健やかに育つよう、子どもの貧困対策を総合的に推進。

〔基本理念〕

「すべての親と子が安心して暮らし、子どもたちが夢や希望を持てるまち金沢」

〔基本方針〕

I
子どもの多様性を認め
地域や社会全体で
見守り支える体制づくり

II
経済的困窮の
世代間連鎖の防止

III
将来に明るい展望を持ち
成長できる環境づくり

IV
ひとり親家庭に対する
総合的な支援体制の推進

〔施策の方向性〕

方向性①
すべての子どもの健やかな
育ちを支える生活支援

方向性②
すべての子どもが能力や可能性を
伸ばすことができる教育支援

方向性③
生活基盤の安定と向上を図るための
保護者への支援

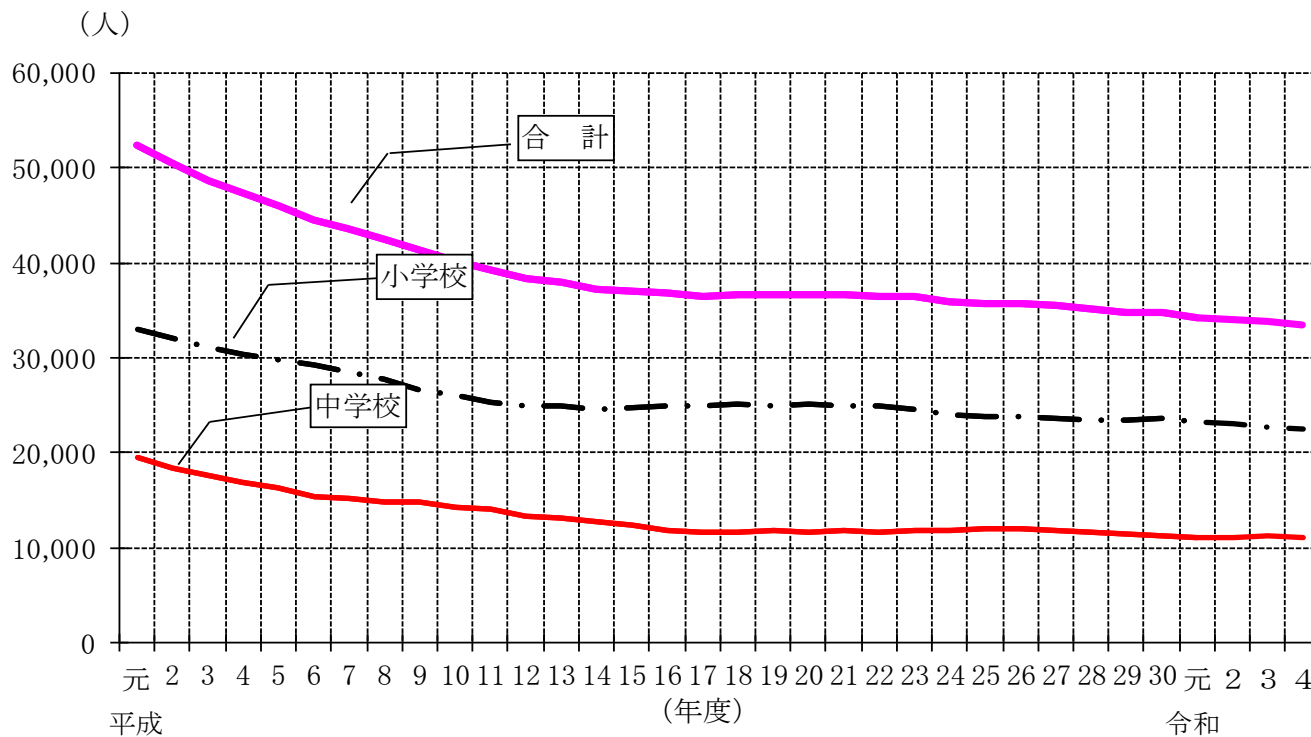
方向性④
地域から切れ目なくつながる
重層的な支援体制の推進

方向性⑤
施策・制度の周知及び
子どもの貧困に関する意識啓発



4 (3) 学校教育

■ 児童生徒数は減少傾向にあり、現在は小中学校合わせて約33,500人となっている。



年度	(平成) 25	26	27	28	29	30	(令和) 元	2	3	4
小学校	23,802	23,734	23,677	23,487	23,354	23,540	23,292	23,007	22,582	22,396
中学校	11,937	11,904	11,744	11,622	11,451	11,141	10,994	11,047	11,232	11,129
計	35,739	35,638	35,421	35,109	34,805	34,681	34,286	34,054	33,814	33,525

(各年度5月1日現在)

出典：金沢市教育総務課

4 (3) 学校教育

■ **全国学力・学習状況調査**（全国学力テスト）では、石川県は都道府県別の平均正答率で全6教科中、**4教科で1位、2教科で2位**となった。

小学6年生						中学3年生					
国語		算数		理科		国語		数学		理科	
秋田	71	石川	69	秋田	71	石川、秋田	73	石川	58	石川	55
石川	70	東京、福井	67	石川	70	福井	72	福井	56	福井	53
東京、福井	69	富山、秋田、高知	66	福井	69	徳島	71	富山、徳島、香川	55	富山、秋田など	52
全国	65.6	全国	63.2	全国	63.3	全国	69.0	全国	51.4	全国	49.3

(公立のみ)

出典：国立教育政策研究所 令和4年度 全国学力・学習状況調査 調査結果より作成

特色のある教育の推進

■ 金沢市学校教育振興基本計画（2021.3改定）

歴史や伝統、文化などまちの個性や自然、風土を背景に培われた独自で創造性ある教育を重視し、地域や社会、国家の発展を担い、未来を託す子供たちの育成等に努める。

■ 金沢型学校教育モデル

児童生徒が「何を学ぶか」という内容として「金沢型学習プログラム」、「どのように学ぶか」という方法として「金沢型学習スタイル」、それらを支える学びの土台として「金沢型小中一貫教育」の3つの要素でモデルを構築。



金沢子どもかがやさし宣言

一 すすんで学び、考えます
 二 きまりや約束を守ります
 三 すすんであいさつをします
 四 笑顔を大切にします
 五 思いやりの心を大切にします
 六 ありがとうの気持ちを伝えます
 七 毎日元気にすごします
 八 夢に向かって挑戦します

わたしたちは、
 ふるさと金沢を愛し、誇りを持ち、
 未来に向かってかがやくように行動します

金沢型「GIGAスクール構想」

ICT版金沢型学習スタイル

ICTの活用場面がさらに増える中、学校現場へのサポート体制を強化するとともに、ICTを活用した指導方法や学習方法の基本を示した「ICT版金沢型学習スタイル」の着実な実践を目指し、各校での実践例を集めた実践事例集「金沢版StuDX Style」を作成。

情報教育研修等の充実

校内研修の充実により、ICTの効果的な利用を推進するとともに、セキュリティについての指導や児童生徒の発達段階に応じた情報モラル教育を実践。



授業支援ソフトウェア「ミライシード」を利用

株式会社ベネッセコーポレーション

(様式2)

子どもと子どもがつながる

金沢市立明成小学校

学年	小学校3年
活用の概要	<p>オクリンク上で、形を変えると重さが変わる物質の否かをグループ分けし、考えを共有した。全体発表の場で言葉で説明したり、違う考えの人を探したりして、調べることを確かめた。その後、実験の結果を写真で記録し、考えを共有・追究した。最後に、他の班との結果を比べて、考察をまとめた。</p> <p>① 重さが変わる物質と変わらない物質を予想する。 ② 違う考えの人を探し出し、確かめることを見出す。 ③ 実験し、結果を写真で記録する。 ④ 写真を見直しながら、ペアで分かったことを確かめる。 ⑤ 他の班の結果を共有し、考察をしてまとめる。</p>
記録する物	オクリンク

学習課題に対して、予想を言葉化する。友達と見比べる。

共通点で、似ていること、相違点を話し合う。実験でたしかめることを見出す。

実験する1つの物質を選び、物の形を変える前の重さと、形を変えた後の重さを記録する。他のグループの結果を比べることで、学びの共通理解を図る。また、自己の発容や予想の正誤を自覚化する。

家庭教育の推進

「家庭で子どもを育むための8つのすすめ」及び「金沢市家庭教育推進プログラム」

金沢市学校教育振興基本計画に掲げる「めざすべき金沢の子ども像」をもとに、子どもたちの考え方や行動の基本的な約束事となる「金沢子どもかがやき宣言」を制作し、この宣言に対応し、家庭で意識してほしいことをまとめた。8つのすすめの浸透を図るとともに、気付きを促し、その実践を支援するための事業を推進。

1 持ち続けよう

子どもとともに 学ぶ姿勢

子どもががんばったことは大いにほめて、お手伝いや学習、読書などに自ら取り組む意欲を伸ばすとともに、大人も「気づき」や「学び」を得る機会を持ちましょう。

2 きちんと守ろう

社会のルール 大人が手本

「子は親を映す鏡」、大人の行動を見ています。自らの行いを通じて、礼儀やマナー、言葉づかいを教え、良くないことはきちんと叱って善悪の判断ができるようにしましょう。

3 声かけよう

笑顔であいさつ 朝一番

自分からあいさつすることで会話が生まれ、家族の絆が強くなるとともに、地域の輪も広がります。笑顔のあいさつに心がけましょう。

4 創ろう

あたたかい家族のふれあい

子どもに笑顔で接し、心によりそい共感すると、子どもは安心感を持ち、前向きに考えることができます。家族のふれあいや会話を大切にしましょう。

5 大切にしよう

思いやりの心 すべての命

子どもが受けた思いやりは、子ども自身の思いやりの心、ゆずりあいの心につながります。自分や他者の生命の尊さを伝えましょう。

6 伝えよう

心のこもった 「ありがとう」

「ありがとう」と言われたうれしさは、人やものに感謝する心を育みます。日頃から、子どもに感謝の言葉を伝えましょう。

7 育もう 子どもの健康

「早寝 早起き 朝ごはん」

規則正しい生活リズムと食習慣は、一日のやる気と元気の源です。基本的な生活習慣と外遊びや運動で、たくましい心と体を育みましょう。

8 支えよう

子どもの夢と可能性

家族は子どもの一番の応援団です。いろいろな体験を通してチャレンジ精神やあきらめない心を育み、夢に挑戦する姿勢を温かく見守りましょう。

金沢市家庭教育推進プログラム

乳幼児期からの切れ目のない家庭教育支援
発達段階に応じて必要な情報提供を行い、不安感を解消する取組

多忙な保護者への効果的なアプローチ
保護者への効果的な情報提供と、企業の家庭教育支援の参画

家庭でのデジタル機器の適正な使い方
デジタル機器の使用に関する保護者の不安の解消

課題

- 1 学ぶ** 学習機会の効果的な提供
- 2 広がる** 家庭教育に関する情報提供の充実
- 3 つながる** 地域・家庭・学校等の連携による支援

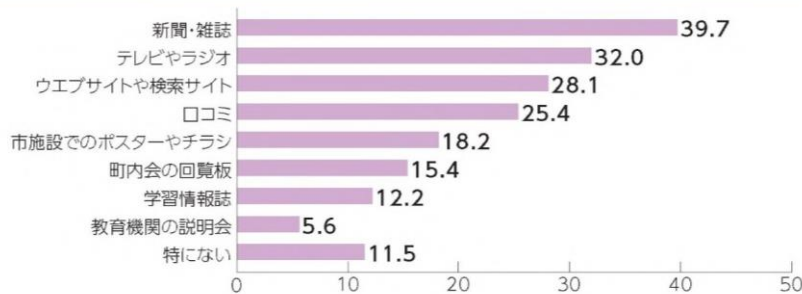
方策

4 (4) 生涯学習

- 情報収集の方法については「メディアやウェブ」が多いが、「口コミ」や「掲示物（ポスター、チラシ）」との回答もあり、多種多様な方法で情報や学習機会の提供を行っていく必要がある。
- 地域活動に対しては、約80%が「参加してみたい」と回答している。それらの方を積極的な情報提供や働きかけによって、それぞれが関心をもつ分野での地域活動につなぐ工夫や取り組みが必要となる。

1. 今後の情報収集の方法

*数値の単位は%



2. 地域・社会活動に参加したいか

*数値の単位は%

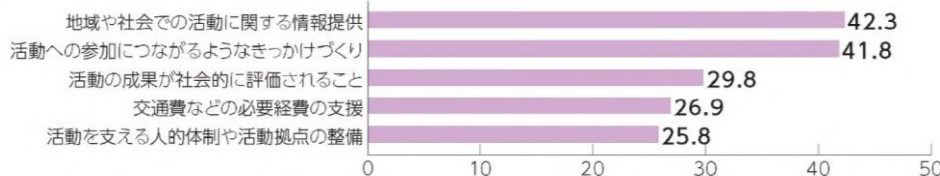
参加したい **79.9%** 参加したいとは思わない **16.7%**

▶どのような活動に参加してみたいか



3. 多くの人が地域や社会の活動に参加するためにはどのようなことが必要か

*数値の単位は%



出典：金沢市生涯学習振興基本計画

平成30年度「生涯学習に関する世論調査」(平成30年8月内閣府)

生涯学習の振興

■ 金沢市生涯学習振興基本計画

(2021.3改定)

教育を取り巻く状況の変化を踏まえつつ、計画期間後半（令和3年度～令和7年度）における本市生涯学習の一層の振興を図るため、3つの新たな視点「人生100年時代の到来を踏まえた、生涯にわたり学び続け、活躍できる環境づくり」「多様な主体の学びの促進」「人づくり・つながりづくり・地域づくりの推進」を踏まえ、現計画を改定。

ともに学び ともに拓く 創造性あふれる 金沢のひと・まちづくり



めざす学びの姿 1
社会の変化に対応し、新たな自己を開拓することができる学び

めざす学びの姿 2
健康で生きがいのある暮らしのために楽しみながら取り組むことのできる学び

めざす学びの姿 3
ふるさとを愛し、人を思いやる豊かな心を持つことのできる学び

めざす学びの姿 4
仲間とともに手をつなぎ、課題を共有し、解決することのできる学び

めざす学びの姿 5
金沢の伝統・文化を活かした個性あるまちを創ることのできる学び

基本理念
ともに学び ともに拓く
創造性あふれる
金沢のひと・まちづくり

実現するために

基本的方向性 1
すべてのライフステージにわたる多様な学習ニーズへの対応に取り組みます

基本的方向性 2
青少年の育成のために家庭・地域教育力の向上に取り組みます

基本的方向性 3
市民参画と協働を推進するために学習の場の創出に取り組みます

基本的方向性 4
学習の拠点整備・情報システムの活用など、生涯学習環境の充実に取り組みます

基本的方向性 5
金沢らしい個性ある学習文化都市づくりに取り組みます

4 (5) 学生・若者

- 人口10万人当たりの高等教育機関数は全国1位、人口1,000人当たりの学生数は全国3位であり、学生や高等教育機関が集積している。

石川県の高等教育機関数と学生数（2022年）

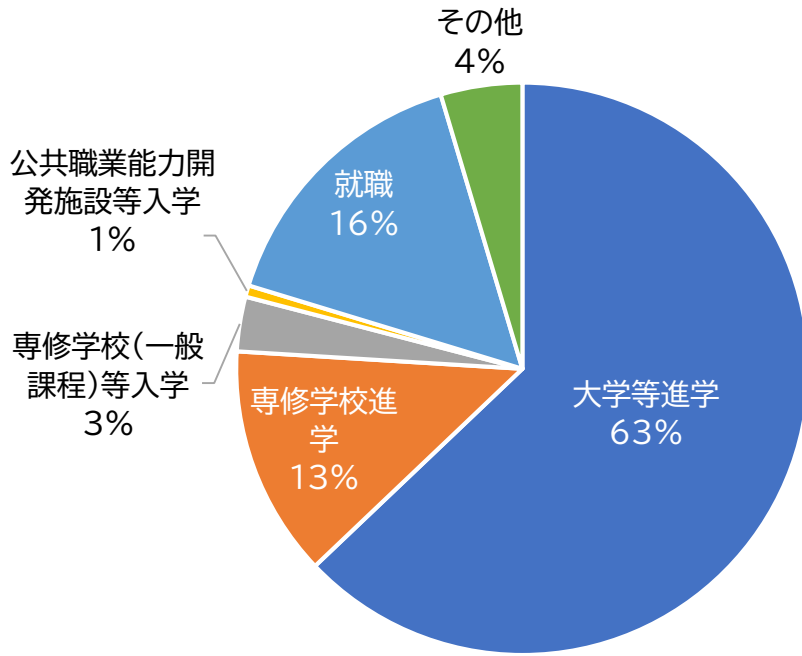
高等教育機関数	20	
都道府県別人口10万人あたりの高等教育機関数	1.8	全国1位
学生数	34,738人	
都道府県別人口1,000人あたりの学生数	30.9	全国3位

出典：文部科学省「学校基本調査」、総務省「人口推計」より

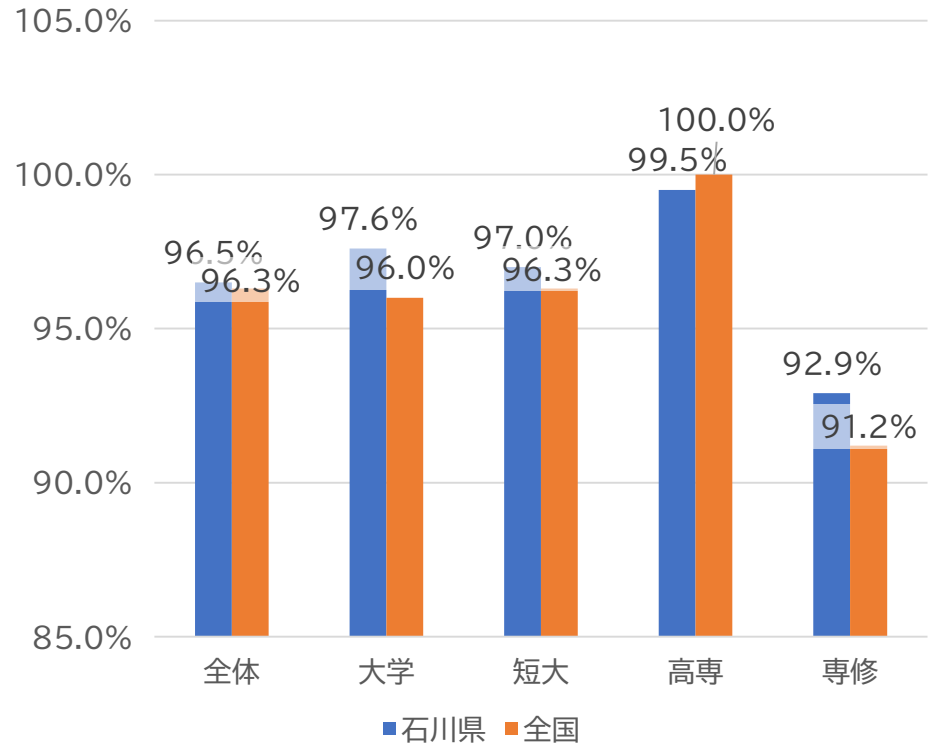
4 (5) 学生・若者

- 高校卒業後は 8 割程度が専門学校や大学などへ進学している。
- 大学等の卒業者の就職率は全国と比べてやや高い状況にある。

高校卒業後の進路



大学等卒業者の就職率



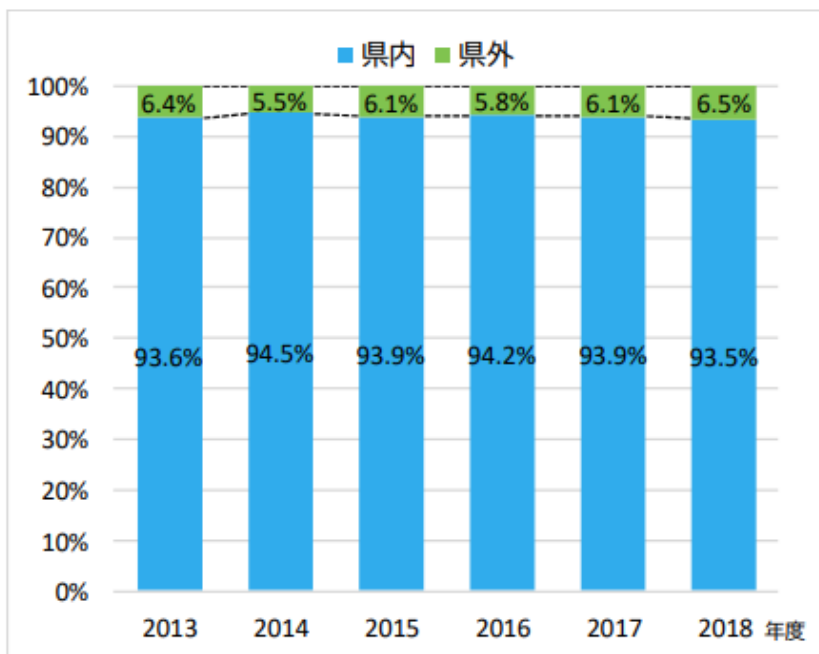
出典：金沢市統計書令和2年度版
<卒業後の状況「高等学校」>より作成

出典：厚生労働省
令和3年3月大学等卒業者の就職状況より作成

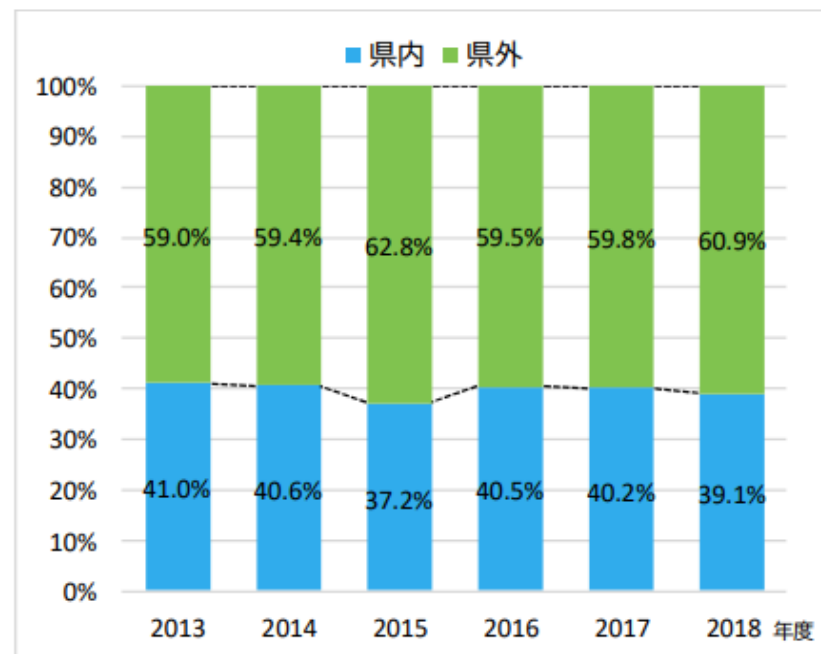
4 (5) 学生・若者

■ 県内の高校及び大学の卒業生の卒業後の就職先をみると、**高校生は9割以上が県内に就職**しているのに対し、**大学生の県内就職率は4割程度**となっている。また、大学生の県内就職率は微減傾向となっている。

【高校生の就職先】



【大学生の就職先】



出典：金沢市人口ビジョン【改訂版】

学生のまち・金沢の推進

■ 金沢市における学生のまちの推進に関する条例（2010.4施行）

地域社会が可能性豊かな学生を育み、学生と市民との相互の交流や学生と金沢のまちとの関係を深めながら、学生のまちとしての個性と魅力をさらに磨き高めていく。

■ 金沢学生のまち市民交流館の開設（2012.9開設）

学生と市民との交流、情報交換等を通じて協働による市政を推進。



■ 金沢まちづくり学生会議

学生らしい、枠にとらわれない柔軟な発想力と行動力で、まちの活性化に取り組む

■ 学生等による雪かきボランティア

高齢化などの課題を抱えるまちなか地域の雪かきの支援を通じて、地域参加の促進や地域コミュニティの活性化を図る



金沢まちづくり学生会議

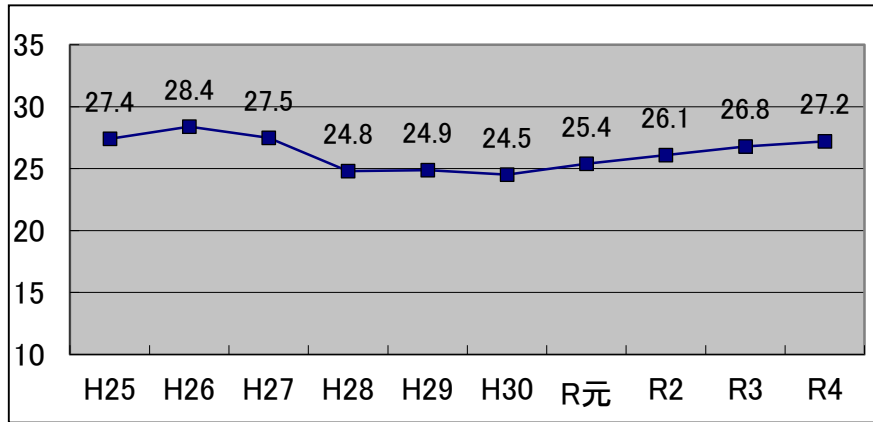


学生による雪かきボランティアの様子

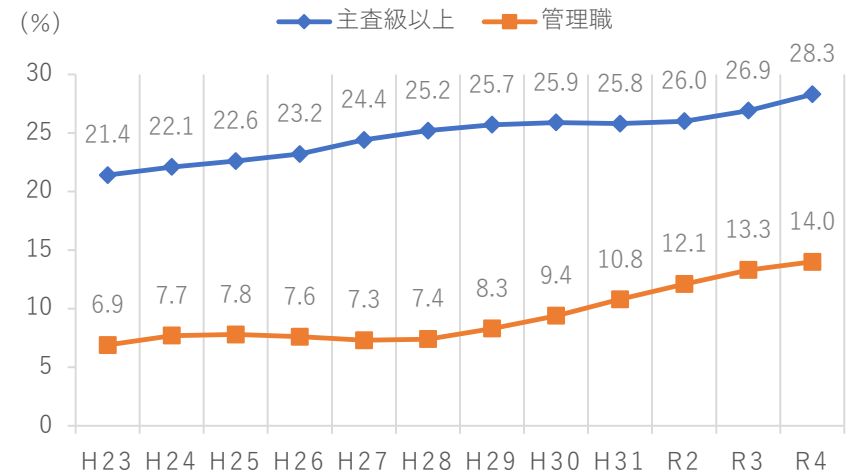
4 (6) 男女共同参画

- 金沢市の審議会委員に占める女性の割合は25～27%で推移。
- 市役所の主査以上及び管理職の女性の割合は上昇。
- 女性相談支援室の女性相談件数はほぼ横ばいで推移、R2は新型コロナの影響で増加。

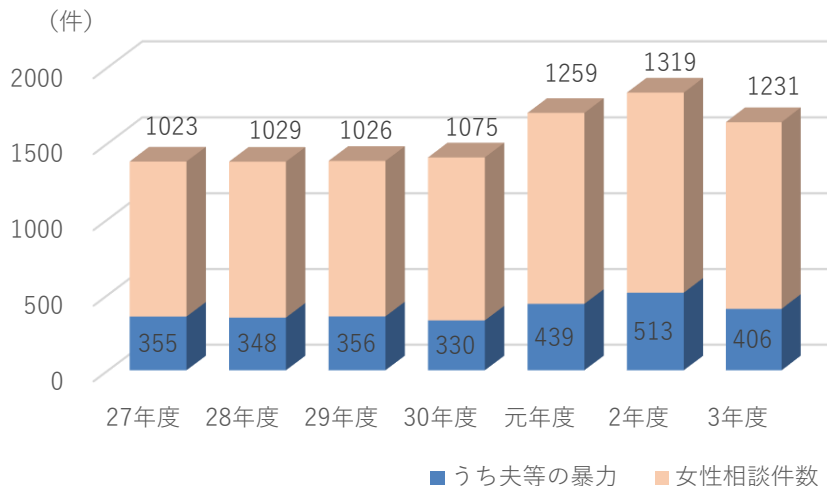
図表 審議会委員における女性の割合（金沢市）



図表 金沢市役所の主査以上・管理職の女性の割合



図表 金沢市女性相談支援室 女性相談件数の推移



出典：
 金沢市市民協働推進課（左上）
 金沢市特定事業主行動計画（右上）
 金沢市女性相談支援室（左下）

男女共同参画の推進

■ 金沢市男女共同参画推進条例（2001.12）

■ かなざわ未来 奏(かな)でプラン2023（2023.3策定予定）

性別にかかわらず、誰もが自分らしく多様な生き方を選択できる社会を実現するため、市民、NPO、企業、地域社会と協働し、地域特性を踏まえた実効性ある施策を推進するための行動計画。（男女共同参画基本法に基づく市町村計画）

めざす男女共同参画社会

多様な生き方が選択できる 誰もがいきいきと輝ける社会へ

【基本的視点】

- ◆ 人権の尊重
- ◆ ジェンダー平等の推進
- ◆ 女性のエンパワーメントの促進

【基本目標】

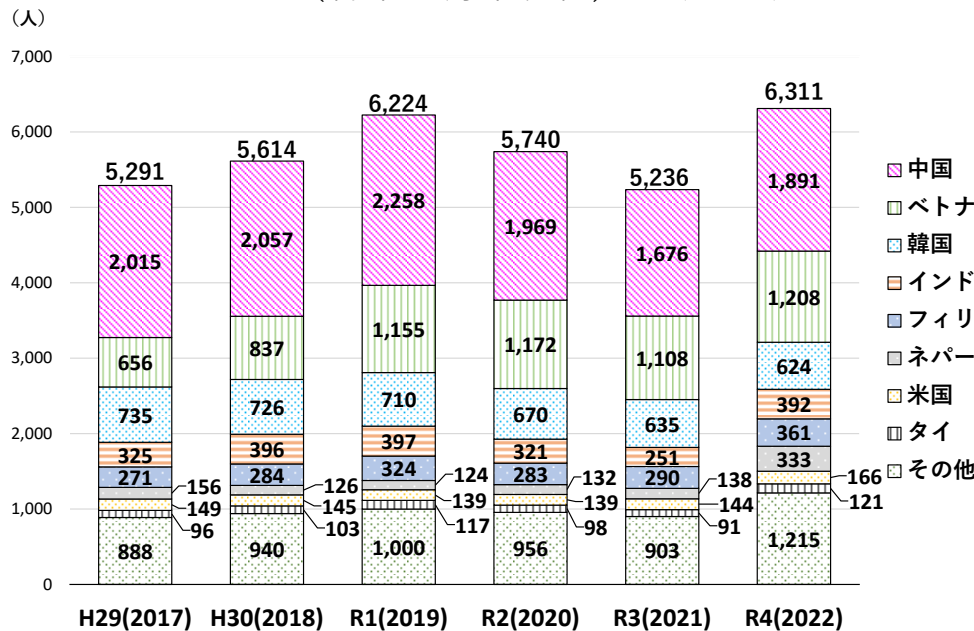
- 基本目標Ⅰ あらゆる分野における女性の参画の拡大
- 基本目標Ⅱ 安全・安心な暮らしの実現
- 基本目標Ⅲ 男女共同参画社会の実現に向けた意識改革と体制の充実



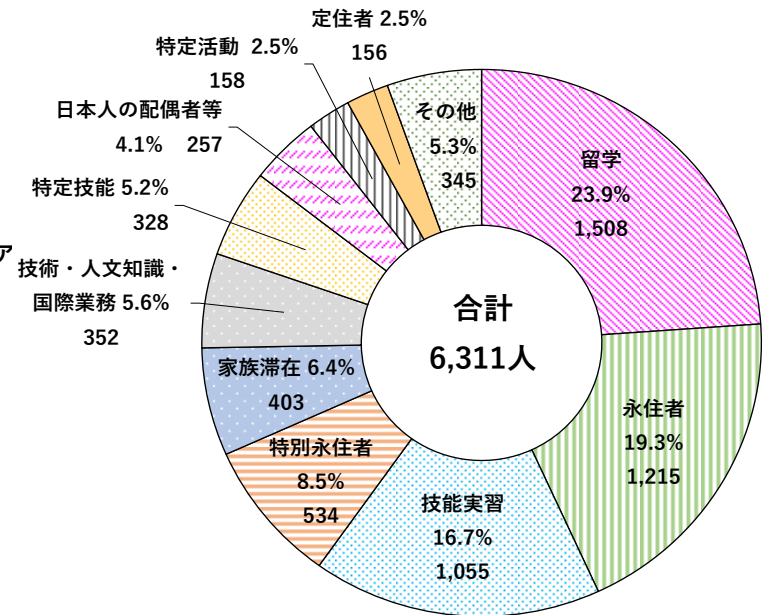
4 (7) 国際交流

- 増加傾向にあった外国人の住民数は、令和2年以降、減少傾向に転じたものの、令和4年再び増加に転じ、令和元年を上回っている。
- 在留資格別人数を見ると、全体の約4割が、留学または技能実習である。

本市の外国人住民数の推移
(各年12月末現在) (単位：人)



本市の外国人住民の在留資格別割合
(令和4年12月末現在) (単位：人)



出典：金沢市住民基本台帳

多文化共生社会の推進

■ 金沢市国際交流ミライアクション（2023.3策定）

ポストコロナ社会を見据え、金沢SDGsを踏まえた地域の国際化に向けた新たな行動計画。

基本理念（本計画がめざす地域の姿）

金沢の特性を生かした 多彩な市民交流が行われ、
日本人・外国人住民がお互いを理解し合い、地域において生き生きと暮らし、
多様な人材により、国際化に対応した持続可能な社会が創造されているまち

＜基本方針Ⅰ＞ 金沢の文化やネットワークを生かした国際交流

（施策の方向性）

1. 姉妹・友好交流都市等の海外ネットワークとの交流の強化
2. 市民レベルの交流の促進
3. デジタル技術を活用した交流や魅力発信



右：日仏自治体交流会議
左：金沢創作アンバサダー

＜基本方針Ⅱ＞ 日本人・外国人住民双方が暮らしやすい地域づくり

（施策の方向性）

1. 外国人住民の居住環境整備
2. 多文化共生の推進



右：金沢救急アプリの活用
左：日本語・学習支援教室

＜基本方針Ⅲ＞ 地域の国際化を担う人づくり

（施策の方向性）

1. 国際理解の推進
2. グローバル人材の育成



右：かなざわフェアトレードフェスタ
左：かなざわ国際交流まつり

5. 「仕事づくり」の本市の状況

(新事業創出、産業振興など)

5 (1) 新産業の創出

■ 金沢市新産業成長ビジョン (2023.3策定)

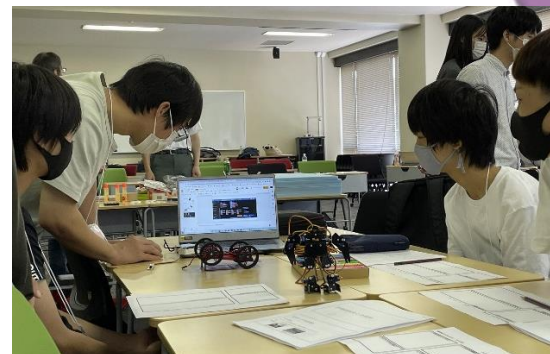
社会経済情勢の変化や日々、技術革新が進む最先端技術、地域経済における社会課題を踏まえ、世界に誇る文化をはじめとした金沢の個性を生かし、高い付加価値を生み出す新産業の成長・発展に向けて、本物の価値を高め、創造・変革していくまちをめざし、産学官金の連携のもと新産業成長ビジョンの様々な施策推進に取り組む。

めざす姿

本物の価値を高め、創造・変革していくまち 金沢



中小企業を対象としたデジタル技術に関する相談窓口



若年層を対象に情報活用能力を育成する「金沢IT部活」



バーチャル空間を活用した金沢駅鼓門プロジェクションマッピング



KOGEI Art Fair Kanazawa 2022

産業の創出と未来で活躍する人材の輩出

「金沢未来のまち創造館」 (2021.8開館)

「スタートアップ・新ビジネス創出」、「子供の独創力育成」、「食の価値創造」を3つの柱に事業活動を展開し、新たな産業の創出と未来で活躍する人材の輩出を図る。



スタートアップ・新ビジネス創出

最先端技術を活用した新たなビジネスを展開する方や食・工芸に付加価値を生み出す方を支援し、世に新たな価値を発信できるスタートアップや新ビジネスを創出



子供の独創力育成

子供の個々の興味を引き出しながら、独創的なアイデアを育むとともに、そのアイデアを主体的に形にするための活動をサポートし、未来で活躍する人材を育成



食の価値創造

職人の技術伝承や新たな調理法の開発などにより、食の持つ可能性を探求するとともに、フードテックの普及啓発や食品ロスの削減を推進し、本市の食に新たな価値を創造

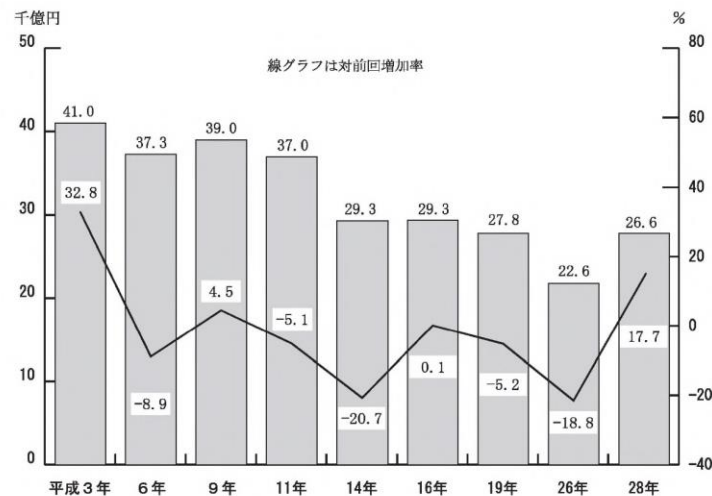


5 (2) 商工業振興

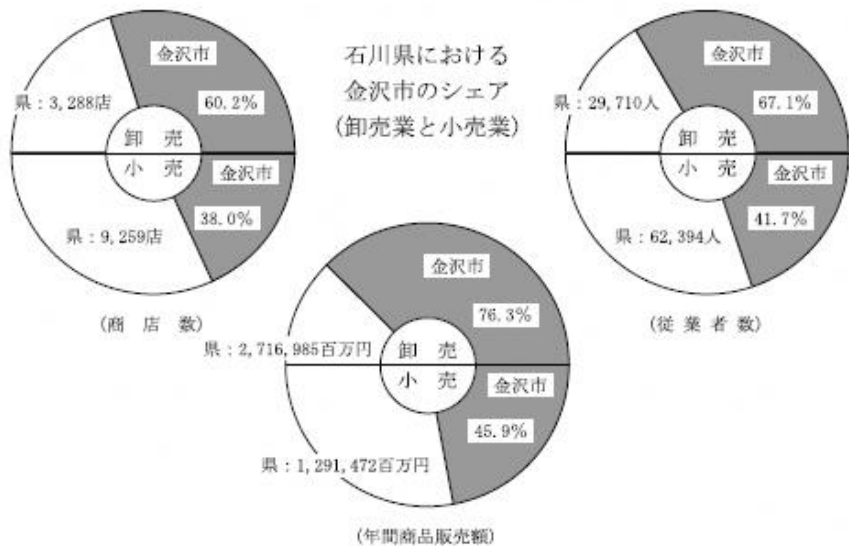
■ 商店数、販売額、従業員数における金沢市の県内シェアは卸売業で7割前後、小売業で4割前後である。

商店数		従業者数		年間商品販売額	
5,502店		45,948人		2,666,298百万円	
卸売業	小売業	卸売業	小売業	卸売業	小売業
1,980店	3,522店	19,938人	26,010人	2,073,154百万円	593,144百万円

年間商品販売額の推移



出典：平成28年商業統計調査



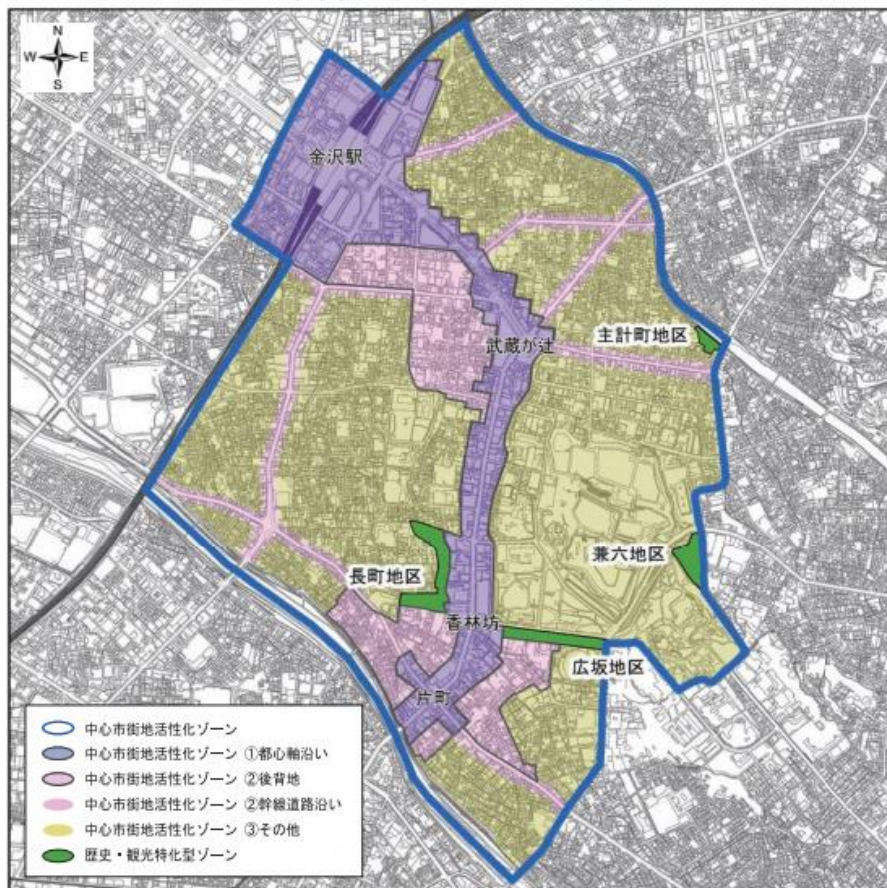
出典：平成28年経済センサス活動調査（上、下）

5 (2) 商工業振興

■ 金沢市商業環境形成指針及び金沢市商業環境形成まちづくり条例 (2020.4改定)

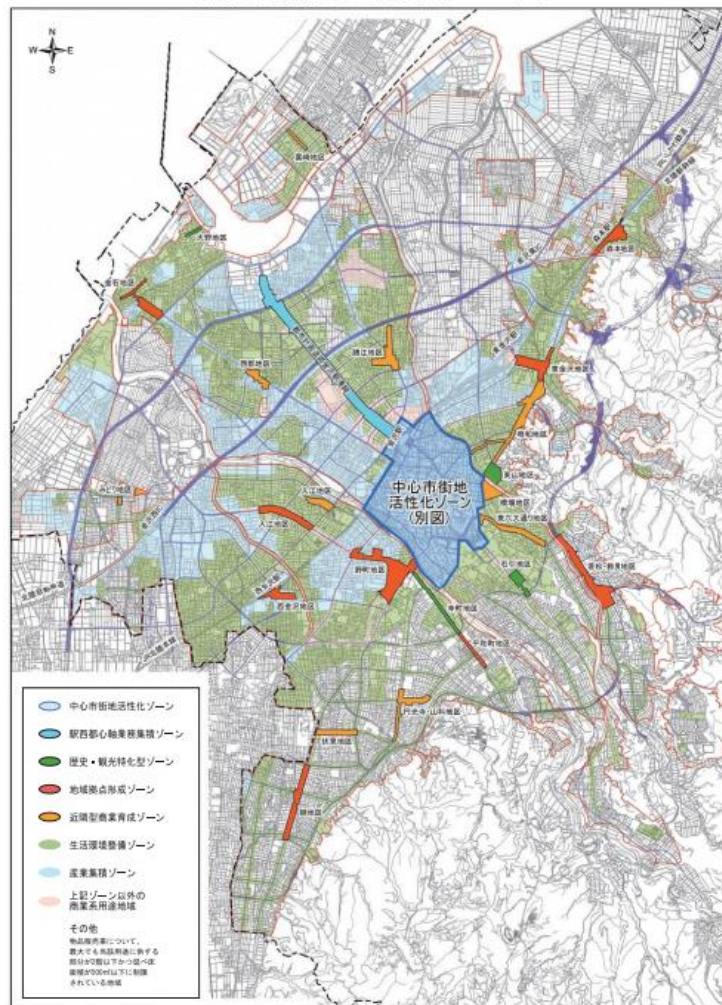
既存の商業集積や地域特性に基づきながら、7種類のゾーニング設定を行い、商業機能の立地誘導を行い、良好な商業環境の形成によるまちづくりを推進し、個性豊かで住みよい都市環境の形成を図っている。

中心市街地活性化ゾーン詳細図



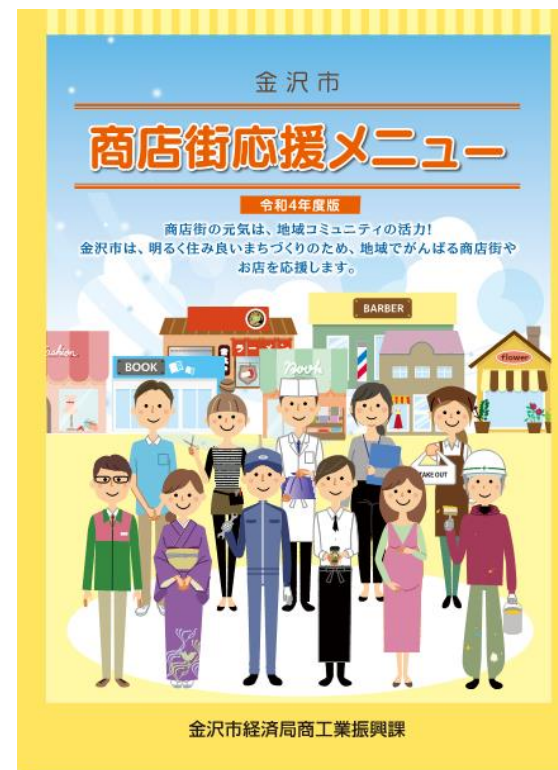
※ 歴史・観光特化型ゾーン（主計町、長町、広坂、兼六地区）は、上記ゾーンに優先される。（濃緑色で表示）

商業環境形成に向けたゾーニング



5 (2) 商工業振興

■ 商店街組織は、まちなかを中心に57団体が存在しており、商店街連盟には、37団体が加盟している。商店街が独自に実施する事業に対し、金沢市は支援を行っている。



組織	商店街数	左のうち、 市商店街連盟加盟数
振興組合	15	14
協同組合	2	2
任意組合	40	21
計	57	37

(R5.3.1現在)

出典：金沢市商工業振興課

ものづくり産業の振興

■ 金沢市ものづくり基本条例（2009.4施行）

■ 金沢市ものづくり戦略2015（2021.3改定）

ものづくりのまちとしての伝統と誇りを継承発展させることにより、本市の健全かつ持続的な発展に寄与する。

＜将来像＞

独創性と多様性に富んだものづくり産業の振興による創造産業都市・金沢の実現
～人・モノ・情報の集積・交流による地域経済の活性化を目指して～

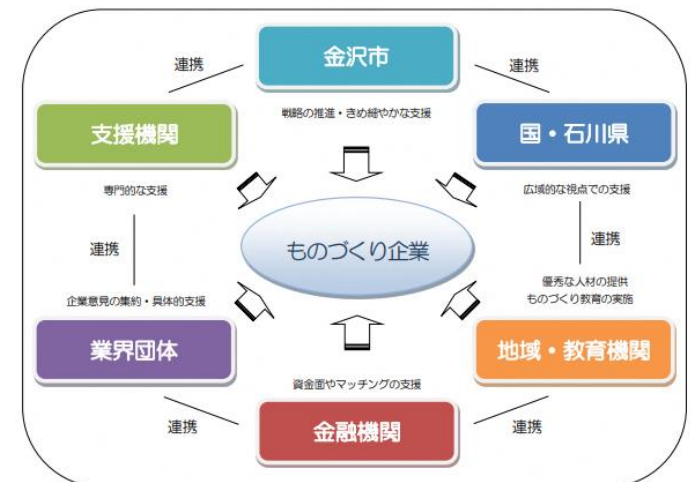
＜基本方針 1＞ 次代を担う産業人材の確保・育成

＜基本方針 2＞ 事業基盤の強化と企業立地の促進

＜基本方針 3＞ 新産業の創出と起業支援の強化

＜基本方針 4＞ 新製品・新技術の開発と
成長分野への展開支援

＜基本方針 5＞ 販路開拓と海外展開支援



ものづくり産業の振興

■ものづくりサポート拠点

中小企業の振興・活性化、異業種交流、人材育成、起業支援、新産業の創出等を支援するための拠点施設を整備・運営。

金沢市異業種研修会館

中小企業の振興・活性化を目的とし、異業種交流や研修等の場として活用されている。高等教育機関の集積を活かした産学連携推進の拠点として「産学連携ものづくり技術交流塾」を開催しているほか、市内ものづくり企業の新製品開発や技術相談の窓口も開設している。



金沢市ものづくり会館

工業集積が進む金沢港周辺の北部地区を中心に、産学連携や異業種連携、近隣で生産されている農業関係の交流・研修の場として活用されるほか、市民の交流の場や防災機能も兼ね備える。



ITビジネスプラザ武蔵

IT、デザイン、映像などの分野でビジネスを始めようとしている起業家、創業間もない事業者向けにハード、ソフトの両面でサポートするインキュベーション機能を担っている。コワーキングの場としても使用できるほか、日々多彩なイベントが開催され、さまざまな人々が集い、いろいろな「出会い」をうみだす交流の場となっている。



金沢未来のまち創造館

最先端技術を活用して新たなビジネスを展開する者や金沢固有の文化である食と工芸(KOGEI)に付加価値を生み出す者を支援するとともに、独創的で卓越した知識及び技能を持つ子どもを育成することにより、新たな産業の創出と未来で活躍する人材の輩出を図ることを目的としている。



新製品開発支援

■ 金沢かがやきブランド認定製品 (2006～)

新製品の開発を促進し、ものづくり産業の振興を図るため、市内中小企業者等が技術力や独創的なアイデア等を活かした新製品で、優秀と認められるものを「金沢かがやきブランド」として認定。平成18年度からこれまでに156製品、うち16製品を「大賞」として認定。

■ 金沢かがやきブランドPR

認定製品を有する企業で構成する「金沢かがやきブランド情報発信チーム」でPR活動を行う。



観光案内所での認定製品の展示



金沢かがやきブランドを巡る旅の開催



認定製品体験会の開催



県外で開催された見本市への出展

5 (3) 伝統工芸品産業の振興

- 金沢の伝統工芸品産業は、藩政期以来400年以上に渡り受け継がれ、市民の生活と文化・経済を支えてきた。
- 2009年には、ユネスコ創造都市ネットワークに世界で初めてクラフト分野で登録されるなど、「手仕事のまち 金沢」を発信している。

創造都市・金沢が目指す将来像

1 文化とビジネスをつなぐまち
(文化のビジネス化)

2 創造の担い手を育てるまち
(人材の育成)

3 世界を引きつけるまち
(世界への発信)

国指定伝統工芸品



金沢箔



加賀友禅



金沢漆器



九谷焼



加賀織



金沢仏壇

伝統工芸品産業の継承・発展

■ 金沢K O G E I アクションプラン (2021.3策定)

工芸が日々の暮らしに息づき、手仕事の技能と知恵を継承・発展させるとともに、心を動かす新しい工芸を創造し、世界を引きつけるまちを目指す。

将来像1 工芸が息づくまち

市民生活の中に格調高い技と美に対する豊かな感性を育んできた歴史的背景を大切に、工芸が暮らしに息づくまちを目指します。

将来像2 工芸を育むまち

工芸に携わる「作り手」「使い手」「つなぎ手」が連携し、工芸を金沢のまち全体で育てる仕組みを作り、工芸を育むまちを目指します。

将来像3 工芸が世界に羽ばたくまち

工芸に関するビジネスが集積し、世界の工芸との交流が生まれ、金沢から世界へと工芸が羽ばたくまちを目指します。

将来像4 工芸を未来に伝えるまち

何世代にも渡り受け継がれてきた技術を継承するとともに革新を加えることで、未来に向けて新しい工芸を創造するまちを目指します。

作り手と使い手を育み、
未来へ継承・発展させる
世界の工芸都市 金沢

■ 金沢市デジタル工芸展

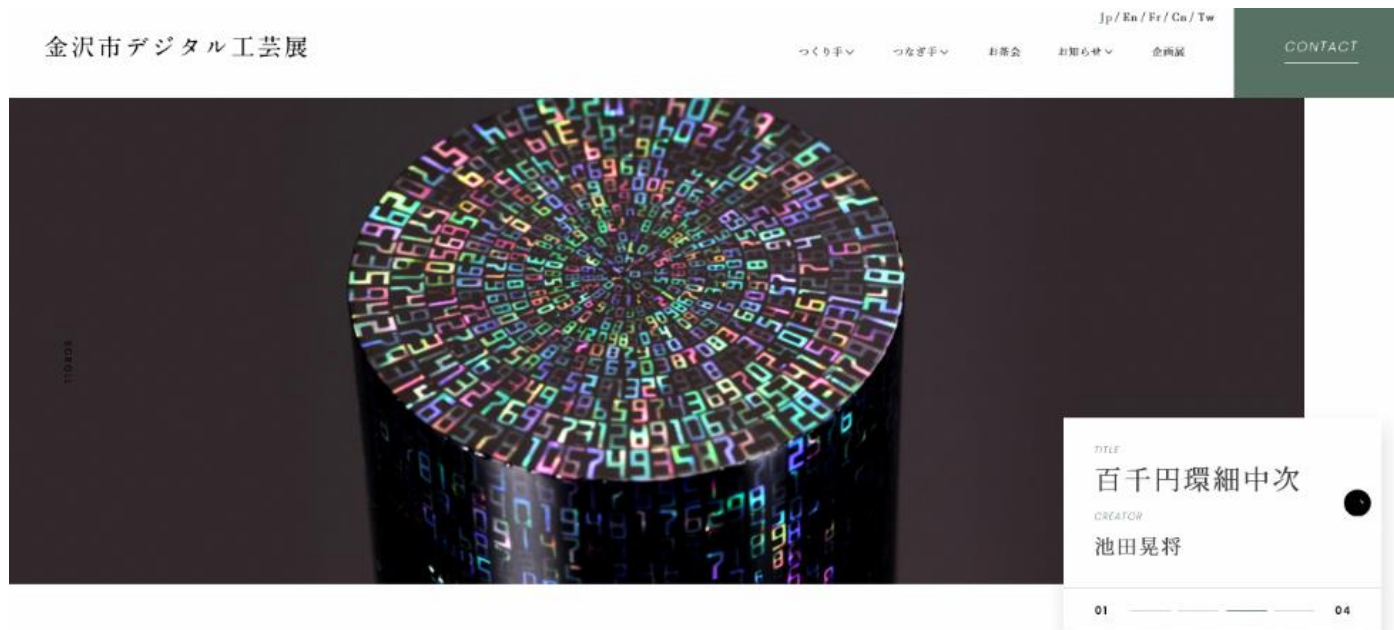
工芸作家の発表機会の減少を受け、金沢の工芸の魅力を発信するとともに、つくり手の創作活動を支援するためにインターネットで「金沢市デジタル工芸展」を開催

■ 出品者

金沢を拠点に活動する工芸のつくり手やつなぎ手など

■ 掲載内容

- 1 つくり手による作品、技法、制作過程などの紹介
- 2 つなぎ手によるつくり手、取扱作品などの紹介
- 3 茶会による作品などの紹介



5 (4) 工業団地整備・企業誘致

- 交通利便性の高い地区に工業団地を造成。土地取得費や工場建設費の一部、新規雇用に対して助成する「企業立地助成金」制度を設け企業誘致を推進。
- 金沢テクノパークでは、高度技術産業や試験研究開発機関など付加価値の高い都市型産業にふさわしい創造拠点として優遇措置を設けた結果、日機装(株)や横河電機(株)など、医療・環境関連企業が立地。



日機装株式会社 金沢製作所



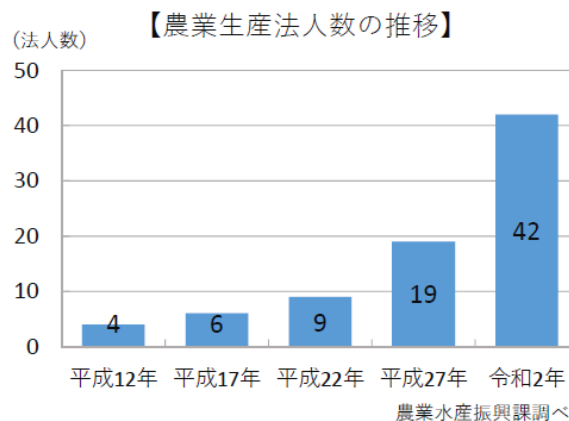
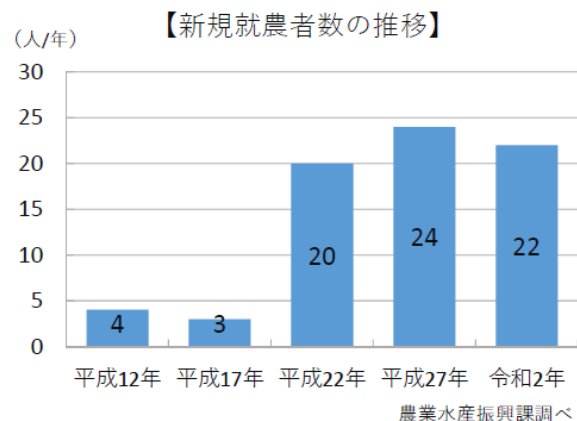
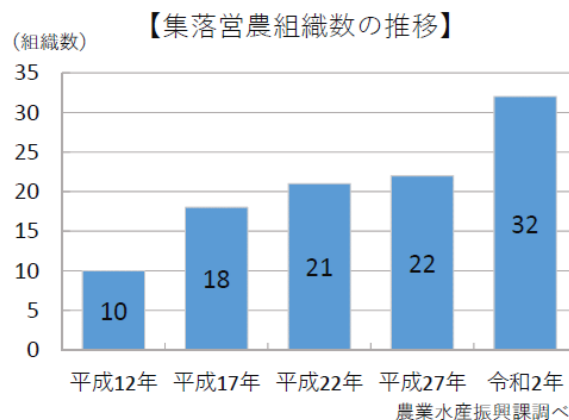
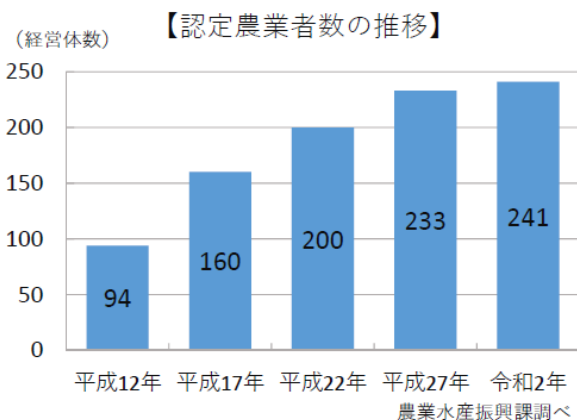
横河電機株式会社 金沢事業所

出典：金沢市ものづくり戦略2015改定版

5 (5) 農林業振興

- 認定農業者は増加している。
- 集落ぐるみで取り組む集落営農組織数は増加傾向にあったが、近年は横ばいで推移。
- 新規就農者数は、近年は横ばいで推移している。
- 農業生産法人数は、近年増加傾向にある。

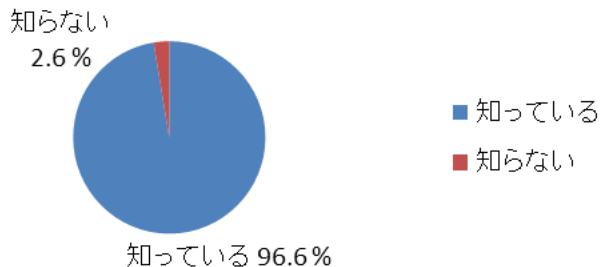
※認定農業者：農業経営の改善に意欲のある農業者で、目標とする経営規模や所得、労働時間等の計画を立てて、市町村の認定を受けた者。農地集積や低利の融資等の支援が受けられる。（農業経営基盤強化促進法に基づく）



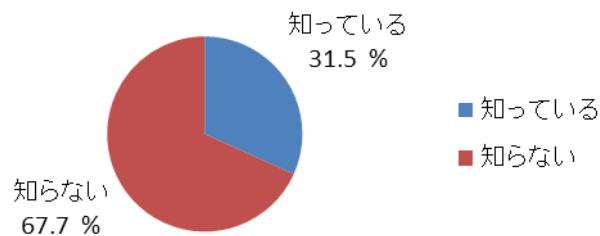
5 (5) 農林業振興

- 市内における「加賀野菜」の認知度は9割以上を占めるが、「金沢そだち」の認知度は約3割と低い。
- 加賀野菜の品目別では、「さつまいも」「加賀れんこん」の認知度が高い。

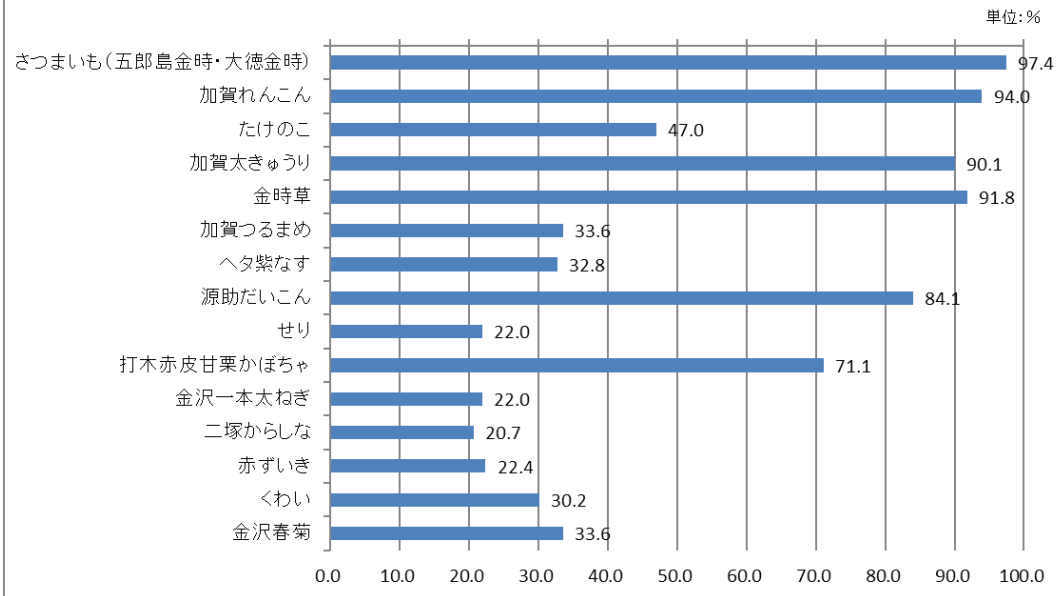
【加賀野菜の認知度】



【金沢そだちの認知度】



【加賀野菜15品目の認知度】

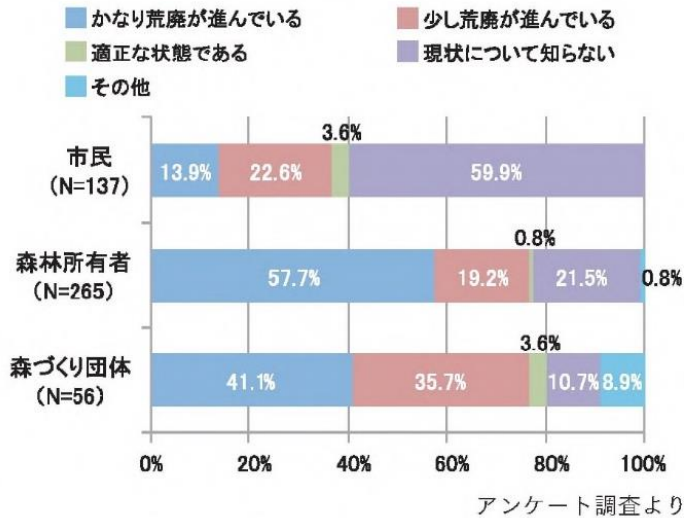


出典：金沢産農産物に関するアンケート
(令和元年度金沢市eモニター制度)

5 (5) 農林業振興

- 本市森林の現状認識について、約6割の市民が現状について「知らない」と回答し、森林所有者及び森づくり団体の7割以上が「荒廃が進んでいる」と回答している。
- 本市の森づくり団体が活動を行う上での課題として、「人員不足」、「活動費不足」、「利用・管理方法の周知不足」等を挙げている。

【森林の現状認識】



【森づくり団体の回答(順位別)】

順位	人的な問題点	金銭的な問題点	その他
1位	人員不足	活動費不足	利用・管理方法の周知不足
2位	高齢化	林産物の採算性が低い	活動の場、体制づくり
3位	参加者の固定化	ペレット普及に対する助成額の不足	活動フィールド不足

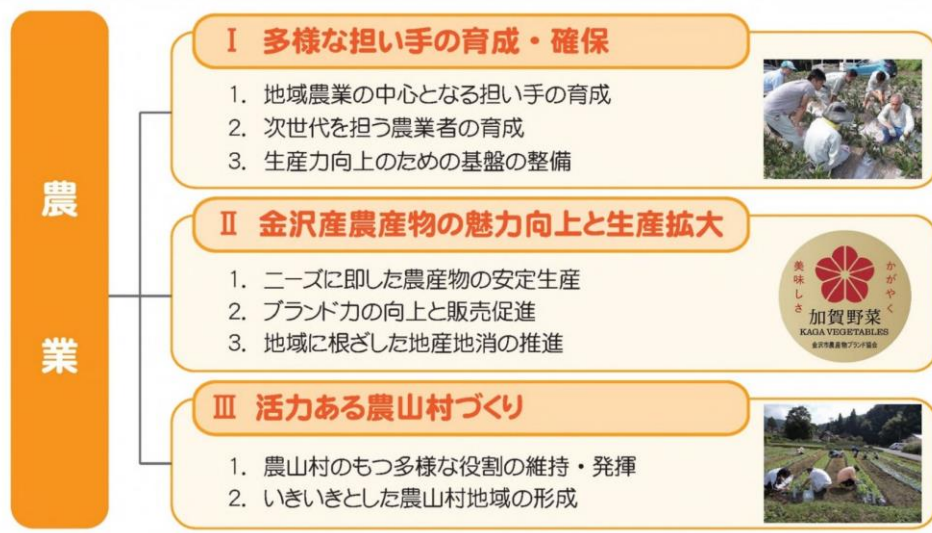
アンケート調査より

農林業の振興

■ 金沢の農業と森づくりプラン2025 (2016.3策定 2022.4改訂)

農林業従事者の減少や高齢化、農林産物の価格の低迷、ライフスタイルの変化による消費者ニーズの多様化、鳥獣被害の拡大など、農林業を取り巻く環境の変化に的確に対応し、農林業の持続的な発展と農山村の活性化を推進。

金沢市の農業のめざす方向 「希望と誇りの持てる強い農業へ」



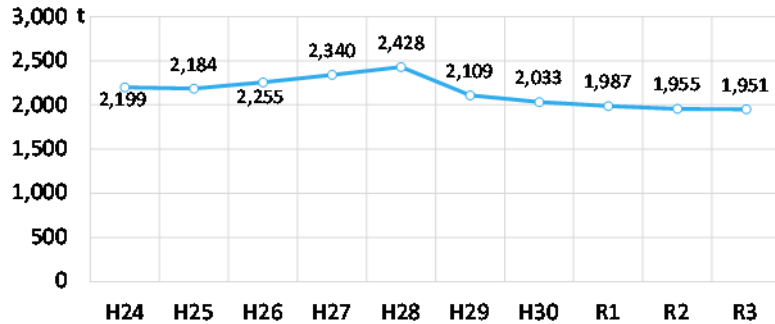
金沢市の森づくりのめざす方向 「未来につながる森づくり ～木を活かし、美しき森を後世に～」



5 (6) 水産業振興

- 本市の漁獲量は、平成30年以降は2,000t程度の一定水準で推移している。本市のえび類、にぎす類、かに類（ずわいがに）の漁獲量は、平成30年の全国の都市別ランキングで10位以内と上位になっている。
- 漁業就業者の高齢化率（65歳以上の割合）は、平成30年に24%と近年で最も高くなっている。一方で、10代～30代の就業者は増加傾向にある。

【金沢市における漁獲量の推移】



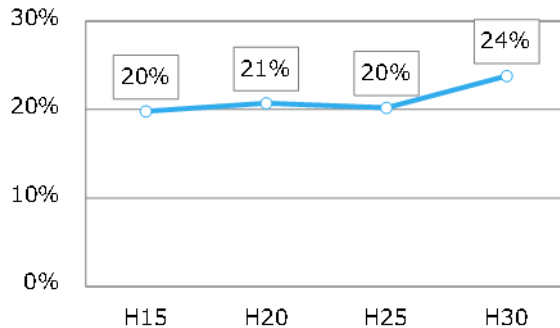
出典：農林水産省 海面漁業生産統計調査（～平成30年）、JFいしかわ（令和元年～）

【金沢市において漁獲量の多い魚種（上位5種）及び他都市と比較した順位】

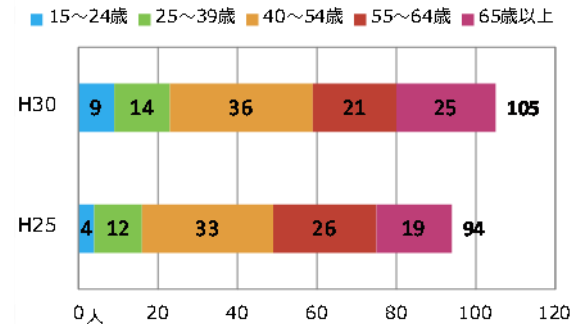
分類	漁獲量 (t)	順位 (589都市中)
えび類	541	3位
にぎす類	312	2位
ひらめ・かれい類	176	64位
かに類(ずわいがに)	117	10位
たら類	41	89位

出典：農林水産省 海面漁業生産統計調査（平成30年）
※平成30年を最後に市町村別統計は廃止

【高齢化率の推移】



【年齢別就業者】



出典：農林水産省 漁業センサス（平成15年～平成30年）
※就業者とは、満15歳以上で過去1年間に漁業の海上作業に30日以上従事した者（外国人実習生は含まない）

水産業の振興

■ 海幸金沢魅力向上計画（2023.3策定予定）

水産業に関連する仕事に携わる人々がいきいきと働き、将来にわたっておいしい海の幸が食べられる「まち」であり続けることで、本市の食の魅力を磨き上げるとともに、市内外に向け、その魅力を発信することで都市のブランド力を高める。

計画の目的

海幸金沢の魅力向上による

- 地域経済の活性化
- 食文化の継承と発展
- 都市イメージの向上

基本方針

方針1
価値を高める

方針2
魅力を発信する

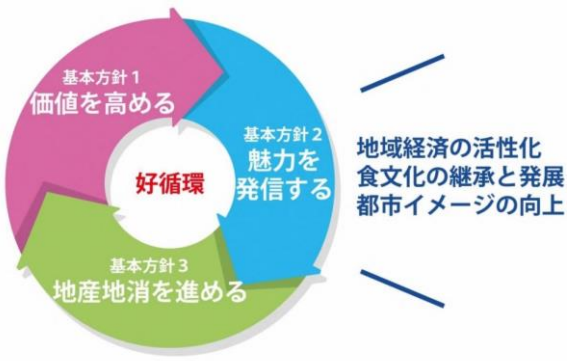
方針3
地産地消を進める

施策の方向性

- 1) 豊富な品揃えや品質の維持・向上
- 2) 付加価値や商品イメージの向上
- 3) 新たな調理方法や加工品の開発
- 4) 担い手確保に向けた漁業の魅力向上

- 1) 生産・流通・飲食の連携を通じたPRの推進
- 2) 各種メディアを活用した魅力発信と金沢の海の幸のファンづくり
- 3) 金沢の海の幸の魅力を活かした誘客促進
- 4) 新たな販路の開拓

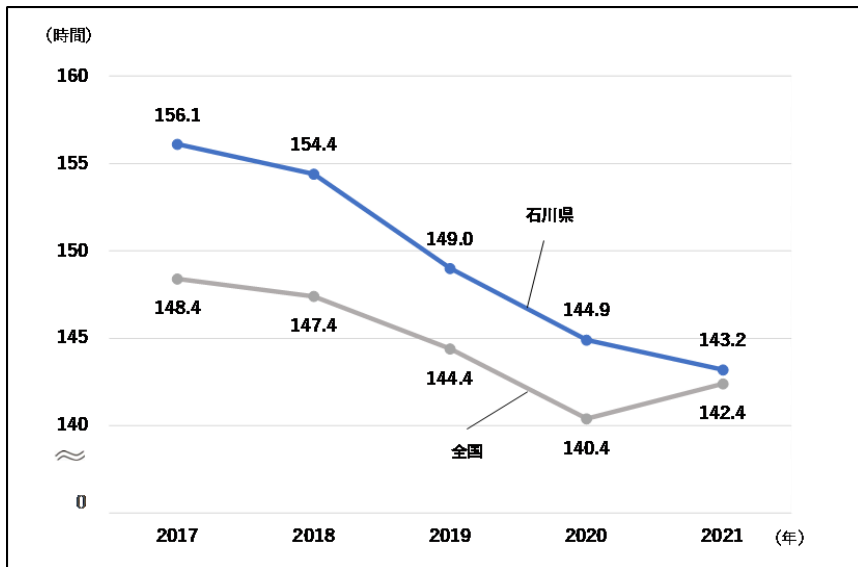
- 1) 年齢に応じた食育推進
- 2) 家庭での魚食普及
- 3) 家庭や料理店での調理技術の継承



5 (8) 働き方改革推進

- 石川県における一人平均月間総労働時間は、2017年以降減少している。
- 石川県における年次有給休暇取得率は全国と比較し約5ポイント低い。
- 石川県における育児休業取得率は、全国と比較し女性は高いが、男性は大きく下回る。

図表 平均月間総実労働時間の推移
(石川県、常用労働者30人以上)

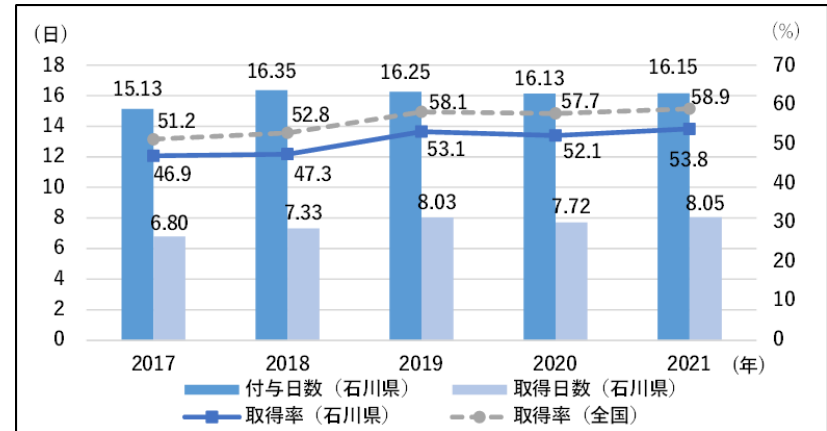


資料：石川県「毎月勤労統計調査 地方調査」
厚生労働省「毎月勤労統計調査」

※実労働時間：

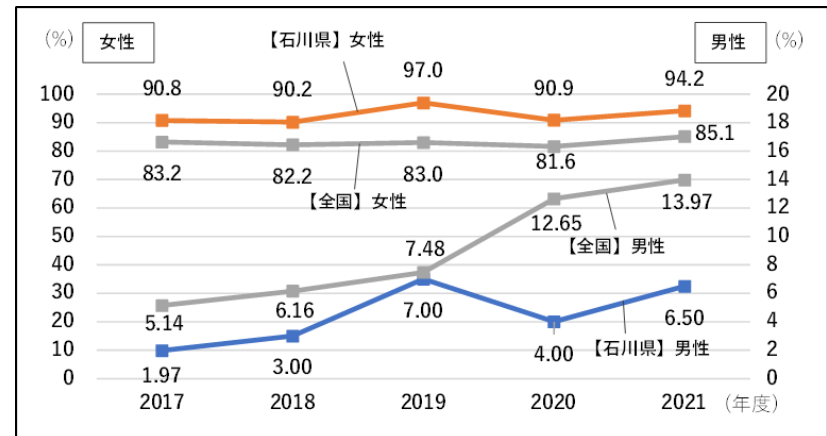
労働者が実際に労働した時間（休憩時間・有給休暇取得分は除かれる）
総労働時間は、所定内労働時間と所定外労働時間の合計

図表 年次有給休暇取得率（石川県）



資料：石川県中小企業団体中央会「中小企業労働事情実態調査」

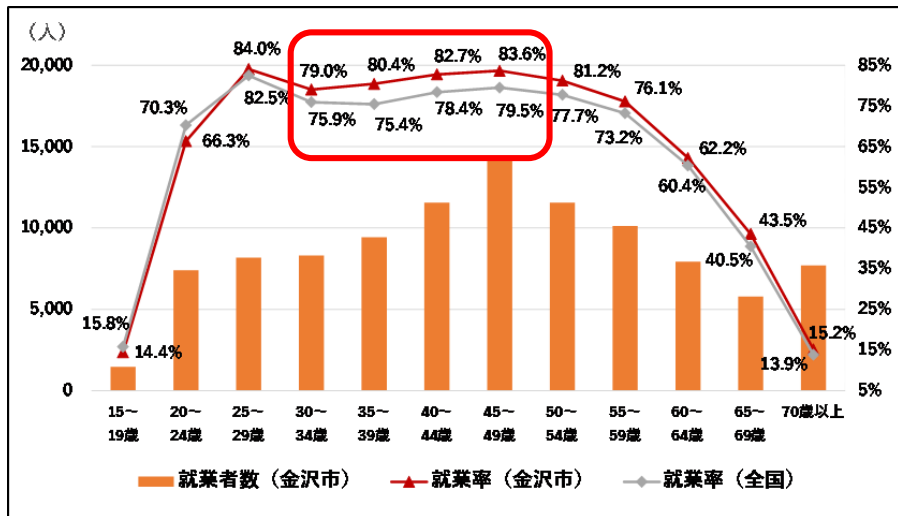
図表 育児休業取得率（石川県）



資料：石川県「賃金等労働条件実態調査」 算入値：調査年度の前年4/1～翌3/31
厚生労働省「雇用均等基本調査」 算入値：調査年度の前々年10/1～翌9/30

5 (8) 働き方改革推進

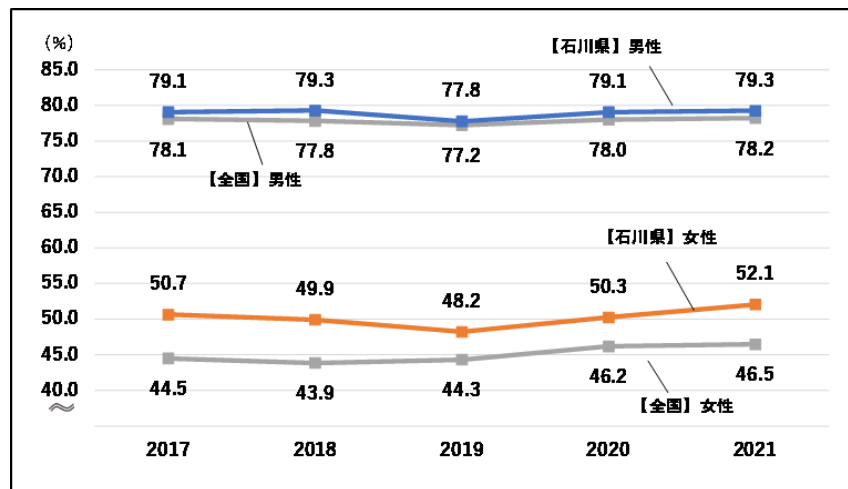
- 金沢市の女性の年齢別就業率をみると、30代・40代の子育て期の高就業率が高い。
- 石川県全体であるが、女性の正規労働者の割合が全国を上回っている。



資料：総務省「国勢調査」(2020年(R2))

図表 女性の就業者数・就業率 (金沢市)

図表 正規の職員・従業員の割合 (石川県)

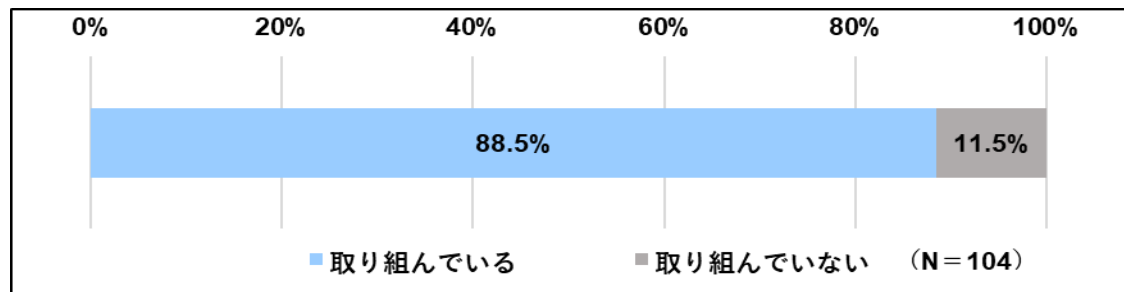
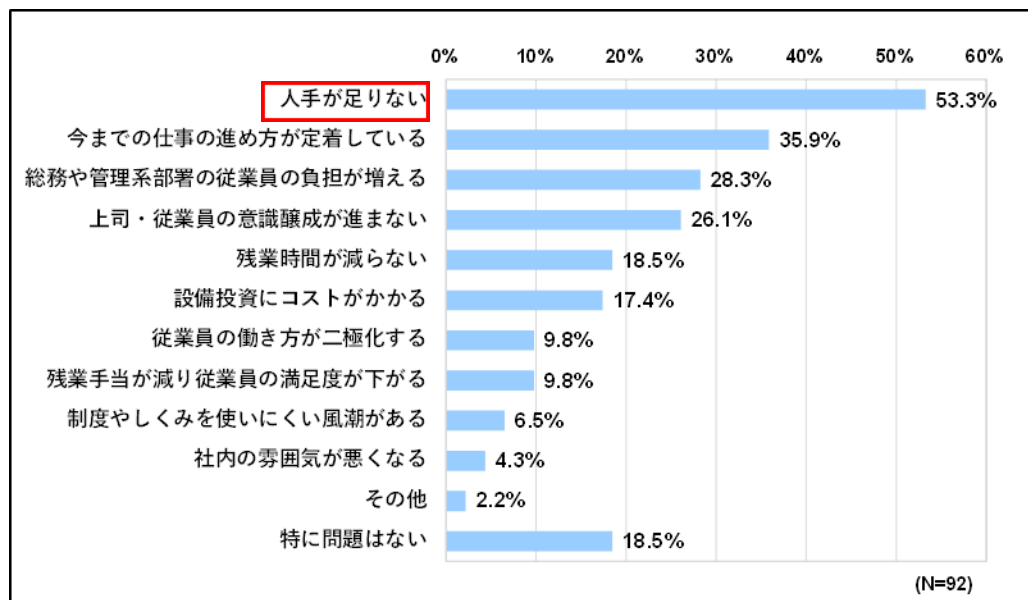


資料：石川県・総務省「労働力調査」(各年平均) 102

5 (8) 働き方改革推進

■ 働き方改革に取り組んでいる企業は約9割。問題は人手不足、今までの仕事の進め方の定着、意識醸成が進まない等。

図表 働き方改革の取組の有無

図表 「働き方改革」の取組を進める中での問題
(働き方改革に取り組んでいると回答した企業)

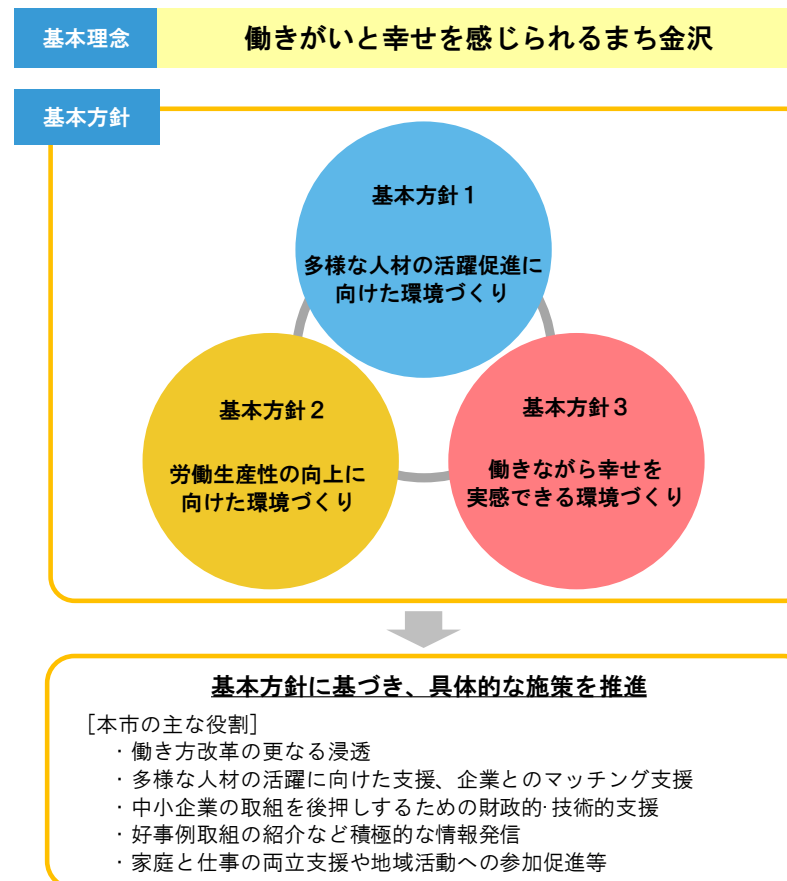
出典：働き方改革に関する
企業アンケート
(2022.10) (上・下)

働き方改革の推進

■ 働き方改革を推進するための関連法律の整備に関する法律（2018.6成立）

■ 第2次金沢版働き方改革推進プラン（2023.3策定）

S D G s やウェルビーイングなど「働きがい」や「生きがい」につながる視点を基に、「働きがいと幸せを感じられるまち金沢」を基本理念に掲げ、従業員のリスクリングによる人材の育成など最近の動勢を踏まえながら、施策を推進。



5 (9) DXの推進

■ デジタル田園都市国家構想

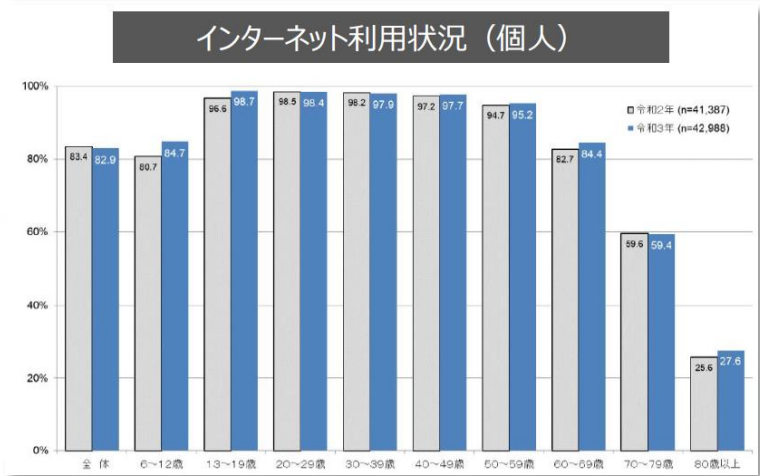
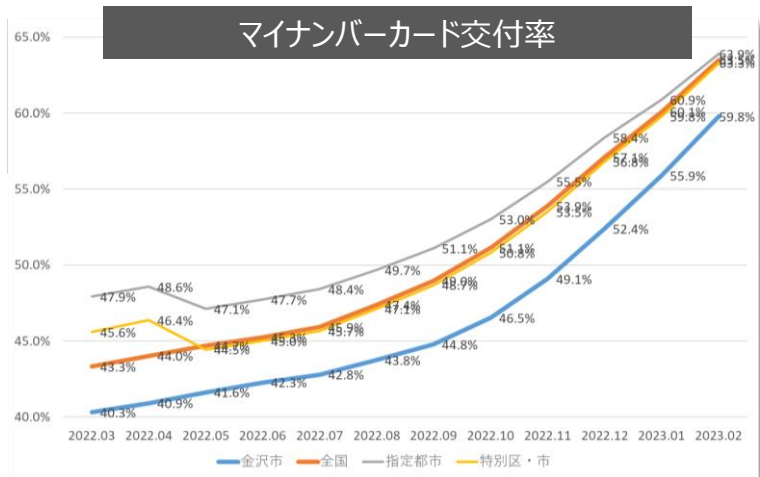
デジタルの力で地方の個性を活かしながら社会課題の解決と魅力の向上を図る。

■ マイナンバーカードの普及とインターネット利用率の拡大

マイナンバーカードの交付率 **59.8%** (全国63.5%) ※2023年2月現在

インターネット利用状況 13歳～59歳で**9割超**。利用機器はスマートフォンが**7割弱**。

デジタル田園都市国家構想イメージ



デジタル戦略都市の実現

■金沢市デジタル戦略（2021.3策定）

行政からのデジタル変革を2年間で集中的に実施

■金沢市DXアクションプラン（2023.2策定）

国の各種計画やデジタル田園都市国家構想に呼応し、社会全体にデジタルの効果を波及させるため、各種分野におけるDXを推進

金沢市DXアクションプラン | 概要 |

1. 基本理念

全ての人々が便利に暮らし、幸せを実感するまちへ

「全ての人々が便利に暮らし幸せを実感するまち」をめざし、DXによる質の高いサービスを創り続けることで、地域の幸福度や、まちの持続可能性を高めていきます。

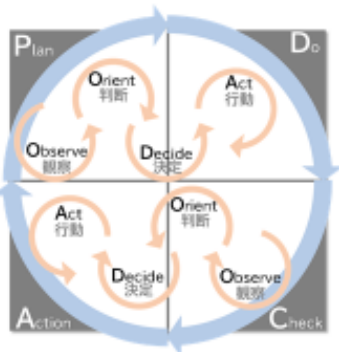
2. 行動指針

プランの実践・推進にあたり、次の行動指針に基づき取り組みます。



3. 成果の測定

- ◆推進期間
3か年(2023~2025年度)
- ◆効果の検証
毎年度その効果を検証し、公表
- ◆成果の測定
PCDAサイクルを基本としつつ、デジタル技術の進展の速さや、社会・経済情勢の変化に迅速かつ柔軟に対応し、最適化するためOODAループにより適時事業目的や目標値を見直し・修正を図る。



4. 取組方針

本市がこれまで築いてきた大切な資産を最大限活用することとし、4つの分野で重点的に施策を展開していきます。

産業 生産性の向上と価値の創造

- ・産学官金連携によるWeb3.0技術の社会実装の促進
- ・メタバースを活用した金沢の伝統や文化の発信

地域 住民相互の交流と連帯意識の醸成

- ・町会活動のデジタル化推進
- ・地域団体へのデジタルツール活用講座の開催

文化「文化都市 金沢」を推進

- ・デジタルミュージアムによる新たな文化体験の提供
- ・最先端技術を活用した文化イベントの開催

教育 誰もが学び成長

- ・子供の興味・関心・意欲・技能に合わせた学びの機会の提供
- ・企業のデジタル人材育成促進のためのリスキリング推進

行政 デジタルにより全ての人々の利便性向上

- ・マイナンバーカードを活用したスマートサービスの導入
- ・ドローンやIoT技術を活用した防災・減災

将来像

一人ひとりに寄り添う

- ・必要な人に必要な案内を提供
- ・「行かない市役所」「書かない窓口」を実現

人と人がつながる

- ・デジタルに対するハードルを軽減
- ・人とつながる多様なコミュニティを形成

金沢の魅力が広がる

- ・文化芸術の魅力と裾野を拡大
- ・文化芸術を次世代に継承

まちが持続的に発展する

- ・人口減少下での成長を実現
- ・多様な人との交流を促進

6. 「都市づくり」の本市の状況

(都市基盤、交通など)

6 (1) 都市計画・市街地再開発

■ 金沢の都心の軸線に沿った都心軸近代化は、海側約500ヘクタールの区画整理事業で開発が進められてきた。その進捗に併せ、順次広域業務機能を西側に移行。今後、日本銀行の移転も予定されている。

西部地区

石川県庁、県立中央病院等を活用した機能集積

駅西地区

近代的金沢を象徴として積極的に開発を推進

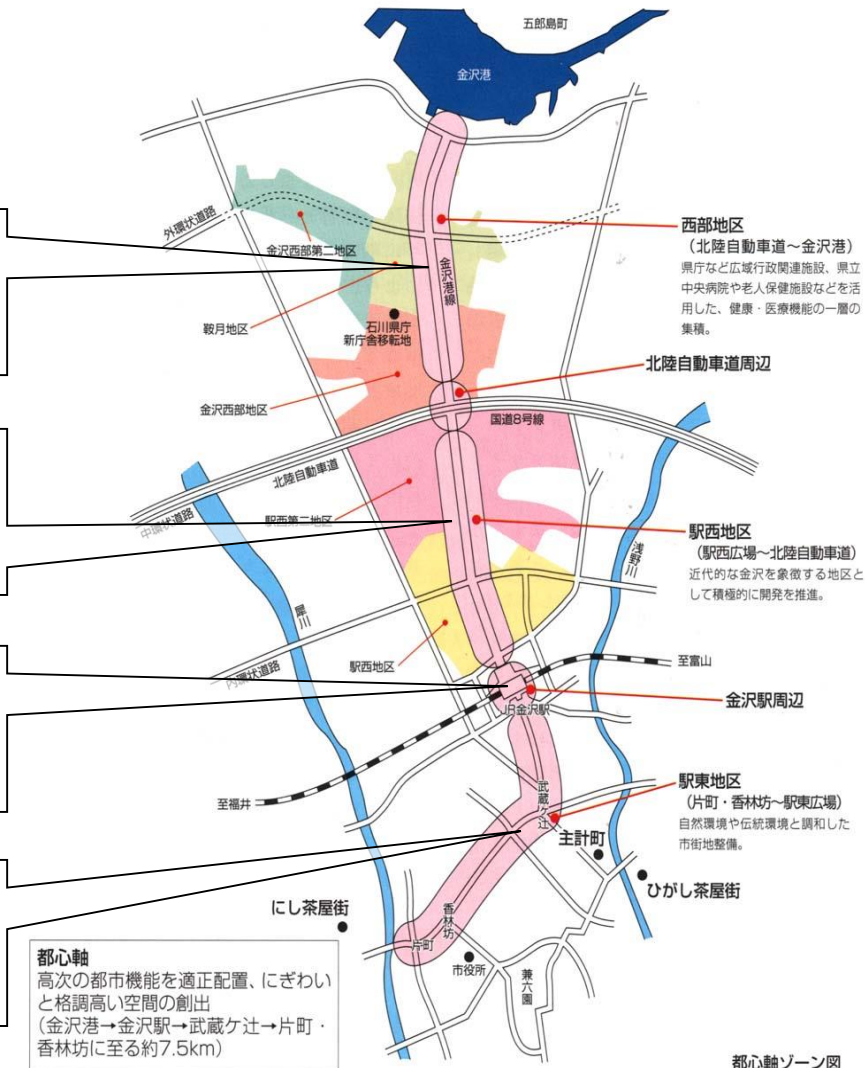
金沢駅周辺

金沢の表玄関にふさわしい機能の整備

駅東地区

自然環境や伝統環境と調和した市街地整備

都心軸
 高次の都市機能を適正配置、にぎわいと格調高い空間の創出
 (金沢港→金沢駅→武蔵ヶ辻→片町・香林坊に至る約7.5km)



都心軸ゾーン図

6 (1) 都市計画・市街地再開発

■昭和43年より市街地改造事業に着手しており、金沢駅から市内中心部の香林坊・片町へ向かう都心軸沿線の4地区で再開発事業を進めてきた。金沢駅から武蔵ヶ辻まで、幅員36メートルの道路を街路事業として整備しており、新幹線開業後、歩行者も増加。

(駅東地区)



① ポルテ金沢



② ヴィサージュ

(駅武蔵地区)



③ ライブ1

④ ルキーナ金沢

⑤ やわらぎ金沢

⑥ みやび・る金沢

⑦ リファール



(武蔵ヶ辻地区)



⑧ 金沢スカイビル



⑨ 近江町いちば館

(香林坊地区)



⑩ 香林坊東急スクエア



⑪ 香林坊アトリオ

金沢市の都市計画

■ 金沢市都市計画マスタープラン2019

(2019.3策定)

人口減少社会においても持続的な発展を続けるまちとするため、「市民とともに作りあげる持続的に成長する成熟都市」の実現を目指す。

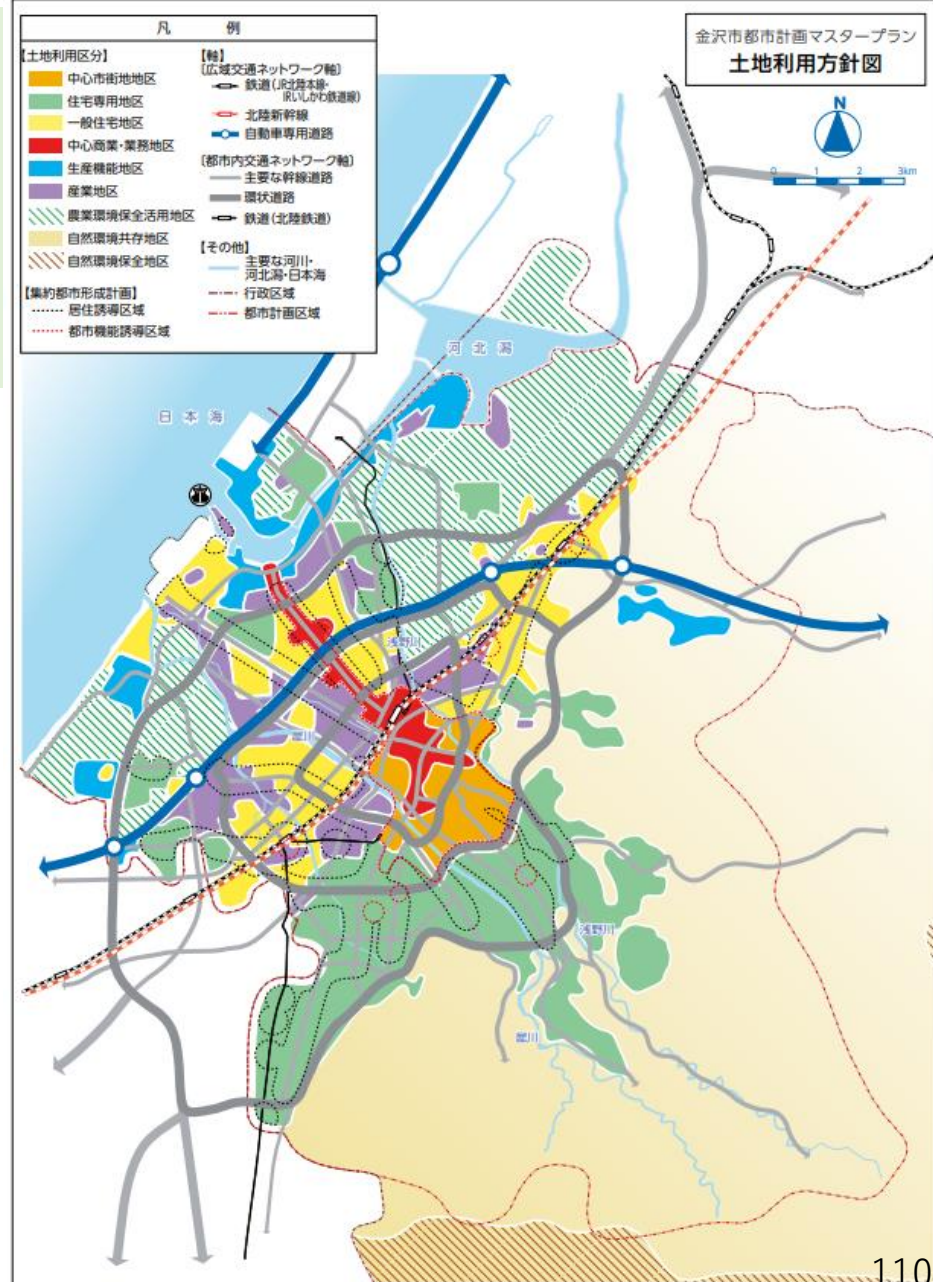
基本方針

市民が主役の持続可能なまちづくり

金沢らしい資産を守り・磨き上げ・活かすことで、成長・発展していく
交流拠点都市の形成

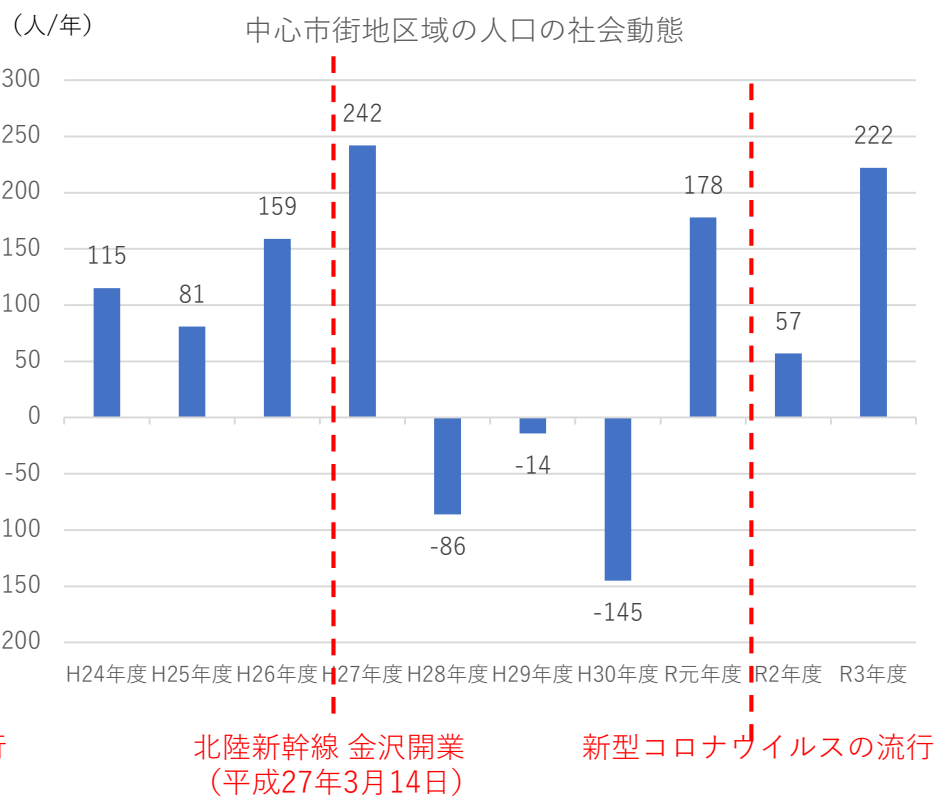
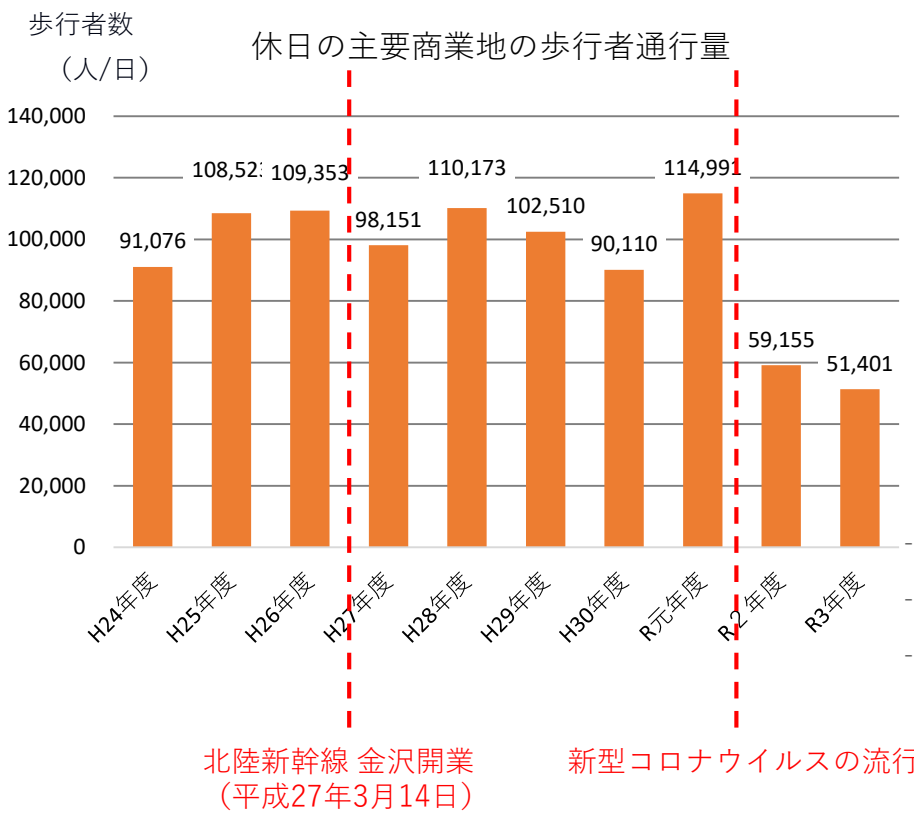
中心市街地を核とした都市機能の集積と公共交通重要路線沿線へ居住が誘導された
集約都市(軸線強化型都市構造)の形成

都市と良好な農林業・自然環境との共生によって、市民誰もが安全で快適に暮らし働ける
環境共生都市の形成



6 (2) 中心市街地活性化

- **主要商業地の歩行者通行量**は、微増傾向にあったが、**新型コロナウイルス感染症**の影響により、令和2年以降は歩行者通行量が**大幅に減少**した。
- **中心市街地区域の人口の社会動態**は、平成28年以降、転出超過が続いたが、**令和元年には転入超過**に転じている。



出典：金沢市歩行者通行量調査報告書
 ※主要商業地：片町、香林坊、豎町、近江町、武蔵、横安江町、金沢駅

出典：令和3年度金沢市中心市街地活性化基本計画の最終フォローアップに関する報告

中心市街地の活性化

■ 第4期 金沢市中心市街地活性化基本計画（2022.3国認定）

先人から引き継いだまちの個性と魅力を磨き高めることに加え、まちの多様性と包摂性を確保することで、より多くの市民にとって「居心地が良く歩きたくなるまちなか」を創出し、遠方からの来街者に過度に依存することなく、住む人と訪れる人が「しあわせ」を共創する持続可能なまちを実現することを目指す。

目指す中心市街地の都市像

多様性と包摂性の確保により
住む人と訪れる人が「しあわせ」を共創する持続可能なまち

【基本的な方針】

- 1 住む人にも訪れる人にも快適で楽しいまちづくり
- 2 人も地球も元気になるまちづくり
- 3 文化やまちの個性を磨き高めるまちづくり

【目 標】

- 目標1：まちなかの定住者を増やす
- 目標2：ウォーカブルなまちなかを形成する
- 目標3：公共交通を優先したまちなかの交通環境を整える
- 目標4：歴史文化資産を活かし市民・来街者を引きつける

広場等公共空間活用促進

■ まちなか公共空間の利活用（2019～）

民間団体・事業者等の創意工夫や活力を取り込みつつ、まちなかの道路・広場・公園等の公共空間の利活用を促進し、公共空間を含む周辺の利便性や居心地の向上と賑わいの創出を図る。

まちなかにある公共空間の利活用

金沢市まちなか公共空間にぎわい協力団体 （2021協定締結）

公共空間の特性を理解しつつ、利活用に意欲のある民間事業者等を公募し、協定締結により市内まちなか公共空間にて活動。



社会実験「マチノバ・カナザワ」



社会実験「サイガワリバーサイドアクト」

まちなかを流れる犀川の河川空間の利活用

犀川かわまちづくり計画（2021.8国登録）

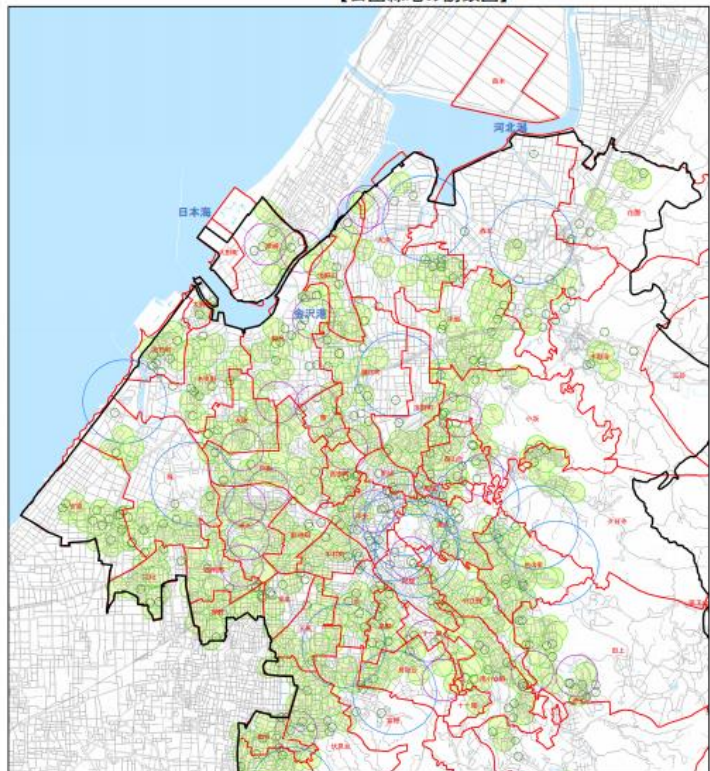
中心市街地にあって水や自然と親しめる貴重な公共空間である犀川河川空間において、近隣の商店街や民間事業者、地域住民等の活力を生かしながら、当該空間の日常的な利活用を促進し、憩いと賑わいの創出を図る。



5 (4) 公園の再編・利活用

■ 一人当たりの都市公園面積は10年前に比べ約2㎡増加し、全国の中核市平均より約3㎡上回っており、整備水準は高いが、公園の分布において、誘致圏が重複する公園が多く見られ、十分に活用されていない公園が顕在化。高齢者や幼児・児童、障害のある方など、地域特性に応じて優先度の高いニーズに対応できる公園施設への更新が必要。

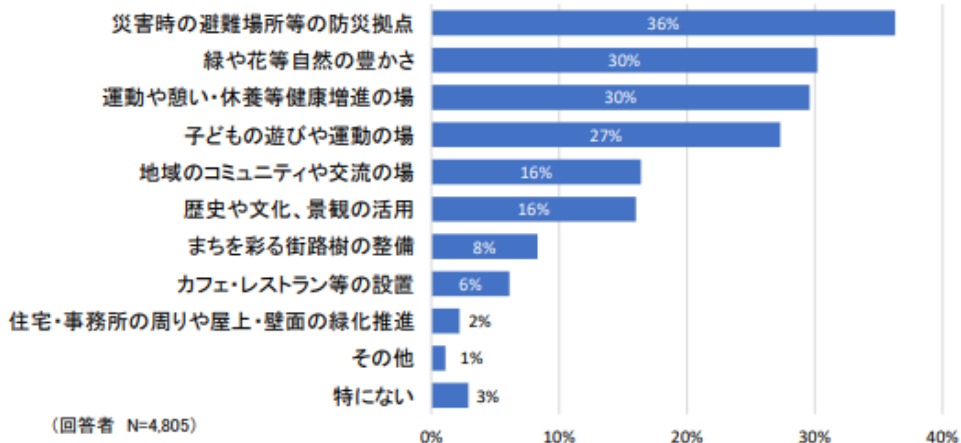
【公園緑地の誘致圏】



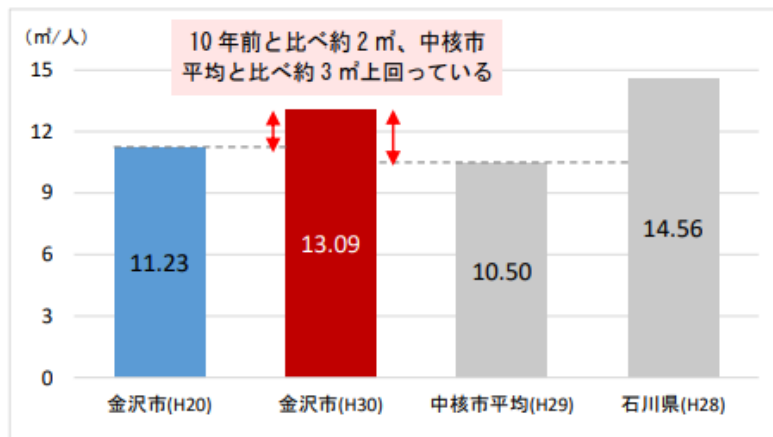
【活用されていない公園例】



【公園に求めること】



【一人当たりの都市公園面積の比較】



出典：中核市市長会・都市要覧、石川県都市公園等整備状況調査

公園の再編・利活用

■金沢市夢ある公園再生・活用計画（2021.3）

市内に多く点在している既設公園について、次世代を担う子どもや子育て世代への支援に重点を置きながら、地域の意向を反映した再整備等に取り組み、より多くの市民に楽しく利用される場、そして、夢の実現を支援する場になることを目的とする。

小規模な公園の機能分担・再編

日常利用しやすい小規模な公園の機能分担・再編により、幼児・児童や地域住民等の公園利用者の増加やコミュニティ活動の活性化を目指す。



幼児向け遊具

地域との連携による公園維持管理・活用の推進

既存の制度の見直しや新規制度の創設等を検討し、地域や事業者が主体的に公園を活用しやすい環境整備に努める。



大規模な公園の機能強化

大規模な公園の機能強化を図り、誰もが使いやすい利用者満足度の高い公園を目指す。



車いすを運びやすい幅を設けた遊具

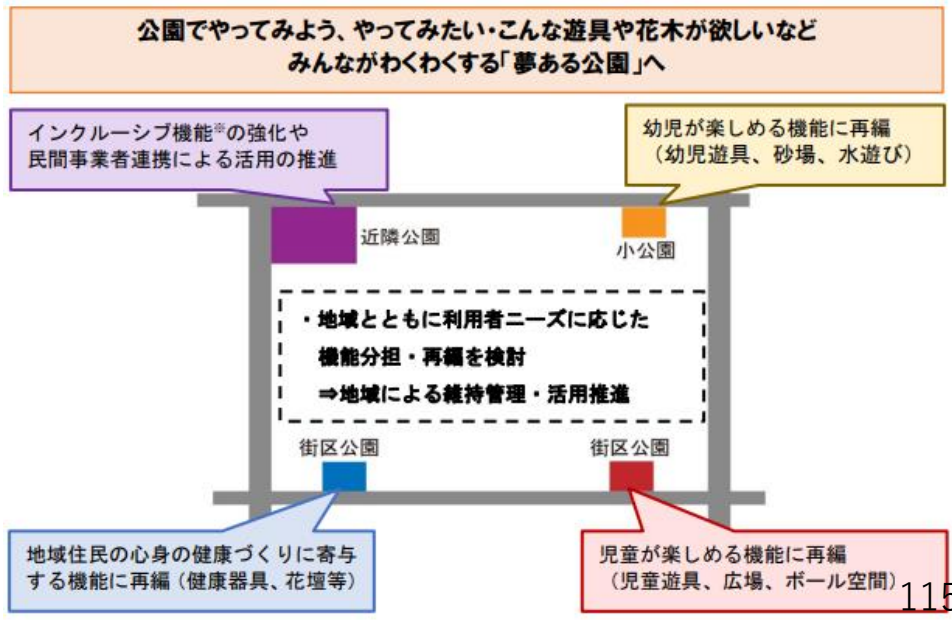
まちなかの賑わい創出に向けた公園の有効活用

まちなかの賑わい、憩いの場創出に向けた有効活用できる公園を目指す。

公共空間利活用社会実験（店舗出店）



東山河岸緑地



- 住宅取得支援制度を利用した移住者数は、運用開始以降、**69世帯 206人**となっている。
- 移住者ネットワークを活用した移住希望者との交流や、金沢市移住・定住ポータルサイトや公式インスタグラムをとおした情報の発信により、移住を希望される方をサポートしている。

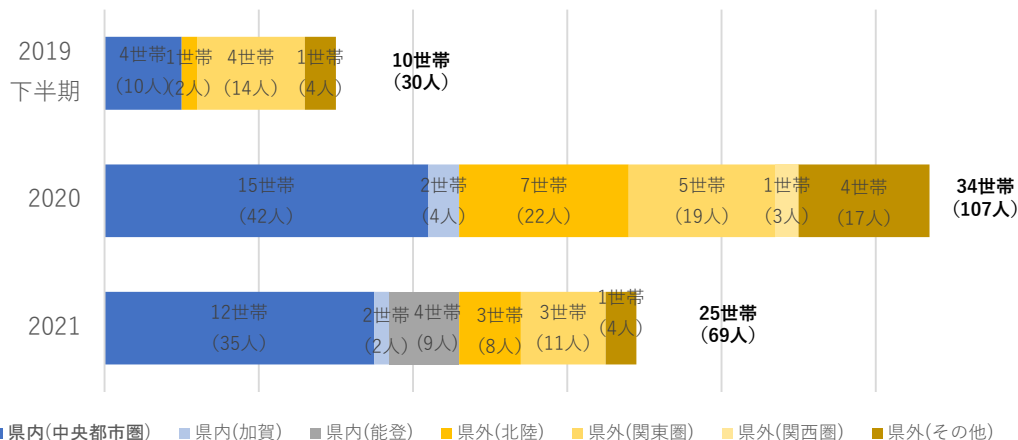
移住者ネットワーク メンバー紹介

先輩移住者に相談したいことはありませんか？移住者ネットワークは移住を希望される方との交流や情報発信に取り組んでいます。



出典：金沢市住宅政策課

移住者数（ようこそ金沢住宅取得奨励金制度利用者） 2022.3.31現在



金沢市移住・定住ポータルサイト
「金沢に住もう」



移住者ネットワーク
公式インスタグラム



53 投稿
223 フォロワー
25 フォロワー中

【公式】金沢移住者ネットワーク
金沢市と金沢移住者ネットワークが、本市の魅力や日常のエピソードなどを随時お届けします！
？金沢移住者ネットワークとは？
金沢への移住者や移住を希望される方との交流、移住者目線での情報発信を行う先輩移住者によるネットワークです。移住・定住に関するお問い合わせはコチラ
www.kanazawa-iju.jp/

フォローする

メッセージ



移住・定住の促進

■ 金沢市定住の促進に関する条例（2001.4施行）

■ 第4次金沢市住生活基本計画（2023.3 策定予定）

市民の更なる住生活の安定と質の向上を目的とした、住宅政策の指針となる計画。『誰もが「住みたい」「住み続けたい」と思える住生活の実現』を基本理念として、「居住者」・「住まい」・「地域」の3つの視点に基づく目標を掲げ、11の施策の方向性を定める。

【基本理念】

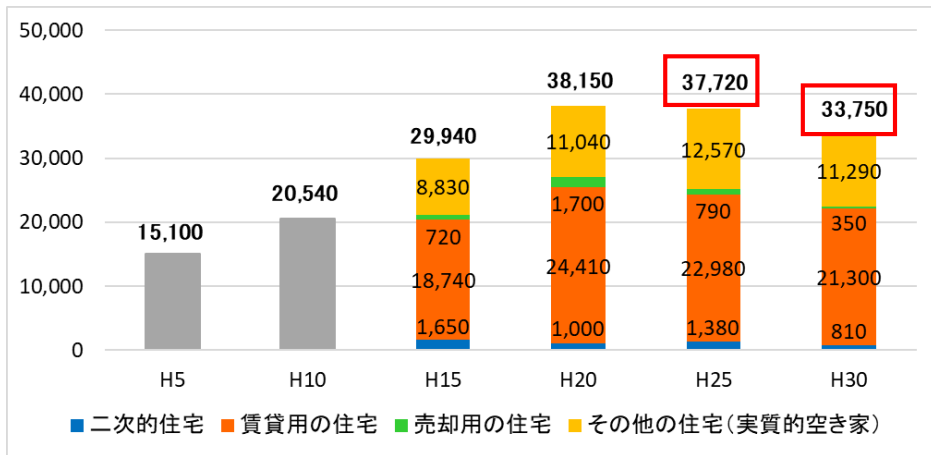
誰もが「住みたい」「住み続けたい」と思える住生活の実現
 ～金沢の魅力ある住まいを次世代に継承する～



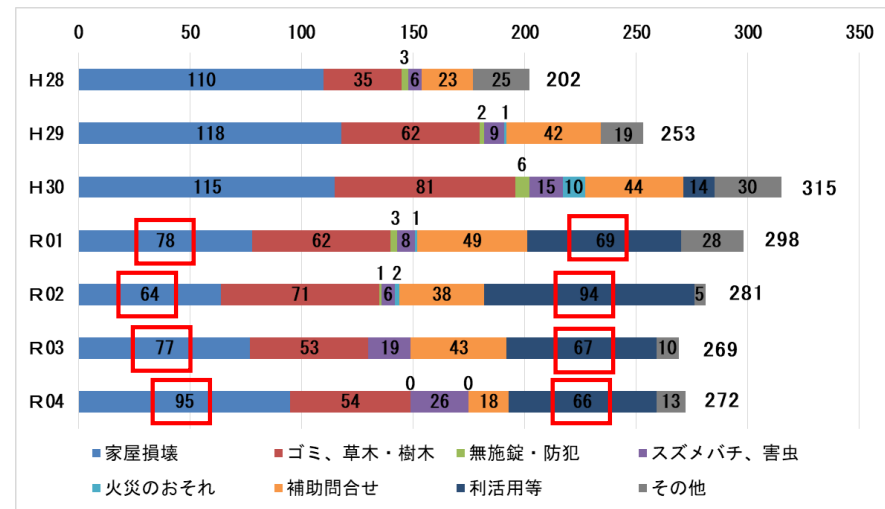
6 (4) 空き家の管理・活用

- 空き家の全体及びその他の住宅（実質的空き家）の戸数は、減少傾向にある。
- 空き家等に関する相談内容は、令和元年を境に、所有者情報・利活用等が増加している。

【金沢市の空き家の内訳の推移】



【金沢市の空き家に関する相談件数と内容】 (R5.2.28現在)



出典：住宅・土地統計調査（上）、金沢市住宅政策課（右）

空き家の活用・流通の促進

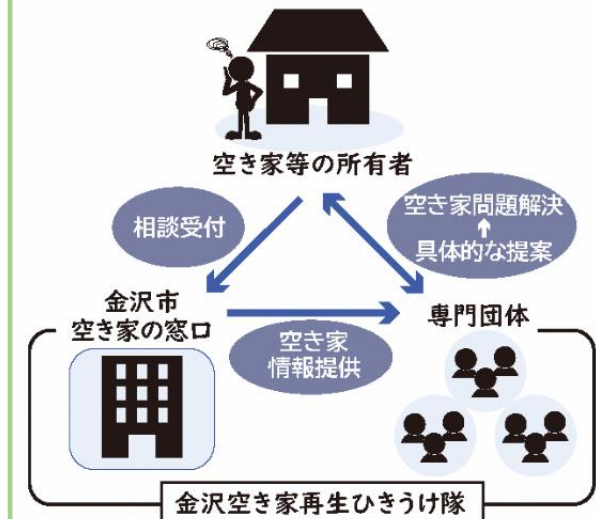
■ 金沢市空き家等の適切な管理及び活用の促進に関する条例（2016.4施行）

■ 金沢市空き家等管理・活用計画（2016.3策定）

空き家等の適切な管理や活用の推進により、地域の生活環境を保全し、地域コミュニティの活性化を図る。

【基本理念】

- ① 金沢町家・美しい景観の維持保全、安全で快適な生活環境の形成に配慮する。
- ② 空き家等及びその跡地が、定住の促進・地域コミュニティの活性化のための有益な資源であることを認識する。
- ③ 市、市民、所有者等、事業者、町会その他の地域団体の相互の理解と連携のもとに、協働して実施する。



【ワンストップ相談体制】
(2020.10~)

専門団体と金沢市が連携し、具体的な提案を行うことで、所有者が抱える問題を解決

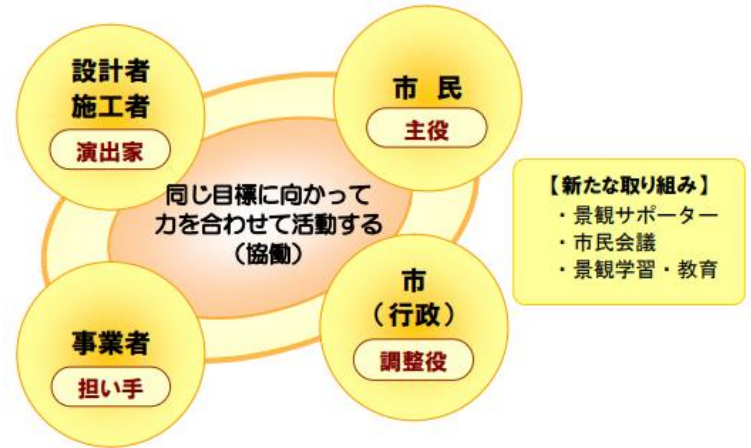
- 1968（昭和43）年に、全国に先駆けて「伝統環境保存条例」を制定するとともに、数多くの独自条例を制定し、その運用・実践を通して良好な景観形成に取り組んでいる。

制定年		条例名（略称）
昭和43年	1968	伝統環境保存条例
昭和52年	1977	伝統的建造物群保存地区保存条例
平成元年	1989	都市景観条例
平成6年	1994	こまちなみ保存条例
平成7年	1995	屋外広告物条例
平成8年	1996	用水保全条例
平成9年	1997	斜面緑地保全条例
平成14年	2002	寺社風景保全条例
平成15年	2003	都市景観条例の一部改正（眺望景観の保全）
平成17年	2005	沿道景観形成条例、夜間景観形成条例
平成21年	2009	景観条例
平成25年	2013	金澤町家条例
平成29年	2017	川筋景観保全条例
平成31年	2019	眺望景観形成条例

魅力ある景観形成

■ **金沢市景観計画（2009.7策定 2021.7最終変更）**

金沢の魅力ある景観形成に向けて「風格と魅力を兼ね備えた美しい世界都市・金沢」を目標に掲げ、重層性のある景観の継承、時間・暮らしと密接に関わる景観の保全・継承に取り組む。



時間や暮らし 1日(昼夜)、四季(春夏秋冬)、伝統・文化

【金沢らしい景観の構図】



伝統・文化
長町武家屋敷群



四季、昼夜
兼六園の雪吊り



人や物の動き・交わり
壱町商店街の賑わい



香り、音など
本多の森(蝉しぐれ)

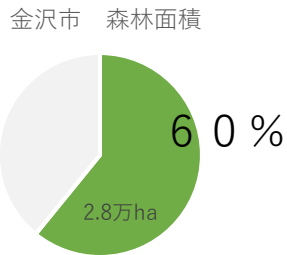
- ◎ **3つの景観要素が重なり合い、金沢の個性ある景観の基盤となっています**
- ① **地形** … 海岸、河川、河北潟、台地、平野、丘陵地、山間地等の起伏豊かな地形
- ② **歴史** … 城下町の町割・街路網、農山村集落の歴史、遺跡 など
- ③ **土地利用** … 住宅地、商業地、工業地、農地、森林等における都市経済・生産活動 など

- ◎ **時の移ろいや日々の暮らし、文化を背景として彩りある景観を生んでいます**
- ① **伝統・文化** … 文化や生活慣習とともに培われていく長い年月(長年)
- ② **四季** … 金沢ならではの鮮やかな四季の変化(1年)
- ③ **一日(昼夜)** … 昼・夜の生活のリズム(1日)

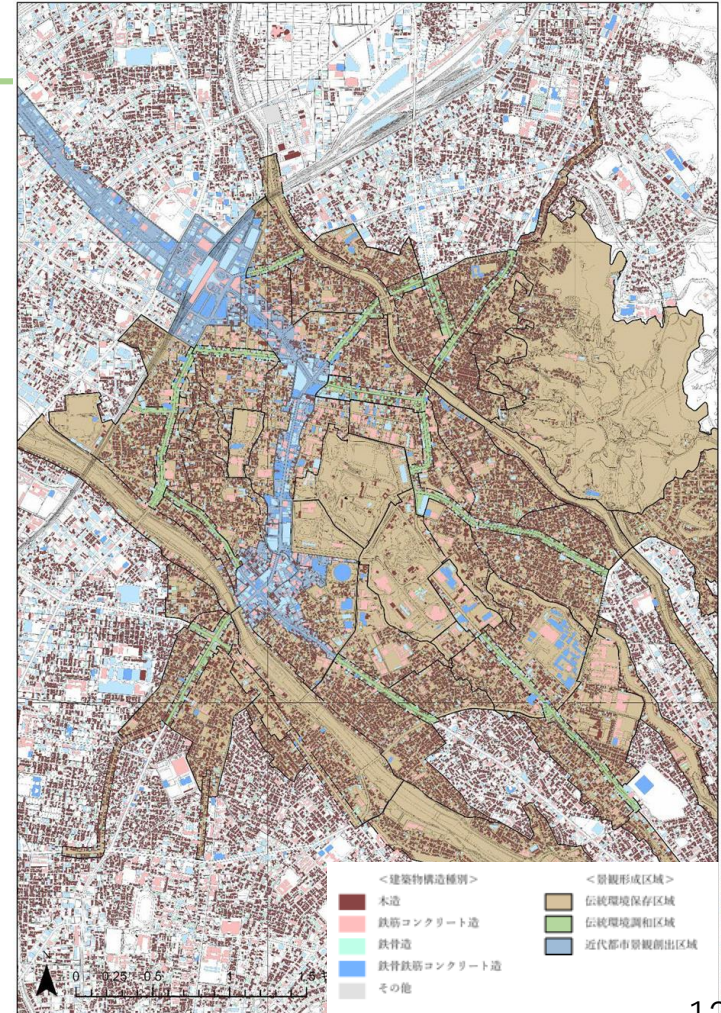
6 (7) 木の文化都市の継承と創出の推進

■ 金沢市は市域の約6割を森林が占め、また、金澤町家など多くの歴史的資産も残る、豊かな木に包まれた都市。さらには伝統工芸や芸能をはじめとして市民の生活にも木は身近な存在として根付いている。環境や歴史的背景からも、金沢市にとって木はより身近な存在で、木の文化都市を目指す挑戦的な取組を都市部で成功させられる全国的にも数少ない都市のひとつといえる。

金沢市は、市域の約6割を森林が占めている



国土地理院地図を加工して作成
出典：全国ランドサットモザイク画像、Landsat8画像（GSI, TSIC, GEO Grid/AIST）、Landsat8画像（courtesy of the U.S. Geological Survey）、海底地形（GEBCO）



「木の文化」とは、
「**まちに木の質感を醸し出す全てのもの**」

- ・ 木造建築（伝統工法、在来工法、新工法）
- ・ 木の装い（木材を用いた建築物の内外装）
- ・ 木工品（木を用いた工芸品、家具、道具、生活用品など）
- ・ 公共空間における木造品（ストリートファニチャーなど）
- ・ 樹木（街路樹、敷地内樹木、庭園、緑地、森林）

「木の文化都市」とは、
「**木が持つ優れた特性を活かす持続可能な仕組みを備えた都市**」

- ・ 「木」にこだわり、まちの随所に「木」があるまち
- ・ 「木」が暮らしや生業に溶け込んだまち
- ・ 「木」が供給から活用まで循環するまち

「木の文化都市・金沢」の継承と創出

■ 金沢市における木の文化都市の継承と創出の推進に関する条例（2022.4施行）

まちなみや生活に幅広く「木」を取り入れ、「木」の優れた特性をまちづくりに生かした、持続可能な仕組みを備えるまちを目指す。

■ 金沢市木の文化都市推進計画（2023.3策定予定）

歴史・自然・文化と調和した金沢ならではの木の文化都市の実現を目指す。

目指す姿

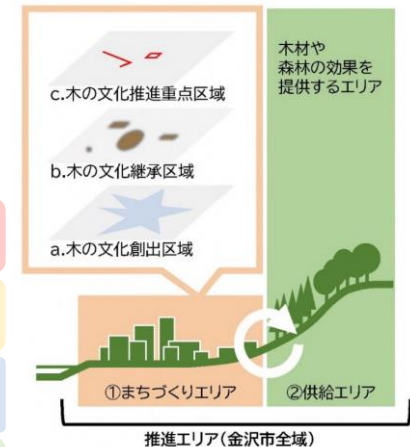
木の文化を感じられるくらしとまちをつくる

【基本方針】 **継承** 金沢の歴史と文化に根ざした木の文化を継承する

創出 新たな木の文化を創出する

【施策の方向性】

1. 木の文化を知る・理解する
2. 木を仕事にする、日々のくらしに活用する
3. 木をつかった建物や空間をまもる・つくる
4. 森とまちの好循環をつくる
5. 木の文化を担う主体がつながり、ともに推進していく



■ 金沢には、江戸時代の前田家ゆかりの建築や城下町に蓄積された町家、明治時代のレンガ建築や洋館、大正や昭和の近代建築、最新の現代建築が存在している。

藩政期



成巽閣



武家屋敷跡野村家



福久屋石黒傳六商店

明治・大正・昭和



尾山神社神門



しいのき迎賓館



北國銀行武蔵が辻支店

現代



金沢21世紀美術館



金沢駅 もてなしドーム



金沢海みらい図書館

建築文化の継承・発展

■ 「谷口吉郎・吉生記念金沢建築館」 (2019.7開館)

藩政期以降の歴史的建造物や近代建築の保存・活用に加え、魅力的な現代建築がまちに新たな価値を付加している本市の重層的な建築文化を、国内外に永続的に発信する拠点

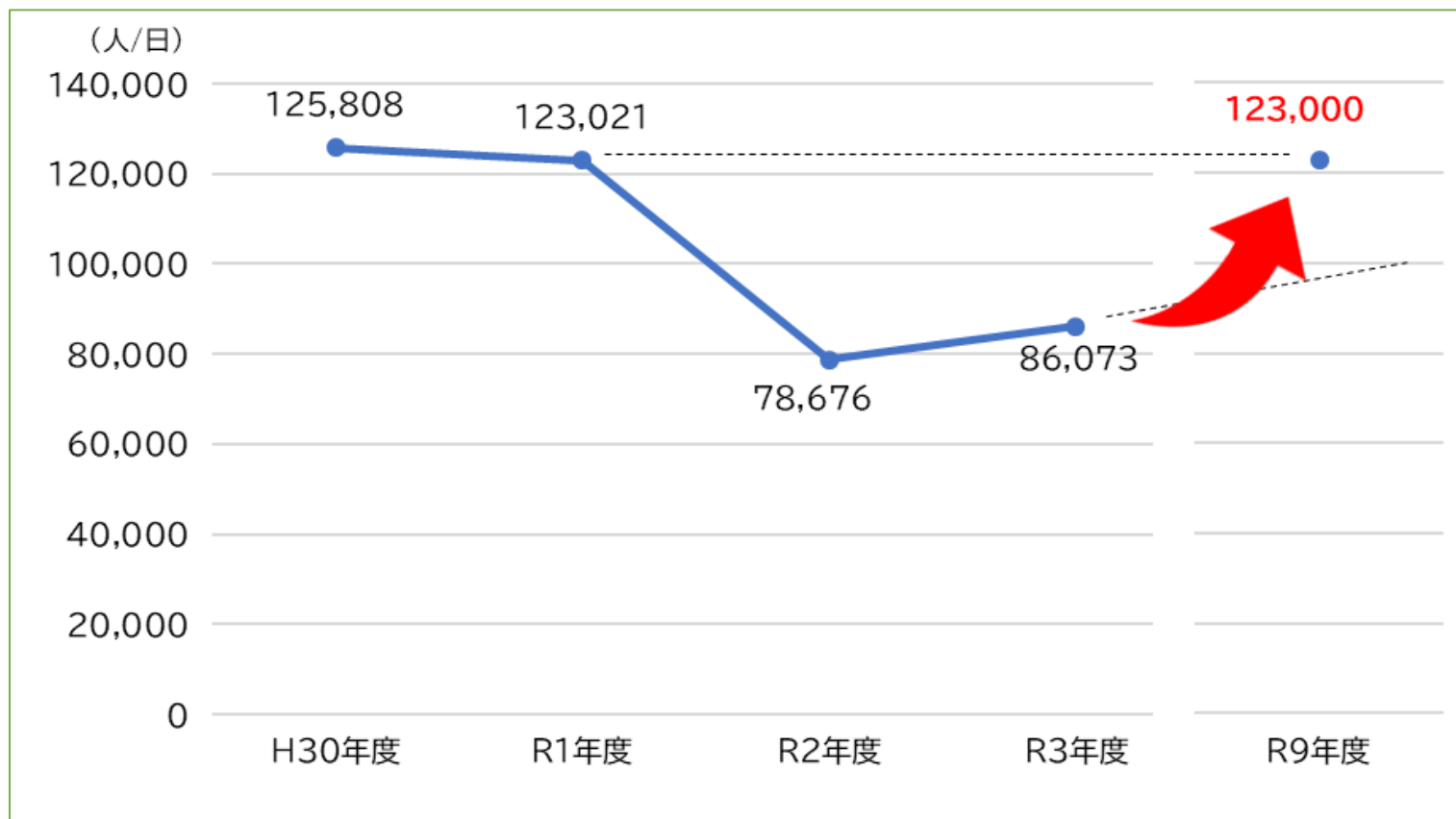
「建築文化」とは、
金沢の気候や風土によって育まれた
藩政期や近現代の建築物及びそれらが形成する
個性豊かなまちなみ並びにそこから醸し出される
人々の生活や気質が織りなす文化をいう。

谷口吉郎・吉生記念金沢建築館条例 第2条



- 新型コロナウイルス感染症の影響で、鉄道やバスなどの公共交通の利用者が大幅に減少。
- 「公共交通の利用者数」は第3次金沢交通戦略において、重要成果指標と位置づけ、令和9年度までにコロナ禍前の水準まで回復することを目指している。

図表 公共交通利用者数の推移



交通によるまちづくり

第3次金沢交通戦略（2023.3策定）

本市を取り巻く近年の社会情勢や環境の変化、課題等を踏まえた、交通によるまちづくりを実現するための具体的な行動計画

第3次交通戦略が目指す姿

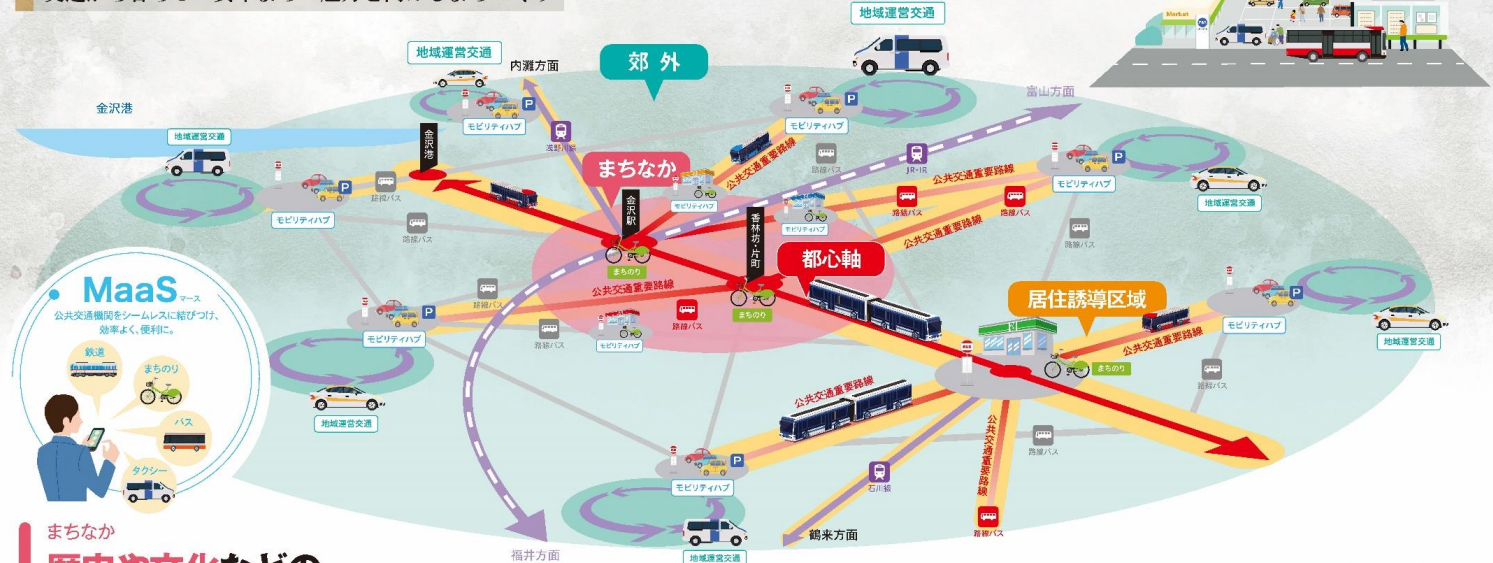
【基本的な考え方】

歩行者・自転車・公共交通優先のまちづくり

交通から暮らしの質やまちの魅力を高めるまちづくり

郊外 地域の实情に合わせた 柔軟な移動手段の確保

- 地域運営交通を使って、住民が地域の病院・スーパーに車なしでも行ける
- 地域運営交通と公共交通重要路線のバスが、モビリティハブで接続し、まちなかにも便利に行ける
- MaaSにより乗り換えもスムーズ



まちなか 歴史や文化などの 魅力が楽しめる人中心の 移動環境の充実

- トータルデザインされた新しい交通システム(第1段階)を都心軸中心に導入
- 人中心のウォークアブルな空間の整備
- 自転車走行指導帯やまちのりの充実
- 来訪者等にも分かりやすい案内や機能でラクラク移動



居住誘導区域 公共交通で 便利に移動ができる 移動環境の充実

- バス専用レーンに連節バスや路線バスがスムーズに移動
- モビリティハブによる交通連携
- MaaSによりスムーズにバス・まちのりなどを利用

Mobility Hub

さまざまな交通手段が集約した利用拠点



交通によるまちづくり

■ 金沢MaaSの推進

多様な手段による移動と、移動の目的である買い物などの多分野のサービスがシームレスに提供される環境を整備し、市民等が便利・自由・快適に移動できる都市づくりを官民連携で推進するため、令和3年8月に設立した「金沢MaaSコンソーシアム」において、解決すべき課題を協議・検討するプロジェクトを順次立ち上げ、社会実装に向けて実証実験を実施。

金沢MaaSの施策体系

4つの基本方針に基づき、MaaSアプリや新たなモビリティ等に関する施策を実施し、データを集約・活用するとともに、段階的に観光・商業・福祉等と連携することで、付加価値の高い移動サービスを提供。

- ① 誰もが自由に移動できる移動環境の実現
- ② 多分野との連携による付加価値の高い移動サービスの提供
- ③ 持続可能な交通ネットワークの構築
- ④ 安全・安心に移動でき、環境に優しい移動手段の推進



のりまっし金沢の
3つのメリット

いつでも(時間)、どこでも(場所)、
キャッシュレスで購入可能

スマートフォンの提示で、
チケットレス乗降が可能

人数分の乗車券を
一括購入し、利用が可能

施策体系の整理

- 第1段階**
- ① 「のりまっし金沢」を市民や来街者の移動のコンシェルジュとなるポータルサイトとする
 - ② デジタル交通サービス「のりまっし金沢」の機能強化を図り、「いつでも・どこでも」、「キャッシュレス」という利点を活かした公共交通の利用回復、そして「移動サービスのサブスク的利用」の普及を図る
- 第2段階**
- ① 利用者データの利活用を図るプラットフォームの構築、支払システムの検討
 - ② 多分野連携（市民向けの総合アプリとの連携等）を図る

交通によるまちづくり

公共交通サービスの高度化

コロナ禍や燃料価格高騰による公共交通の危機的状況を踏まえ、公共交通の持続可能性を確保するため、段階的な整備によりバスのサービス水準を向上

第1段階で変わること
(利用者目線)

- 1 都心軸エリアの大幅な利便性向上
- 2 郊外から都心軸エリアへのスムーズアクセス

主要施策

1. 連節バスの導入
2. バス専用レーンの強化
3. バス待ち環境の向上

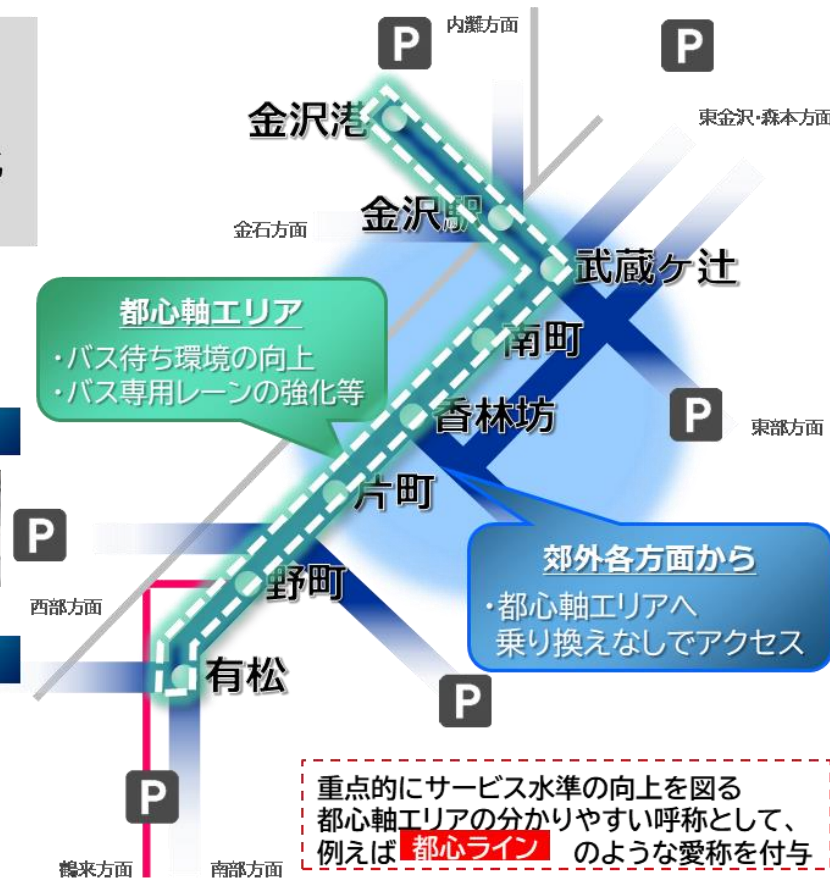
停留所の環境向上/バリアフリー



モビリティハブの拡充



様々な交通モードの接続・乗り換え拠点(モビリティ・ハブ)



バス専用レーンの強化



※あわせて、周辺のバス専用レーンの利用実態を踏まえた合理化も検討

連節バスや環境に配慮したバスの導



燃料電池バス ハイブリッド連節バス

信用乗車によるスムーズな乗降



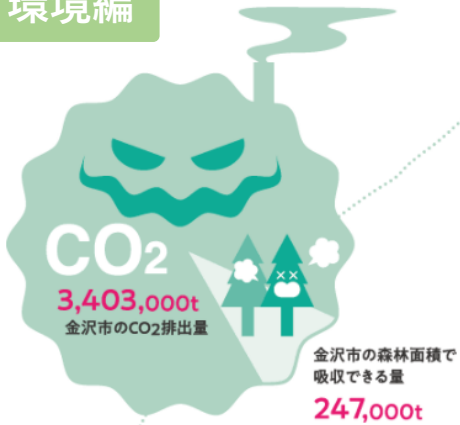
7. その他

7 SDGsの推進

- 金沢市の二酸化炭素排出量は約340万tco₂であり近年減少傾向。平均気温は上昇傾向。
- まちなかの交通手段は45%が自動車、リサイクル率は全国平均よりも低い。

環境編

二酸化炭素排出量

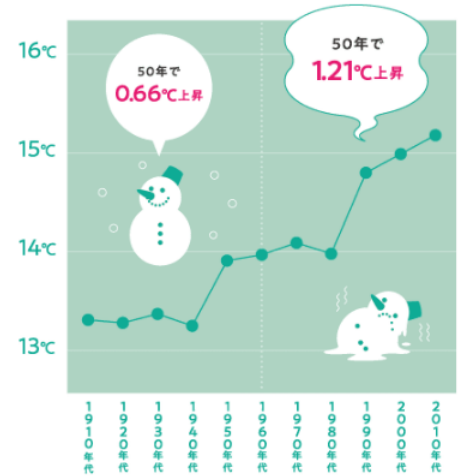


二酸化炭素ってこんなに排出されているの?!
今すぐ排出を抑えるアクションを探さなきゃ!

※金沢市の森林は28,142ha
※36~40年生のスギ人工林1haが1年間に吸収する二酸化炭素の量は、約8.8トンとして算出(参考:林野庁HP)
資料:金沢市調べ(2017年度)

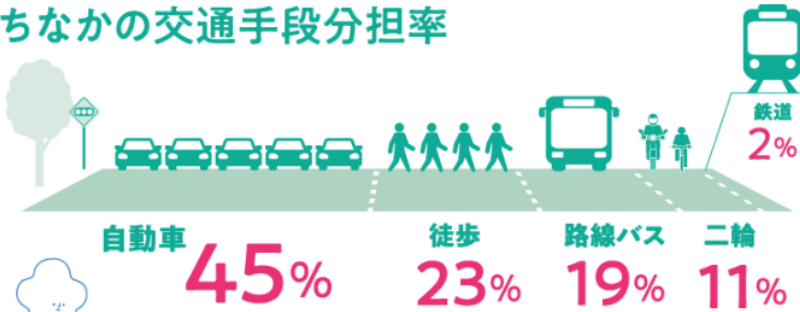
平均気温の変化

平均気温がぐんと上がったこの50年では、積雪の量が40センチも減ったみたい...



※各年平均気温の10年間の平均をもって経年で比較
※各年最深積雪の10年間の平均値をもって経年で比較
出典:金沢地方気象台HP気象データ

まちなかの交通手段分担率

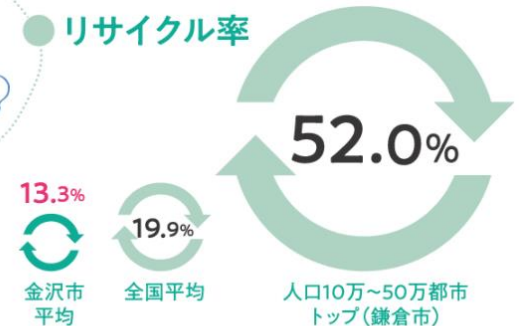


資料:金沢市公共交通モニタリング調査(2018)

自動車での移動が多いね。
徒歩や公共交通で移動したら、まちなかの新しい魅力を発見できるかも。

リサイクル率

まだまだリサイクル率が低いね。



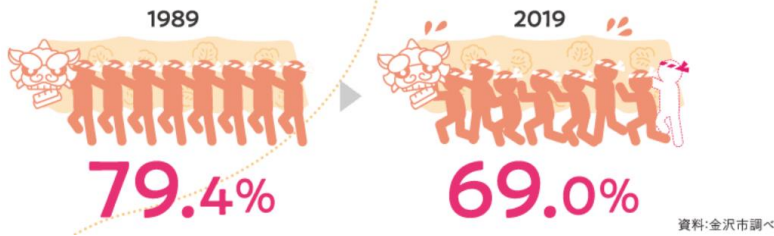
出典:石川の廃棄物処理(一般廃棄物)-平成30年度実績-、環境省HP「一般廃棄物の排出及び処理状況等(平成30年度)について」

7 SDGsの推進

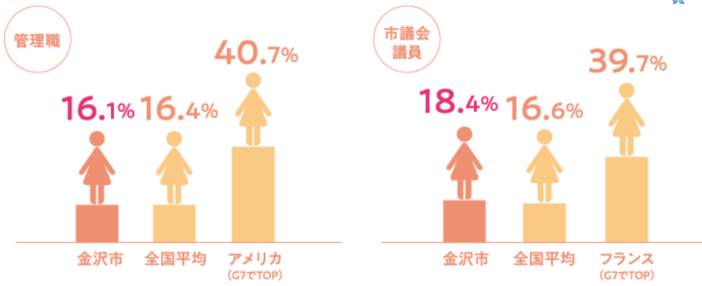
- 町会参加率は69%、30年間で10ポイント減。管理職に占める女性の割合は全国平均に近い。
- 障害者の法定雇用を守っている企業は約半数。1人あたり付加価値は増加傾向にあり、全国平均に近づきつつある。

社会編

町会加入率



管理職・市議会議員に占める女性の割合



【管理職】
※金沢市および全国平均は2015年、アメリカは2018年の値
出典:国勢調査(2015)、男女共同参画白書平成30年版

【市議会議員】
※データは2019年の値※フランスのみ国会議員に占める女性の割合
金沢市:市議会議員名簿、内閣府HP市町村女性参画状況見える化マップ、IPU Women in Politics 2019

経済編

障害者の法定雇用率を守っている企業割合

52.2%

障害のある人が活躍する企業が増えるといいね。

※労働者45.5人以上の企業が対象
※金沢職安管内(金沢市、かほく市、河北郡)の企業
資料:金沢公共職業安定所

1人あたり付加価値



※付加価値とは、企業等の生産活動によって新たに生み出された価値のこと。
生産額から原材料等の中間投入額を差し引くことによって算出。
出典:経済センサス

金沢SDGsの推進

■ 「SDGs未来都市」「自治体SDGsモデル都市」(2020.7国選定)

SDGs未来都市の中で、「多様なステークホルダーとの連携を通し、地域における自立的な好循環が見込める先導的な事業」として選定。

■ 金沢市第2期SDGs未来都市計画(2023.3策定予定)

まちの個性である歴史・伝統・文化を継承するとともにSDGsの文脈で国内外へその魅力を発信し、持続可能なまちを目指すため、市民、企業、教育機関、来街者を含めた多様なステークホルダーとの連携のもと推進。

金沢SDGs「5つの方向性」

① 古くて新しくて心地よいまち

自然、歴史、文化に立脚したまちづくりをすすめる

② “もったいない”がないまち

環境への負荷を少なくし資源循環型社会をつくる

③ 子供がゆめを描けるまち

次代を担う子供たちの可能性を引き出す環境をつくる

④ 働きがいも、生きがいも得られるまち

誰もが生涯にわたって学び活躍できる社会風土をつくる

⑤ 新しいもの、ことを生み出すまち

文化や産業に革新的イノベーションが起きる仕組みをつくる

